

書籍販賣部 世田谷上馬町二ノ三三小川方  
 招徳堂 麻布飯倉片町二二  
 常山堂 神田錦町一ノ二  
 食養會事業部 蒲田小林町一六六  
 食糧評論社 荏原戸越町一一九四  
 正直堂 日本橋本石町三ノ六  
 正進堂 下谷坂町一  
 正盛堂 澁谷上通り二ノ一二  
 正チヤン堂 板橋上板橋町四九八三  
 正札堂文具店 澁谷千駄ヶ谷四ノ六六  
 正文堂支店 葛飾本田淡之須町一四四  
 正文堂分店 王子赤羽町一ノ二二二  
 正文堂分店 王子稻村西町六ノ二三四  
 正文堂分店 澁谷幡ヶ谷笹塚二二三  
 正明堂 葛飾上平井町三九八  
 少年團日本聯盟部 魏町丸ノ内二ノ三  
 省三堂 神田神保町二ノ四  
 徹文堂 神田表神保町一〇  
 賞文堂 淺草北清島町七七  
 尚同書社 世田ヶ谷赤堤町二ノ五〇  
 尚文堂書社 神田神保町二ノ一ノ二  
 尚美堂 神田元佐久間町一  
 尚榮堂 京橋岡崎町一ノ四  
 昇光堂 目黒中目黒二ノ六一〇  
 昇文堂 城東龜戸町五ノ一六一  
 昇龍堂 神田一ツ橋通り一七

城南國定教科書 品川大井坂下町三七七  
 城南販賣店 品川南品川二ノ一八〇  
 城南堂 品川上大崎三ノ三三六  
 城南堂 杉並高圓寺七ノ九七四  
 城南堂 杉並高圓寺七ノ九二一  
 城南堂 城東龜戸町四ノ四三  
 城南堂 本都本郷六ノ二四  
 城南堂 京橋銀座三ノ四  
 城南堂 荒川南千住町三ノ一四七  
 城南堂 神田鎌倉河岸二二三號地  
 城南堂 澁橋戸塚町一ノ一六〇  
 城南堂 板橋板橋町三ノ三三二  
 城南堂 大森堤方町四四  
 城南堂 杉並高圓寺五ノ八五九  
 城南堂 豐島長崎町三ノ四七  
 城南堂 大森大森九ノ四五五  
 城南堂 芝西久保廣町二九  
 城南堂 杉並高圓寺一ノ四六  
 城南堂 荒川日暮里町六ノ三四  
 城南堂 神田神保町三ノ二  
 城南堂 牛込市ヶ谷田町一ノ三  
 城南堂 杉並成宗二ノ八七八  
 城南堂 日本橋通二ノ五  
 城南堂 四谷花園町九七  
 城南堂 本郷本郷五ノ五  
 城南堂 神田今小路三ノ二

昭和堂 品川大井坂下町三七七  
 昭和堂 品川南品川二ノ一八〇  
 昭和堂 品川上大崎三ノ三三六  
 昭和堂 杉並高圓寺七ノ九七四  
 昭和堂 杉並高圓寺七ノ九二一  
 昭和堂 城東龜戸町四ノ四三  
 昭和堂 本都本郷六ノ二四  
 昭和堂 京橋銀座三ノ四  
 昭和堂 荒川南千住町三ノ一四七  
 昭和堂 神田鎌倉河岸二二三號地  
 昭和堂 澁橋戸塚町一ノ一六〇  
 昭和堂 板橋板橋町三ノ三三二  
 昭和堂 大森堤方町四四  
 昭和堂 杉並高圓寺五ノ八五九  
 昭和堂 豐島長崎町三ノ四七  
 昭和堂 大森大森九ノ四五五  
 昭和堂 芝西久保廣町二九  
 昭和堂 杉並高圓寺一ノ四六  
 昭和堂 荒川日暮里町六ノ三四  
 昭和堂 神田神保町三ノ二  
 昭和堂 牛込市ヶ谷田町一ノ三  
 昭和堂 杉並成宗二ノ八七八  
 昭和堂 日本橋通二ノ五  
 昭和堂 四谷花園町九七  
 昭和堂 本郷本郷五ノ五  
 昭和堂 神田今小路三ノ二

松林堂 世田ヶ谷經堂町一八五  
 松和堂 板橋志村町二三八  
 松國會出版部 澁橋百人町三ノ三七三  
 照山堂 澁谷穩田二ノ一四四  
 照林堂 神田錦町一ノ二  
 照美堂 京橋西八丁堀二ノ九  
 鐘樂堂 小石川指ヶ谷町六四  
 笑木屋 日本橋通一ノ八  
 白木屋商店 板橋練馬町一ノ三三三  
 白木屋分店 豐島巢鴨六ノ一三四四  
 白崎保善堂 日本橋人形町三ノ八  
 白澤堂 麴町平河町六ノ一  
 神宮館 下谷西町一  
 神誠館 本郷湯島四ノ五  
 神文堂 淺草千束町一ノ八二  
 神保書店 小石川原町九  
 新英米文學社 京橋銀座西七ノ五  
 新銳堂 大森大森三ノ六六五  
 新櫻堂 澁谷櫻ヶ丘町四  
 新建社 本郷駒込東片町四三  
 新興學會出版部 豐島西巢鴨二ノ三九三  
 新興科學社 板橋中新井町四ノ一七二五  
 新興科學社 神田一ツ橋通り九  
 新興科學社 神田小川町三ノ二六  
 新興出版部 小石川大塚坂下町一七  
 新興出版部 牛込新小川町一ノ五

新古畫粹社 本郷森川町一  
 新晃社 京橋靈岸島町六  
 新光社 神田錦町一ノ一九  
 新光社 芝白金臺町一ノ七八  
 新校堂 蒲田町屋町一六一  
 新國代社 足立千住中組八七七  
 新時書社 牛込若松町五四  
 新進書社 小石川雜司ヶ谷町七六  
 新進書社 神田神保町二ノ四  
 新進書社 神田錦町一ノ二四松本亭内  
 新進書社 神田三崎町三ノ一二二  
 新進書社 麴町九段二ノ六  
 新進書社 澁橋百人町二ノ一三七  
 新進書社 本所線町二ノ二三  
 新進書社 荏原中延町七二七  
 新進書社 神田三崎町一ノ三大成中學校内  
 新進書社 淺草新谷町一  
 新進書社 麴町土手三番町四  
 新進書社 牛込矢來町七一  
 新進書社 城東北砂町四ノ一四七  
 新進書社 牛込市ヶ谷臺町一六  
 新進書社 芝今八町一五和合俱樂部内  
 新進書社 京橋銀座七ノ二相模屋ビル内  
 新進書社 四谷信濃町慶應醫科大學醫院内  
 新進書社 神田神保町三ノ二三  
 新進書社 深川西平井町一

新報支店 澁橋柏木三ノ三一五  
 新報支店 日本橋元柳町八  
 新報支店 日本橋橫山町一ノ一一  
 新報支店 神田表神保町六  
 新報支店 神田神保町一ノ七  
 新報支店 神田南神保町一五  
 新報支店 四谷花園町九〇  
 新報支店 神田南神保町一〇  
 新報支店 小石川大塚仲町四一  
 新報支店 小石川林町一六  
 新報支店 本所龜澤町四ノ二二二  
 新報支店 世田ヶ谷玉川等々力町二ノ九三  
 新報支店 日本橋彌敷町一ノ三  
 新報支店 神田東福田町一  
 新報支店 淺草七軒町一  
 新報支店 目黒三田一六八  
 新報支店 澁谷千駄ヶ谷九〇五  
 新報支店 淺草松清町九  
 新報支店 城東大島町一ノ一八一  
 新報支店 淺草向柳原町一ノ一六  
 新報支店 神田通神保町六  
 新報支店 芝芝公園五號地  
 新報支店 中野桃園町一八  
 新報支店 日本橋濱町二ノ一四  
 新報支店 杉並高圓寺五ノ七六一  
 新報支店 大森入新井四ノ八三六







盛光堂 澁橋百人町三ノ二六三  
 盛光堂 本所線町二ノ六  
 盛光堂 小石川駕籠町二四〇  
 盛光堂 本所柳島元町三四  
 盛光堂 中野川添五一  
 盛光堂 下谷二長町一七八  
 盛光堂 澁谷代々木富ヶ谷一四六〇  
 盛光堂 本郷駒込富士前町六〇  
 盛光堂 牛込神樂町二ノ六  
 盛光堂 淺草南元町二八  
 盛光堂 日本橋本町四ノ一一  
 盛光堂 神田錦町一ノ二  
 盛光堂 澁橋戸塚町三ノ四〇〇  
 盛光堂 神田錦町一ノ二  
 盛光堂 小石川表町二八  
 盛光堂 本郷菊坂町七  
 盛光堂 麻布六本木町五一  
 盛光堂 澁谷宮代一日本赤十字病院内  
 盛光堂 小石川小日向町三ノ六二  
 盛光堂 向島吾嬬町西ノ元  
 盛光堂 城東龜戸町三ノ五四  
 盛光堂 神田神保町一ノ六一  
 盛光堂 神田表神保町一〇  
 盛光堂 神田錦町一ノ一九  
 盛光堂 牛込早稲田鶴巻町四〇  
 盛光堂 澁橋角筈三ノ一五三

聖賢書房 本郷金助町二四  
 聖賢書房 麻布材木町二四  
 聖賢書房 澁橋柏木九一九  
 聖賢書房 四谷西信濃町一七飯田方  
 聖賢書房 世田ヶ谷松原二ノ五六  
 聖賢書房 神田中猿樂町一七  
 聖賢書房 日本橋北島町二ノ二一庄司方  
 聖賢書房 神田神保町三ノ一一  
 聖賢書房 澁橋柏木町四ノ四五八  
 聖賢書房 淺草今戸町三一  
 聖賢書房 神田三崎町二ノ八  
 聖賢書房 赤坂一ツ木町八九  
 聖賢書房 神田錦町一ノ一二  
 聖賢書房 神田錦町三ノ二四  
 聖賢書房 澁谷千駄ヶ谷一ノ五二  
 聖賢書房 向島吾嬬町二ノ九一  
 聖賢書房 神田錦町一ノ一八  
 聖賢書房 豐島西巢鴨二ノ二六九八  
 聖賢書房 京橋築地一ノ七須之内ビル内  
 聖賢書房 牛込早稲田鶴巻町四三六  
 聖賢書房 江戸川小岩町二ノ二六五  
 聖賢書房 麻布龍土町六三  
 聖賢書房 赤坂青山南町四ノ二八  
 聖賢書房 赤坂青山南町四ノ二八  
 聖賢書房 神田三崎町二ノ一  
 聖賢書房 牛込早稲田鶴巻町四三六

關口書店 杉並西高井戸一ノ一三五  
 關口書店 杉並阿佐ヶ谷一ノ八〇五  
 關口書店 豐島西巢鴨二ノ二五三  
 關口書店 淺草西三筋町五六  
 關口書店 世田ヶ谷若林町二八一  
 關口書店 麻布森元町二ノ一  
 關口書店 神田今小路三ノ九  
 關口書店 牛込揚場町一八  
 關口書店 神田小川町一  
 關口書店 牛込天神町一  
 關口書店 目黒上目黒四ノ三二  
 關口書店 京橋西八丁堀二ノ九  
 關口書店 京橋銀座西一ノ一金剛ビル内  
 關口書店 赤坂青山北町五ノ四八  
 關口書店 京橋京橋二ノ二  
 關口書店 芝芝公園八號地ノ二  
 關口書店 澁橋上落合二ノ七二六  
 關口書店 日本橋本町一三  
 關口書店 本郷駒込上富士前町二〇九  
 關口書店 神田北神保町三  
 關口書店 杉並天沼二ノ五七一  
 關口書店 大森雪ヶ谷町四二  
 關口書店 目黒洗足一四五一  
 關口書店 澁橋角筈三ノ一五三  
 關口書店 赤坂一ツ木町二四

層松堂 麻布新堀町三  
 蒼松堂 本郷根津八重垣町三  
 倉高堂 神田千代田町二一  
 早文堂 神田神田驛構内  
 早文堂 牛込馬場下町一八  
 早文堂 澁橋戸塚町一ノ四三  
 早文堂 神田淡路町一ノ一  
 早文堂 大森北千束町五六九  
 早文堂 日本橋江戸橋二ノ六九五  
 早文堂 豐島長崎町一ノ一五三  
 早文堂 牛込津久戸町九  
 早文堂 淺草下平右衛門町九  
 早文堂 小石川水道端町一ノ四  
 早文堂 神田西福田町三  
 早文堂 麴町九段四ノ八  
 早文堂 神田錦町一ノ一八  
 早文堂 神田千代田町二八  
 早文堂 牛込新小川町二ノ四  
 早文堂 本郷東片町五三  
 早文堂 京橋靈岸島一ノ一六  
 早文堂 京橋銀座三ノ七ミツマビル内  
 早文堂 豐島西巢鴨二ノ二五七〇  
 早文堂 品川西大崎町一ノ三九  
 早文堂 本郷曙町二

大亞堂書店 小石川初音町一七  
 大亞堂書店 神田鍋町二一  
 大亞堂書店 本郷湯島六ノ二八  
 大亞堂書店 京橋銀座西五ノ二  
 大亞堂書店 板橋志村町二  
 大亞堂書店 神田表猿樂町一〇  
 大亞堂書店 澁橋戸塚町一ノ四四八  
 大亞堂書店 麴町飯田町四ノ二〇  
 大亞堂書店 神田中猿樂町一七  
 大亞堂書店 淺草今戸町一六  
 大亞堂書店 神田三崎町三ノ一八八  
 大亞堂書店 豐島西巢鴨三ノ九三〇  
 大亞堂書店 澁谷榮通り一ノ二四  
 大亞堂書店 荏原中延町九四五  
 大亞堂書店 神田錦町三ノ一〇  
 大亞堂書店 麴町内幸町一ノ六商興ビル  
 大亞堂書店 芝白金猿町一七  
 大亞堂書店 牛込辨天町七五  
 大亞堂書店 小石川白山前町三三

大正書院 京橋新湊町三ノ六  
 大正書院 澁橋戸塚町一ノ五三二  
 大正書院 澁橋上戸塚七九一  
 大正書院 四谷筆筒町三七  
 大正書院 本所小梅町三ノ一二  
 大正書院 荒川三河島町四ノ三四七  
 大正書院 日本橋本町四ノ一〇  
 大正書院 豐島西巢鴨二ノ三〇七  
 大正書院 豐島池袋七ノ三〇  
 大正書院 京橋築地三ノ一六  
 大正書院 神田中猿樂町一七  
 大正書院 京橋新島西町三ノ三  
 大正書院 神田錦町一ノ一二  
 大正書院 京橋銀座二ノ五  
 大正書院 神田通神保町五  
 大正書院 豐島西巢鴨三ノ五四五  
 大正書院 神田須田町一ノ二六  
 大正書院 澁谷上通三ノ六  
 大正書院 本郷本郷三ノ二  
 大正書院 豐島池袋二ノ一一〇七  
 大正書院 豐島池袋二ノ一一〇七  
 大正書院 神田一ツ橋通町三  
 大正書院 神田駿河臺三ノ五  
 大正書院 日本橋通二ノ五  
 大正書院 本郷春木町二ノ五六  
 大正書院 牛込早稲田鶴巻町四一五



大東出版社 芝芝公園七號地ノ一  
 大東書房 本郷駒込千駄木町五八  
 大東通信社 麻布富士見町四三  
 大東文化協會 麴町富士見町六ノ一六  
 大富道社 神田三崎町二ノ一一  
 大富堂 深川富川町二  
 大日本經濟協會 神田旭町一  
 大日本工業學會 豐島駒込三ノ四〇三  
 大日本山林會 小石川丸山町一  
 大日本消防學會 赤坂溜池町一  
 大日本實業宣傳協會 芝芝公園五號地  
 大日本圖書株式會社 京橋銀座一ノ五  
 大日本佛敎世界 赤坂溜池町一  
 大日本文化研究會 京橋築地三ノ六七  
 大日本雄辯會 大森田園調布堀通商店街一三〇  
 大日本雄辯會 赤坂田町七ノ三根村方  
 大日本雄辯會 本郷駒込坂下町四八  
 大日本雄辯會 神田表神保町三  
 大日本雄辯會 本郷駒込曙町一  
 大日本雄辯會 品川大井倉田三三五九  
 大雄閣書房 神田小川町三ノ二二  
 大雄閣書房 小石川西江戸川町三一  
 大雄閣書房 日本橋室町四ノ一  
 大雄閣書房 赤坂繪町三  
 大雄閣書房 麴町有樂町一ノ一四

武内書店 下谷竹町一ノ二  
 竹中書店 牛込岩戸町三  
 竹原書店 豐島長崎町二ノ二二九  
 竹屋 下谷竹町一九  
 武木書屋 板橋練馬南町三ノ五九五〇  
 多間書院 王子豐島町八四〇  
 宅間書院 澁谷常盤松町三一  
 橋書院 澁谷常盤松町三一  
 立石書屋 牛込市ヶ谷臺町一六  
 立川書店 中野沼袋南一ノ二三九  
 立川書店 神田錦町一ノ九  
 立川書店 神田錦町一ノ九  
 立川書店 世田ヶ谷下馬町三ノ四六九  
 立野書店 本郷森川町三一  
 棚澤書店 本郷森川町一  
 棚澤書店 神田表神保町二  
 田代昭和堂 小石川白山御殿町四一  
 田中書店 四谷愛住町八六  
 田中書店 中野新山通二ノ二七  
 田中書店 目黒上目黒三ノ七〇  
 田中書店 目黒上目黒二ノ七七  
 田中書店 神田多町二ノ一  
 田中書店 淺草田原町二ノ一  
 田中書店 牛込北町一八  
 田中書店 品川五反田五ノ一〇七  
 田中書店 荒川町屋二ノ三〇〇

高岡本店 神田神保町一ノ五  
 高岡分店 神田通神保町五  
 高木三正堂 向島寺島町四ノ一四九  
 高木商會 麴町元園町二ノ四  
 高島賣店 大森入新井六ノ一五四  
 高島賣店 芝新橋驛構内  
 高島賣店 日本橋通二ノ五  
 高島賣店 京橋橫町二ノ七  
 高島賣店 杉並阿佐ヶ谷七六五  
 高千穂販賣所 淺草東大久保高千穂學校内  
 高梨商會 浦田蒲田町一〇一八  
 高輪中學校販賣部 芝高輪中學校内  
 高橋香山堂 深川東森下町三八  
 高橋商會 下谷竹町一二  
 高橋商會 向島吾嬬町西五ノ八〇  
 高橋商會 下谷山伏町四四  
 高橋商會 芝神谷町一三  
 高橋商會 淺草草湯町九  
 高橋商會 四谷本村町一五  
 高橋商會 深川門前仲町二二  
 高橋商會 淺草七軒町四  
 高橋商會 板橋下赤塚町二一七一  
 高橋商會 足立五兵衛町七八一  
 高橋商會 深川八名川町三一  
 高橋商會 瀧野川田端町四九四  
 高橋商會 足立千住宮元町六六

高原書店 京橋京橋一ノ四山中銀行ビル  
 高比良誠文堂 本郷西片町一〇  
 高間商會 澁谷柏木一ノ一二八  
 高松書店 芝南佐久間町二ノ一五  
 高見澤木版社 中野上ノ原町二八  
 高見陽明堂 赤坂青山南町五ノ二一  
 高安書店 赤坂青山南町六ノ五〇  
 高山本堂 神田北神保町一  
 高山本堂 神田南神保町一五  
 寶川堂 江戸川小岩町三ノ七五  
 瀧島書店 神田三河町三ノ一五  
 瀧島書店 澁谷代々木深町五五  
 瀧島書店 下谷上車坂町五五  
 瀧野川書房 瀧野川西ヶ原町五六一  
 瀧野川書房 瀧野川西ヶ原町五六一  
 瀧野川書房 本所業平橋五ノ一  
 瀧本舞踊學校 麴町九段一ノ一六中山ビル  
 琢磨社 牛込富久町六〇  
 拓文堂 神田美土代町二ノ一  
 卓文堂 豐島堀ノ内町五三  
 竹内樂器店 芝三田一ノ二  
 竹内三榮堂 目黒中目黒二ノ五九二  
 竹内三昭堂 板橋練馬南町三ノ五九五五  
 竹内三昭堂 澁谷下澁谷一〇八〇  
 竹内書店 牛込矢來町一  
 竹内書店 下谷谷中三崎町三

田中屋商店 下谷竹町一ノ二  
 田中屋商店 牛込岩戸町三  
 田中屋商店 豐島長崎町二ノ二二九  
 田中屋商店 下谷竹町一九  
 田中屋商店 板橋練馬南町三ノ五九五〇  
 田中屋商店 王子豐島町八四〇  
 田中屋商店 澁谷常盤松町三一  
 田中屋商店 澁谷常盤松町三一  
 田中屋商店 牛込市ヶ谷臺町一六  
 田中屋商店 中野沼袋南一ノ二三九  
 田中屋商店 神田錦町一ノ九  
 田中屋商店 神田錦町一ノ九  
 田中屋商店 世田ヶ谷下馬町三ノ四六九  
 田中屋商店 本郷森川町三一  
 田中屋商店 本郷森川町一  
 田中屋商店 神田表神保町二  
 田中屋商店 小石川白山御殿町四一  
 田中屋商店 四谷愛住町八六  
 田中屋商店 中野新山通二ノ二七  
 田中屋商店 目黒上目黒三ノ七〇  
 田中屋商店 目黒上目黒二ノ七七  
 田中屋商店 神田多町二ノ一  
 田中屋商店 淺草田原町二ノ一  
 田中屋商店 牛込北町一八  
 田中屋商店 品川五反田五ノ一〇七  
 田中屋商店 荒川町屋二ノ三〇〇

田中屋書店 板橋板橋町三ノ二七三  
 田邊書店 世田ヶ谷北澤二ノ六八  
 田波商會 麻布宮村町五七  
 田村書店 淺草山谷町三ノ四  
 田村書店 神田神保町一ノ三ノ二  
 田村書店 荒川日暮里町八ノ三〇  
 田村書店 麴町麴町一〇ノ一四  
 田村書店 杉並馬橋四ノ四八六  
 田村書店 葛飾本田原町八二  
 田村書店 麻布新廣尾町三ノ一五  
 田村書店 澁谷新廣尾町三ノ一五  
 田村書店 本郷根津須賀町二七  
 田村書店 淺草藏前町一〇  
 田村書店 神田表神保町一〇  
 田村書店 澁谷西大久保一ノ五五  
 田村書店 牛込山吹町一四  
 田村書店 板橋東大泉町四二五  
 田村書店 淺草馬道町六ノ七  
 田村書店 大森大森停車場構内  
 田村書店 荒川尾久町五ノ七六九  
 田村書店 城東龜戸町五ノ一  
 田村書店 京橋銀座三ノ二  
 田村書店 本郷本郷五ノ一六  
 田村書店 神田橋本町一ノ一三  
 田村書店 本所清水町二三  
 田村書店 芝神明町二五



タイムス出版社 麹町有樂町二ノ四	中央工學會 小石川表町一〇九	千代田書店 日本橋兜町二ノ一二
ダイヤモンド社 麹町内幸町二ノ三	中央出版協社 麹町九ノ内五八八區	千代田堂 日本橋池袋一ノ五四
タカラ商會 神田美土代町四ノ五	中央出版協社 麹町大手町二ノ二日清生命六五五	地田商社 中野本町通五ノ三四
タカラ堂書店 中野橋場町三七	中央出版協社 本郷湯島三組町八〇	地田商社 瀧野川西ヶ原町二七
タカハラヤ 深川萬年町二ノ三三	中央書房 神田小川町二ノ六	地田商社 小石川戸崎町九四
タキザワ書店 足立千住中組八七七	中央書房 小石川駕籠町一九六	直美堂 澁谷代々木本町七五九
タケヤ書店 麻布森元町一ノ二七	中央佛敎社 牛込矢來町一	朝陽堂 神田西神田一ノ三ノ二
タムラヤ 澁谷代々木富ヶ谷四六六	中央佛敎社 四谷三光町八	朝陽堂 澁谷代々木大山町一〇七
タルマ堂書店 赤坂青山北町五ノ二六	中外印刷株式會社 小石川西古川町二五	朝陽堂 麹町九ノ内三ノ四有樂館内
W 深川門前仲町一ノ二	中外印刷株式會社 小石川大塚窪町一	朝陽堂 目黒下目黒二ノ二一六
	中央報徳會 牛込三光町八	朝陽堂 目黒下目黒二ノ二一六
	中央佛敎社 四谷三光町八	朝陽堂 目黒下目黒二ノ二一六
	中外印刷株式會社 小石川西古川町二五	朝陽堂 目黒下目黒二ノ二一六
	中外印刷株式會社 小石川大塚窪町一	朝陽堂 目黒下目黒二ノ二一六
	神田表神保町一〇	朝陽堂 目黒下目黒二ノ二一六

塚越商店本店 本所小梅一ノ二東武美平橋内	帝國繪畫協會 下谷谷中清水町一	鐵道醫學普及會 神田錦町三ノ二五
塚越商店本店 本郷駒込助坂町五二	帝國軍人後援會 牛込若松町一〇	鐵道青年會 神田今小路二ノ一
月岡書店 蒲田新宿町一〇	帝國建築協會 神田三崎町三ノ八四	鐵道圖書局 麹町飯田町二ノ一一
築地書房 京橋築地四ノ一	帝國工業教育會 麹町内幸町一ノ五内幸ビル	鐵道旅行社 澁谷角筈一ノ七三五
津川書店 牛込早稲田鶴巻町一〇	帝國國防協會出版部 牛込東五軒町一〇	寺尾書院 神田一ツ橋通町九
津久井書店 神田錦町三ノ二六	帝國在籍軍人會本部 牛込原町三ノ八	天業民報社 下谷上野櫻木町
津田書店 神田小川町二ノ四	帝國書院(株式會社) 神田中猿樂町三〇	天狗堂 牛込市ヶ谷甲良町八
津村書店 中野塔ノ山一六	帝國種畜殖産株式會社 澁野川瀧野川町一六六三	天孝堂 大森北千束町五二三
土屋書店 本郷湯島六ノ三	帝國書道研究會 深川東森下町八五	天正堂 荏原小山町一三三
土屋書店 下谷南稻荷町三五	帝國稅務協會 芝車町六	天心堂 目黒上目黒五ノ二六〇
土屋精進堂 板橋中新井三ノ三五	帝國地方行政學會 京橋銀座西七ノ一	天心地支店 目黒上目黒五ノ二六〇
網島書店 神田錦町一ノ二	丁未出版社 澁谷青葉町三	天分社 神田岩本町六ノ二
鶴岡書店 本所柳島元町三四	蹄學研究會 世田谷北澤一ノ二四〇	天來書房 澁谷千駄ヶ谷五ノ九三
鶴岡書店 芝田村町五ノ一	長榮堂 城東大島町二ノ八一九	天龍堂 板橋志村清水町四三一
鶴岡書店 荒川南千住町六ノ六五	長華堂 牛込市ヶ谷長延寺町六	電氣春秋社 麹町有樂町一ノ三
鶴岡書店 牛込早稲田鶴巻町一四二	長光堂 淺草北松山町七三	電氣之友社 京橋銀座八ノ一
鶴岡書店 下谷入谷町八四	長信堂 神田連雀町一八	電氣之友社 荏原中延町一ノ九六
都留會 神田錦町二ノ五	長文堂 豐島西巢鴨三ノ二五	
都留會 澁谷八幡通一ノ八	長隆堂 麹町有樂町一ノ三三	
つばみ屋 豐島高田町一五五六	長隆堂 荒川日暮里町九ノ二〇七	
つばみ屋 向島寺島町六ノ八	長隆堂 芝本芝四ノ一六	
つるや書房 麹町九段一ノ一〇	鐵道研究社 中野東郷町二一	
	鐵道弘濟會東京支部 麹町九ノ内二ノ一 東京驛橋	
	鐵道弘濟會東京支部 下谷山下町五上野驛橋内瀧車	
	鐵道弘濟會東京支部 口賣店	



テイップタツプ 大森新井宿二ノ二七一  
テラコヤ 向島寺島町五ノ一五

土井商店 板橋上赤塚町一〇九八  
土井書店 神田錦町一ノ二  
土州屋 小石川大塚町九  
東亞印刷株式會社 京橋京橋二ノ一三  
東亞經濟調查局 麹町丸ノ内二ノ二  
東亞書房 神田西神田二ノ二ノ六  
東亞圖書會 本所菊川町一ノ一三  
東亞圖書會 麹町三年町一  
東亞圖書會 神田今小路一ノ一  
東亞圖書會 日本橋吳服橋二ノ三四村ビル  
東亞圖書會 江戸川西小松川二ノ二〇〇  
東宛書房 麹町下六番町三  
東海堂小賣部 京橋銀座西六ノ二  
東海堂出張店 京橋銀座西六ノ二  
東華書院 豐島池袋五ノ二八四  
東華書院 四谷東信濃町二  
東華書院 牛込馬場下町一  
東京旭印刷株式會社 神田三河町一ノ七  
東京朝日新聞出版部 麹町有樂町二ノ三  
東京有隣堂 京橋京橋三ノ六  
東京印刷株式會社 深川白河町四ノ一ノ一

東京開成館 小石川小日向水道町八四  
東京改善社 神田錦町一ノ二  
東京閣 神田駿河臺三ノ三  
東京家事研究會出版部 芝西久保櫻川町一〇  
東京學藝社 豐島西巢鴨四ノ三二〇  
東京工學社 小石川駕籠町一七  
東京工業會圖書部 淀橋角等二ノ九三工學館構内  
東京光原社 豐島巢鴨五ノ一〇七八  
東京高等造園學校 赤坂青山南町五ノ六七  
東京興農園 澁谷上通り二ノ二六  
東京國民書院 神田駿河臺二ノ一  
東京滑稽社 神田錦町一ノ一六  
東京辭書出版社 神田美土代町三ノ一  
東京市政調查會 麹町日比谷公園内市政會館  
東京實業社 神田淡路町二ノ三  
東京京實業社 京橋京橋三ノ四  
東京尺八講習會 下谷上野櫻木町四四  
東京出版社 牛込細工町六  
東京商店 淀橋東大久保三ノ三三〇  
東京書房 蒲田御園町九八  
東京書籍株式會社 小石川指ヶ谷町一三六  
東京圖書印刷株式會社 神田仲町一ノ一六  
東京數理學院 神田表神保町一〇  
東京成功社 麹町麹町八ノ二二  
東京造畫館 神田一橋通三〇帝國教育會館内

東京泰文社 牛込早稲田鶴卷町四四三  
東京地方社 日本橋人形町二ノ六  
東京堂 麹町九段一ノ七  
東京堂小賣部 神田神保町一ノ一七  
東京圖書株式會社 本郷湯島四ノ三  
東京農業大學 澁谷常盤松御料地内  
東京放送局 麹町有樂町二ノ一  
東京物理學校同窓會 杉並荻窪四ノ九七  
東京保母專修 杉並高圓寺二ノ一〇三  
東京ラヂオ商組合 京橋橫町一ノ五  
東光書院 四谷新宿町二ノ一八  
東光書院 小石川原町一  
東興書院 神田鍛冶町一ノ三  
東西醫學社 小石川林町二  
東西醫學社 京橋銀座西七ノ一  
東西美術社 神田中猿樂町四八  
東山書房 澁谷伊達七六  
東山書房 下谷上根岸町四四  
東山書房 本所龜澤町四ノ二一  
東條支店 牛込早稲田鶴卷町四四三  
東條支店 小石川高田老松町一七  
本條支店 神田通神保町五  
東條支店 神田南神保町一〇  
東條支店 品川北品川三ノ二〇六  
東條支店 世田谷北澤九一七  
東條支店 神田駿河臺紅梅町四

神田小川町四一  
正堂 芝西久保巴町一二  
誠堂 日本橋通二ノ五  
川堂 深川猿江裏町七五  
仙堂 城東北砂町七ノ七三  
東都書籍株式會社 神田神保町一ノ二三  
東白堂書房 本郷駒込曙町一一  
東文堂 本所練町四ノ一六  
東文堂 澁谷上通り三ノ一  
東方公論社 杉並阿佐ヶ谷六ノ三  
東方書院 豐島巢鴨一三四九  
東邦書院 神田一ツ橋通二  
東豐堂 京橋京橋一ノ八  
東豐堂 淀橋淀橋六四六  
東友堂 荏原戸越町四八二  
東洋印刷株式會社 芝愛宕町三ノ二  
東洋協會出版部 麹町内幸町二ノ二  
東洋經濟新報社 日本橋本石町三ノ二  
東洋書籍出版協會 京橋西八丁堀三ノ九  
東洋出版社 小石川林町一八  
東洋圖書株式會社 京橋木挽町一ノ二  
東洋圖書株式會社 神田神保町一ノ六七  
東洋圖書株式會社 下谷西町三  
東陽閣 淀橋下落合二ノ六二二  
東陽閣 神田通神保町一  
東隆堂 牛込下宮比町一

東林書房 芝三田一三 今井愛之助内  
棟海堂支店 品川北品川三ノ二二五  
棟海堂支店 目黒東町三  
同行人社 日本橋矢ノ倉一小林方  
同信社 神田駿河臺二ノ四  
同聲社 神田錦町三ノ二四  
同聲社 本郷春木町二ノ一三  
同聲社 板橋板橋町五ノ八九二  
同聲社 神田神保町一ノ一  
同聲社 四谷仲町三ノ二一  
同聲社 江戶川小岩町六ノ一五  
藤榮堂 神田駿河臺三ノ六  
刀江書院 神田多町一ノ四  
桃源社 中野橋場町五五  
桃源社 神田錦町三ノ五  
特選堂書店 大森入新井一ノ八八  
統計資料協會 淺草北清島町一四  
統計資料協會 麹町九ノ内時事新報社内  
統文堂書店 大森調布橋ノ木町二二六  
統文堂書店 大森馬込東二ノ〇七五  
透泉閣書房 世田谷太子堂三七一  
獨逸語發行所 本郷森川町八〇  
獨逸語發行所 日本橋馬喰町四ノ一六  
獨逸語發行所 淀橋百人町二ノ二五四  
獨逸語發行所 淀橋戸塚町一ノ五二二  
獨逸語發行所 牛込早稲田鶴卷町四四四

稻門堂支店 淀橋戸塚町一ノ五六七  
稻門堂支店 牛込辨天町六  
稻門堂支店 牛込早稲田鶴卷町四三三  
稻門堂支店 芝三田一ノ二  
德文堂 神田美土代町一ノ二三  
德文堂 神田中猿樂町一八  
東洋堂書店 神田山元町三ノ四  
圖書教育通信社 淀橋下落合二ノ六二二  
圖書教育通信社 麹町有樂町一ノ二ノ三  
圖書教育通信社 日本橋吳服橋二ノ一  
圖書教育通信社 淀橋戸塚町一ノ五〇八  
圖書教育通信社 淀橋上戸塚七九一  
常磐書房 小石川諏訪町五五  
常磐書房 麹町富士見町一ノ五  
常磐書房 麹町麹町八ノ二八  
都市研究會 下谷豐住町二  
都山堂 蒲田蒲田町三六四  
都山堂 世田谷池尻町四一三  
都山堂 荏原戸越町七〇四  
登坂書店 品川大井水神町三三  
登坂書店 大森入新井五ノ三五一  
鳥羽屋書店 日本橋馬喰町二ノ一四  
鳥羽屋書店 本郷龍岡町三二  
吐鳳堂 荏原下神明町五四九  
吐鳳堂 瀧野川瀧野川町六六  
富岡商店 瀧野川瀧野川町六六  
富岡商店 本郷龍岡町三六







日本商工通信社 京橋銀座一ノ七  
 日本書院 麴町麴町三ノ二  
 日本書院 芝新堀町四一  
 日本書籍株式會社 小石川久堅町一〇八  
 日本植民通信社 麴町下六番町五〇  
 日本精神醫學會 品川北品川四ノ七一八  
 日本青年會館 四谷霞丘町一  
 日本青年通信社 澁谷代々木山谷町九三  
 日本禪書刊行會 神田駿河臺二ノ一〇  
 日本通信大學出版部 日本橋濱町二ノ一四  
 日本電報通信社 麴町九ノ内八重洲町一ノ二  
 日本堂書店 神田三崎町二ノ一  
 日本堂支店 下谷入谷町三三二  
 日本堂支店 本所中ノ郷業平町一五  
 日本堂支店 向島龜戸町四ノ七  
 日本堂第三支店 葛飾本田澁江町四七  
 日本堂本店 本所江東橋三ノ三  
 日本圖書株式會社 四谷鹽町三ノ四九  
 日本圖書出版社 瀧野川西ヶ原町八三  
 日本農業社 四谷南寺町一〇石坂方  
 日本ノト下學用品株式會社東京支店 神田小川町三ノ八  
 日本ノローマ字社 麴町有樂町一三三三柏ビル内  
 日本飛行研究會 本郷眞砂町二五  
 日本美術學院 京橋入舟町四ノ二  
 日本佛教青年會 豐島長崎町一八三二  
 麴町飯田町五ノ三九

日本文具新聞社 日本橋村松町一二  
 日本評論社 京橋京橋三ノ四  
 日本放送出版協會 日本橋通三ノ八  
 日本メールオーダー 芝中門前町一ノ一  
 日本藥報社 牛込下宮比町八  
 日本遊覽協會 芝烏森町六  
 日本ラヂオ協會 麴町有樂町一ノ一  
 日本旅行協會 板橋小竹町二六四一  
 日用書房 神田鍛冶町一三  
 日曜堂書店 京橋京橋二ノ一ノ二  
 日蓮主義代理部 王子下十條町一四七五  
 西明書店 芝二本榎町一ノ一五  
 西ヶ原刊行會 神田西小川町  
 西川書店 赤坂一ツ木町三一  
 西神田書店 深川猿江裏町一二二  
 西坂商會 神田西小川町一ノ九  
 西澤書店 芝西久保櫻川町一  
 西澤書店 瀧野川小川町三ノ七  
 西澤書店 淺草千束町二ノ二四二  
 西澤書店 世田谷野澤一ノ七九  
 西島書店 蒲田安方町二三九  
 西野書店 本所平川橋三ノ六ノ四  
 西原興文堂 荏原小山町八二  
 西村隆文堂 豐島雜司ヶ谷町五〇

西山耕文堂 澁橋角管一ノ七六五  
 入試受験研究社 神田仲町二ノ一四  
 入門社書店 萬世ビル三ノ二三號  
 鷄の研究社 牛込新小川町二ノ四  
 任康 麴町丸ノ内ビル六六區  
 ぬかご社 麴町丸ノ内三ノ一二  
 ね 品川大井寺下町一五  
 寧靜堂 芝三田一ノ一  
 根本商店 本郷駒込動坂町一〇四  
 年中行事刊行會 本郷駒込動坂町一〇四  
 農業と水産社 芝兼房町八  
 農民社 芝琴平町二  
 野口成功堂 澁谷南平臺町二七  
 野口八幡堂 澁谷八幡通三ノ一〇  
 野田屋 深川東陽町二ノ一七  
 野田屋 荒川尾久町一六六一  
 野中文華堂 深川萬年町二ノ二九  
 野ばら社 瀧野川西ヶ原町六八  
 野本書店 本所石原町二ノ二一  
 野勢商店 下谷西黒門町二一  
 江戶川小岩町三ノ二八五

は

俳島書店 麴町九ノ内三ノ二 三三二二  
 配島商店 本所向島小梅町一一九  
 培文社 神田錦町三ノ一七  
 賣文社 澁橋下落合一八〇〇  
 梅月堂 赤坂新町五ノ八  
 梅盛堂 澁谷代々木富ヶ谷町一三六八  
 梅仙堂 淺草北清島町七八  
 梅文堂 足立梅田町一一〇九  
 梅林堂 赤坂青山北町三ノ六  
 梅堂書店 瀧野川西ヶ原町三二七  
 芳賀友文堂 澁橋戸塚町三ノ二〇〇  
 芳賀友文堂 本郷駒込動坂町一一二  
 萩尾書店 品川西大崎一ノ三五八  
 萩原書店 世田ヶ谷太子堂一九六  
 白雲堂 蒲田羽田一ノ一六八九  
 白山堂 麴町三番町七  
 白山社 澁橋西大久保三ノ二  
 白水社 神田小川町三ノ八  
 白星社 荒川日暮里町九ノ一〇八  
 白馬社 神田今川小路二ノ一  
 白眉出版社 目黒上目黒六ノ三三  
 白鳳社 目黒下目黒二ノ四六八  
 白鳳堂 神田今川小路一ノ三  
 白鳳堂 神田錦町三ノ一二

白揚社 神田小川町二ノ六  
 白蘭社 神田美土代町二ノ一  
 白蓮社 神田小川町一  
 白陽社 麻布新龍土町一二  
 柏林堂 麴町中六番町二五  
 柏陽堂 瀧野川瀧野川町一九三  
 柏林堂 本郷本富士町二  
 博愛堂 神田表猿樂町一八  
 博英社 豐島巢鴨一ノ一四  
 博榮社 本郷彌生町三  
 博雅堂 神田一ツ橋通町二〇  
 博山房書店 世田ヶ谷下北澤三ノ九四伊藤方  
 博昭堂 本郷駒込神明町一六一  
 博士論文刊行會 荏原小山町三九  
 博進館 小石川戸崎町三  
 博信書房 神田小川町一〇  
 博信堂出版部 本所松倉町二ノ二七  
 博美館 日本橋浪花町二四  
 博文社 神田神保町一ノ三  
 博文堂東京支店 日本橋江戶橋三ノ三  
 博文館 日本橋本町三ノ九  
 博報堂 目黒鷹番町一三六  
 博隆堂 神田三崎町二ノ一  
 博利堂 神田錦町三ノ九  
 薄利堂 本郷元町二ノ六〇  
 薄利堂 王子王子町一〇一五

橋爪商店出版部 大森新井宿一三三九  
 橋本場 世田ヶ谷北澤一ノ二五  
 橋本商店 芝田町三ノ九  
 橋本書店 淺草西鳥越町三  
 橋本正文堂 瀧野川上中里三五二  
 橋本屋 瀧野川田端町一九一九  
 長谷川雜貨商 杉並高圓寺三六九  
 長谷川商店 神田橋本町二ノ一二  
 長谷川商店 淺草福井町一ノ一三  
 長谷川勉強堂 本所石原町五六  
 長谷川一心堂 本所東駒形三ノ六  
 秦商會 神田淡路町二ノ一  
 發動機研究社 目黒洗足一二九七  
 花岡商店 淺草猿屋町一  
 花本三光堂 四谷三光町四九  
 羽田商店 本郷湯島兩門町一三  
 濱島書店 神田錦町三ノ六  
 濱野書店 淺草北清島町一二四  
 濱野書店 中野上高田一ノ二二二  
 林文具店 豐島高田本町一ノ三七  
 林田昭榮堂 江戶川東小松川四五  
 原田書堂 品川大井山中町四六  
 原田書店 深川西平井町三  
 布哇便利社 神田表神保町一〇  
 汎工社 赤坂高樹町一二



汎人社 澁橋戸塚町一ノ五五九  
 汎文社 澁橋九ノ内二ノ一八 昭和  
 反省堂 小石川宮下町二一  
 半田屋 本郷春木町二ノ二二  
 晚香軒 赤坂青山高樹町三  
 萬有社 澁谷千駄ヶ谷一ノ三三  
 萬里閣 神田錦町三ノ八  
 萬里閣 日本橋吳服橋三ノ七  
 ハイカラ堂支店 下谷入谷町三二六  
 パイロット社 神田錦町三ノ五  
 パード商会 麹町丸ノ内ビル七區  
 ハトヤ號 本所横川橋四ノ一  
 ハシモト書店 本所柳原町一ノ二二  
 パワー社出版部 神田小川町三ノ七

日々書房 麹町飯田町四ノ三一  
 日比野書房 本所石原町三ノ一五  
 日比明倫館 豊島巢鴨七ノ一六二三  
 日比谷出版社 麹町有樂町一ノ二ノ三  
 日吉堂本店 淺草茅町一ノ二  
 東町堂 荒川尾久町三ノ三六七  
 東町堂 麻布東町三六  
 東町堂 神田錦町一ノ一〇  
 榊田書院 澁橋西大久保三ノ三三  
 筆田書院 蒲田新宿町五一九  
 肥田屋 澁谷幡ヶ谷笹塚三三  
 肥田屋 京橋月島通り三ノ一〇  
 肥前屋 赤坂田町七ノ二  
 七星社 神田錦町一ノ二  
 百華堂 芝愛宕町二ノ一  
 美術研究社 小石川戸崎町三  
 美術新論社 本郷上富士前町七三  
 美文堂 本郷駒込淺嘉町五三  
 美文堂 城東龜戸町三ノ四六  
 美井書堂 豐島巢鴨二ノ二二六七  
 平井書堂 葛飾上平井町二〇一五  
 平城書堂 龍野川西ヶ原町一四二  
 平澤書堂 麹町丸ノ内一ノ六海上ビル内  
 平松正門堂 荒川日暮里町八ノ西八  
 平林書堂 大森新井宿四ノ二六  
 平山書店 澁谷榮通一ノ一四

平山書店 澁谷榮通一ノ一  
 廣田書店 澁谷元廣尾町六  
 廣田書店 小石川原町三  
 廣田書店 淺草千束町二ノ一一九  
 ヒコミ堂 板橋志村町三七五  
 ヒロセ書店 豊島池袋二ノ一〇三四  
 ヒロセ書店 牛込新小川町三ノ三〇

福井書堂 淺草福井町一ノ一〇  
 福島書堂 芝三田一ノ一六  
 福壽堂 王子上十條町一〇二四  
 福助堂 荒川日暮里町三ノ三六  
 福盛堂 下谷上根岸町二四  
 福田書堂 神田橋本町一ノ九  
 福田書堂 本所横川町五一  
 福田書堂 淺草吉野町一ノ二  
 福田書堂 淺草地方今戸町三  
 福原書堂 世田谷深澤三四二五  
 福原書堂 牛込富久町一  
 福太書堂 牛込富久町一  
 福文書堂 澁橋上落合二ノ六〇八  
 福本書院 本郷本郷四ノ二一  
 福本書院 大森大森七ノ三一四五  
 復興堂 京橋越前堀三ノ三  
 袋屋 日本橋茅場町一ノ三

二葉堂 本所石原町一ノ四六  
 二葉堂 小石川西青柳町六  
 二三子堂書店 神田表神保町三  
 二葉書房 芝三田四國町五  
 双葉屋 深川平野町三ノ九  
 不朽堂 神田一ツ橋通三天同館方  
 不二屋商店 神田一ツ橋通町二  
 不二屋書店 目黒自由ヶ丘五〇  
 不動書房 神田表猿樂町一五  
 不動堂 四谷坂町九七  
 不老閣 澁橋百人町三ノ二六九  
 富久華房 神田今小路二ノ四  
 富山房 神田神保町一ノ三  
 富山房 麹町丸ノ内ビル三四區  
 富士印刷株式會社 小石川西江戸川町二一  
 富士書店 目黒東町一三三二  
 富士美堂 世田谷玉川與澤町一ノ三三七  
 富士峯書店 深川木場町一  
 富士見屋 向島吾嬭町西五ノ九一  
 富士屋 澁谷常盤松町九一  
 富文館小賣部 神田鍛冶町一ノ六  
 富文館小賣部 牛込山吹町二二五  
 富文館支店 目黒東町七七  
 富文館支店 神田錦町一ノ七  
 富文館支店 神田猿樂町二ノ一

富文社 神田今小路一ノ五  
 富文社 本郷上富士前町七三  
 藤井書商 本所石原町四ノ三  
 藤井書商 豐島長崎南町三ノ四三  
 藤井文具店 神田駿河臺三ノ九  
 藤井文具店 足立千住三ノ三八  
 藤木文具店 深川三好町四ノ三  
 藤崎書店 淺草馬道町六ノ九  
 藤崎書店 王子岩淵一ノ三八五  
 藤谷崇文館 澁谷太田町一ノ九  
 藤谷崇文館 帝郷電鐵會社澁谷驛構内  
 藤原美屋 神田錦町一ノ九  
 藤原美屋 杉並上高井戸五ノ三〇五  
 藤原美屋 城東龜戸町九ノ一二〇  
 藤原美屋 深川富川町三  
 藤村書店 深川三好町三ノ七  
 藤本書店 小石川音羽町四ノ一一  
 藤本書店 品川大井原町五一九五  
 伏見屋 下谷上野黒門町七  
 普選社 中野沼袋南三ノ三〇九  
 普教年鑑社 神田今小路一ノ一  
 佛語研究社 牛込新小川町一ノ五  
 佛人新報社 麹町富士見町三五六  
 佛人之友社 澁橋百人町一ノ二九  
 婦女界社 豐島雜司ヶ谷町六ノ一四八  
 婦女界社 麹町丸ノ内ビル三三區  
 婦女界社 牛込馬場下町二八

武州山堂 大森馬込町東二ノ一〇二四  
 武州山堂 龍野川西ヶ原町五二二  
 武揚書堂 本郷根津八重垣町七二  
 武揚書堂 日本橋通三ノ一  
 芙蓉書堂 杉並阿佐ヶ谷六ノ二四四  
 古原書店 蒲田六郷町三五〇  
 古原書店 荏原中延町五九八  
 古山書店 品川大井北濱川町二四  
 古山書店 大森馬込町四ノ一  
 文運堂 神田北甲賀町二七  
 文運堂 日本橋通三ノ五  
 文榮堂 世田谷若林町六二四  
 文榮堂 小石川竹早町二四  
 文英堂 本郷駒込林町一〇九  
 文影堂 牛込早稲田鶴卷町四四三  
 文影堂 澁橋戸塚町二ノ六二九  
 文淵堂 麹町永田町二ノ三〇  
 文苑書堂 蒲田雜色町一一二  
 文苑書堂 中野中野驛前一九  
 文王書社 芝田村町二ノ一四  
 文王書社 澁谷幡ヶ谷原町八九八  
 文映堂 小石川大原町一六  
 文魁堂 日本橋通三ノ五  
 文海堂 牛込通寺町二八  
 文快堂 芝二本榎西町二



文學クオタリイ社 淺草新森田町四  
 文學同志社 神田美土代町二ノ一  
 文學堂書店 中野中野町一五四六  
 文雅堂 魏町九段一ノ四  
 文華堂 芝愛宕町一ノ一  
 文華堂 中野新井樂師町五〇八  
 文華堂 豐島西巢鴨二ノ三三〇  
 文化協會 小石川小日向町二ノ一九  
 文化協會 芝白金三光町二七三  
 文化協會 本郷向ヶ岡彌生町三  
 文化生活研究會 京橋銀座西八ノ四  
 文化普及會 本郷元町一ノ五  
 文玩莊 小石川宮下町二二  
 文輝堂 澁谷竹下町七  
 文喜堂 目黒下目黒二ノ四五七  
 文求堂 本郷本郷二ノ二  
 文久堂 澁橋戸塚町一ノ一九九  
 文魚堂 四谷花園町大花房内  
 文堂 王子下十條町六二八  
 文堂 王子志茂町九七六  
 文藝月刊社 牛込市ヶ谷河田町一  
 文藝春秋社 牛込新小川町二ノ四  
 文藝春秋社 魏町内幸町一ノ三  
 文藝春秋社 日本橋室町一ノ一二  
 文藝春秋社 神田淡路町一ノ一

文桂堂 神田裏猿樂町九  
 文教書院 澁谷伊達七六  
 文教書院 神田一ツ橋通町二〇  
 文憲堂 豐島西巢鴨四ノ六二六  
 文研社 神田錦町一ノ二  
 文獻書院東京出張所 牛込矢來一〇九  
 文獻書院 日本橋大傳馬町一ノ二  
 文獻書院 日本橋人形町二ノ六  
 文原堂 日本橋通三ノ一  
 文光堂 四谷本村町二七  
 文光堂 板橋練馬南町一ノ三九八  
 文光堂 本郷本郷二ノ二  
 文光堂 本郷駒込千駄木町四九  
 文光堂 日本醫學專門學校内出張所  
 文光堂 荏原中延九二一佐山方  
 文光堂 牛込富久町八八  
 文興社 淺草南元町二八  
 文興堂 小石川大塚坂下町八  
 文興堂 神田通神保町四  
 文興堂 神田表猿樂町二二  
 文宏堂 京橋西八丁堀一ノ六  
 文好堂 牛込通寺町一五  
 文弘堂 小石川宮下町一七  
 文浩堂 目黒東町二二  
 文公堂 杉並上荻窪町九五九  
 文行堂 杉並上荻窪町九五九  
 文啓社 豐島駒込一ノ一二四

廣堂 豐島高田南町一ノ三九八  
 文堂 瀧野川瀧野川町一六二  
 文堂 京橋木挽町八ノ一  
 文堂 品川大井山中町四七  
 文堂 澁谷千駄ヶ谷三ノ五六  
 文堂 神田錦町一ノ一九  
 文堂 麻布筆筒町四九  
 文堂 京橋銀座三ノ四  
 文堂 王子下十條町六八七  
 文堂 本郷眞砂町一五  
 文堂 神田錦町一ノ一九  
 文堂 神田通神保町五  
 文堂 下谷谷中三崎町五〇  
 文堂 本郷元町一ノ一  
 文堂 本郷駒込追分町一〇一  
 文堂 小石川八千代町三七  
 文堂 深川萬年町二ノ一五  
 文堂 魏町下六番町五〇  
 文堂 蒲田新宿町八一  
 文堂 本郷本郷五ノ二九  
 文堂 杉並天沼三ノ七八四  
 文堂 京橋木挽町一ノ二三  
 文堂 日本橋浪花町一六  
 文堂 深川東森下町一五  
 文堂 牛込市ヶ谷左内町一  
 文聖舎出版部 神田和泉町一、十號

文星書院 澁橋戸塚町三ノ九二五  
 文星書院 牛込市ヶ谷山伏町九  
 文誠堂書店 下谷仲御徒町二ノ五七  
 文誠堂書店 本郷根津八重垣町七  
 文誠堂書店 本郷根津八重垣町一  
 文誠堂書店 神田三崎町三ノ一六六  
 文誠堂書店 瀧野川瀧野川町一三二  
 文誠堂書店 杉並阿佐ヶ谷四七八  
 文誠堂書店 日本橋本町四ノ二  
 文誠堂書店 神田銀治町一ノ四  
 文誠堂書店 魏町下六番町二七  
 文誠堂書店 神田通神保町二  
 文誠堂書店 豐島巢鴨二ノ五  
 文誠堂書店 牛込神樂町二ノ一一  
 文誠堂書店 本所練町一ノ四  
 文誠堂書店 芝櫻川町二  
 文誠堂書店 牛込筆筒町二七  
 文誠堂書店 大森西一ノ一六七五  
 文誠堂書店 魏町鐵道省構内  
 文誠堂書店 本所石原町三ノ七  
 文誠堂書店 四谷忍町二〇  
 文誠堂書店 豐島池袋五二一  
 文誠堂書店 魏町飯田町六ノ二一  
 文誠堂書店 本郷本郷四ノ四  
 文誠堂書店 深川千代田町五五〇

文寶堂 江戸川小岩町三ノ一四二  
 文法堂 本所東駒形町四ノ五  
 文法堂 神田表神保町二  
 文法堂 板橋志村清水町四三一  
 文法堂 板橋板橋町五ノ六六〇  
 文法堂 本郷森川町八三  
 文法堂 小石川小日向町一ノ三  
 文法堂 小石川水道端町二ノ一〇  
 文法堂 牛込早稲田町三四  
 文法堂 本郷駒込林町二三七  
 文法堂 荒川日暮里町四ノ一〇八六  
 文法堂 荏原中延町二一  
 文法堂 杉並堀ノ内二一六  
 文法堂 澁橋東大久保三ノ一六  
 文法堂 品川大崎本町三ノ五九  
 文法堂 品川大井町南濱川二六  
 文法堂 本郷元町一ノ一  
 文法堂 神田錦町一ノ九  
 文法堂 小石川小日向水道町六八  
 文法堂 牛込余丁町四九  
 文法堂 本郷田町八  
 文法堂 本所千歳町一ノ一四  
 文法堂 京橋南八丁堀二ノ六  
 文法堂 京橋銀座西一ノ七  
 文法堂 本郷湯島切通坂町二一  
 文法堂 牛込富久町一九

平安堂 魏町富士見町一ノ一三  
 平安堂 深川平久町一ノ八  
 平安堂 瀧野川瀧野川町三三  
 平安堂 日本橋吳服橋三ノ五  
 平安堂 澁谷幡ヶ谷本町三五六  
 平安堂 京橋寶町三ノ三  
 平安堂 麻布市兵衛町二ノ一五  
 平安堂 麻布霞町六  
 平安堂 赤坂表町二ノ一  
 平安堂 魏町三番町六九  
 平安堂 赤坂青山南町二ノ五四  
 平安堂 魏町準町四  
 平安堂 神田一橋通教育會館内  
 平安堂 牛込早稲田鶴卷町四  
 平安堂 小石川原町六  
 平安堂 牛込富久町八四  
 平安堂 本郷湯島天神町一ノ六  
 平安堂 中野本町通三ノ二二











毛利文祥堂 向島寺島町一ノ一三八  
 木星社書院 神田宮本町七  
 本吉屋 神田表猿樂町二  
 紅葉屋書店 淺草馬道町七ノ一  
 紅葉屋書店 向島吾嬬町西六ノ二八  
 粗山書店 魏町九ノ内三ノ二  
 守屋三角堂 大森入新井四ノ七四八  
 守屋書店 淀橋角筈一ノ七三三  
 森井書店 本郷森川町七一  
 森江書店 本郷春木町二ノ二一  
 森江本店 麻布飯倉町五ノ四四  
 森清屋書房 四谷内藤町一  
 森澤商會 牛込富久町二〇  
 森商會 成女高等女學校内  
 森昭和堂 蒲田今泉町一九五  
 森新文具店 神田佐久間町四ノ七  
 森勉屋書店 本郷駒込上富士前町二  
 森勉強堂 淺草向柳原町一ノ三九  
 森本書店 神田神保町一ノ三  
 森本書店 荒川三河島町三四四七  
 森本書店 小石川林町八〇  
 森本書店 小石川金澤町一〇  
 森本書店 小石川竹早町三七  
 もみぢ堂藥局 荏原上神明町四二四  
 や板橋板橋町六ノ三三三

八木自動車學校出版部 芝白金三光町二五三  
 八木原商店 豐島雜司ヶ谷町五ノ八〇九  
 八千代堂 日本橋濱町二ノ二  
 野球界社 牛込若宮町三八  
 矢口書店 神田神保町二ノ二  
 矢口書店 蒲田道塚町一〇九  
 矢崎稻門堂 淀橋戸塚町二ノ二  
 矢作書店 小石川林町一八  
 矢島文林堂 本郷駒込林町一四二  
 矢野書店 深川東陽町一ノ三  
 安田商會 本郷元町一ノ五九  
 安田書店 品川上大崎三ノ五七九  
 安井泰山堂 本郷本富士町二  
 谷戸勉強堂 中野城山町四七  
 柳澤商會 世田谷代田二ノ三二  
 柳澤支店 神田神保町一ノ五九  
 柳澤島支店 本所柳島横川町一四六  
 柳田書店 芝新堀町一七  
 柳田書店 荒川日暮里町三ノ一九  
 柳田書店 中野上高田二ノ三七四  
 柳田書店 向島寺島町一ノ一六七  
 山口書店 葛飾水元小倉新田一六一  
 山口書店 品川大井寺下町一四三

山口二葉屋 大森山王一ノ二六九二  
 山口屋 日本橋小傳馬町三ノ四  
 山口屋書籍部 深川東元町一  
 山崎商會 豐島西巢鴨四ノ二二八  
 山崎書店 豐島池袋立教大學校内  
 山崎書店 足立蒲原町六三六  
 山崎書店 足立島根町七二二  
 山崎書店 世田谷三宿町二九  
 山崎屋 蒲田羽田町一ノ一六三  
 山下東陽堂 魏町魏町二ノ七  
 山下東陽堂 江戶川小岩町二ノ二五三九  
 山城書店 本所麩橋四ノ一  
 山田三光堂 芝白金三光町七一  
 山田商會 本所線町三ノ一八  
 山田支店 澁谷下澁谷六一九  
 山田支店 神田表猿樂町二三  
 山田支店 本所龜澤町二ノ二一  
 山田支店 神田新銀町四〇  
 山田支店 品川南品川五ノ七二  
 山路直堂 品川大井山中町四四  
 山路直堂 澁橋上落合一ノ四二九  
 山中商會 麻布森元町二ノ一七  
 山中商會 四谷三光町三八  
 山西書店 淺草猿屋町二  
 山西書店 神田錦町一ノ一

山野樂器店 京橋銀座座四ノ四  
 山邊文庫堂 本所菊川町二ノ三  
 山本浩然館 大森田園調布二ノ九六  
 山本商會 世田ヶ谷玉川等々力町三ノ九  
 山本商會 澁谷幡ヶ谷本町二ノ二七  
 山本商會 魏町飯田町二ノ五三  
 山本商會 神田旭町三〇  
 山本商會 日本橋藥研堀町二〇  
 山本商會 深川猿江裏町九九  
 山本商會 深川東森下町六一  
 山田平山堂 本所龜澤町四ノ四  
 山田平山堂 下谷入谷町一四六  
 山田平山堂 瀧野川西ヶ原町八〇  
 彌生書院 本郷千駄木町二一  
 ヤマト書房 豐島目白町三ノ三三  
 ヤマト書房 神田神保町二ノ四一  
 ヤマト書房 江戶川小岩町二ノ二五三九  
 ヤマト書房 世田ヶ谷世田ヶ谷三ノ二四二九  
 ヤマト書房 大森大森四ノ二六一二  
 やまもと書店 目黒碑文谷一ノ二二三

雄風館書房 神田駿河臺三ノ九  
 雄文堂 小石川高田老松町六〇  
 雄鳳堂 日本橋本石町四ノ二  
 雄元堂 麻布飯倉町一ノ一二  
 西元堂 江戶川逆井一ノ九四  
 西元堂 江戶川小松川二ノ八〇  
 裕弘堂 板橋板橋町五ノ八九二  
 祐文堂 下谷竹町二一  
 悠久堂 神田通神保町二  
 遊星堂 王子上十條六〇以文堂支店内  
 優薦堂 芝白金今里町四五  
 勇林堂 京橋月島西仲通三ノ三  
 湯川弘文社東京支店 神田錦町一ノ二  
 ゆかり書店 神田錦町三ノ一一  
 ゆかり書店 澁谷上通り一ノ二一

羊我堂書店 魏町富士見町一ノ七  
 洋々堂 四谷左門町一ノ三  
 洋文堂 王子王子町三一〇  
 洋文堂 蒲田女塚町二六一  
 横尾書店 澁谷幡ヶ谷三三三  
 横溝書店 世田ヶ谷太子堂町三八〇  
 横溝書店 牛込新小川町二ノ一〇  
 横溝書店 四谷龜町一三ノ二五  
 岡書店 足立保木間町二四三七  
 岡書店 京橋京橋二ノ一一ノ二  
 岡書店 城東北砂町四ノ四四  
 岡書店 牛込馬場下町一八  
 吉川書店 澁谷伊達町二七  
 吉川書店 澁橋西大久保三ノ三三  
 吉川書店 澁橋百人町二ノ二四三  
 吉川書店 魏町永田町二ノ三〇  
 吉崎祥文堂 本郷本郷一ノ一  
 吉澤書店 本所太平町三ノ六  
 吉澤書店 大森田園調布一ノ二三  
 吉澤書店 魏町富士見町一ノ一二  
 吉澤書店 小石川大塚町五八  
 吉澤書店 蒲田下丸子町一八一  
 吉澤書店 蒲田小林町四  
 吉澤書店 深川常盤町二ノ一  
 吉澤書店 大森大森一八七  
 吉澤書店 蒲田小林町一九五







全國中等學校數

官立中學校	.....	校數
官立高等女學校	.....	三六
官立實科高等女學校	.....	一
官立工業學校	.....	一
師範學校	.....	六四
女子師範學校	.....	四六
教員養成所	.....	六九
公立中學校	.....	四八二
公立中學校	.....	三七一
私立中學校	.....	六二一
公立高等女學校	.....	八六〇
私立高等女學校	.....	一六八
公立實科高等女學校	.....	一五
私立實科高等女學校	.....	二三六
工業學校	.....	五八八
農業學校	.....	四七九
商業學校	.....	一三
商船學校	.....	一三
合計	四、〇二三	

備考 朝鮮及關東州の官立學校は内地の公立中に計上した。

出版法規

著作權法

(改正條文は二四一頁にあり)

明治三十二年三月法律第三十九號  
明治四十二年三月法律第六十三號改正  
大正九年法律第六〇號改正  
昭和六年法律第六四號改正

第一章 著作者の權利

第一條 文書、演述、圖畫、建築、彫刻、模型、寫眞、演奏、歌唱其ノ他文藝學術若ハ美術(音樂ヲ含ム以下之ニ同ジ)ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作者ハ其ノ著作物ヲ複製スルノ權利ヲ專有ス(明治四三年法律第六三號、大正九年同第六〇號及昭和六年同第六四號ヲ以テ本項中一部改正)  
文藝學術ノ著作物ノ著作權ハ翻譯權ヲ包含シ各種ノ脚本及樂譜ノ著作權ハ興行權ヲ包含ス

〔參照〕 第一條第一項 文書、演述、圖畫、建築、彫刻、模型、寫眞、演奏、歌唱其他ノ文藝學術若ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作者ハ其ノ著作物ヲ複製スルノ權利

出版法規

ヲ專有ス

第二條 著作權ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得

第三條 發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ著作者ノ生存間及其ノ死後三十年間繼續ス

數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作權ハ最終ニ死亡シタル者ノ死後三十年間繼續ス

第四條 著作者ノ死後發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス

第五條 無名又ハ變名著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス但シ其ノ期間内ニ著作者其ノ實名ノ登錄ヲ受ケタルトキハ第三條ノ規定ニ從フ

第六條 官公衙學校社寺協會會社其ノ他團體ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ發行又ハ興行シタル著作物ノ著作權ハ發行又ハ興行ノトキヨリ三十年間繼續ス

第七條 著作權者原著作物發行ノトキヨリ十年内ニ其ノ翻譯物ヲ發行セザルトキハ其ノ翻譯權ハ消滅ス  
前項ノ期間内ニ著作權者其ノ保護ヲ受ケントスル國語ノ翻譯



譯物ヲ發行シタルトキハ其ノ國語ノ翻譯權ハ消滅セス  
第八條 冊號ヲ逐ヒ順次ニ發行スル著作物ニ關シテハ前四條ノ期間ハ每冊若ハ每號發行ノトキヨリ起算ス

一部ツツヲ漸次ニ發行シ全部完成スル著作物ニ關シテハ前四條ノ期間ハ最終部分ノ發行ノトキヨリ起算ス但シ三年ヲ經過シ仍繼續ノ部分ヲ發行セサルトキハ既ニ發行シタル部分ヲ以テ最終ノモノト看做ス

第九條 前六條ノ場合ニ於テ著作權ノ期間ヲ計算スルニハ著作死亡ノ年又ハ著作物ヲ發行又ハ興行シタル年ノ翌年ヨリ起算ス

第十條 相續人ナキ場合ニ於テ著作權ハ消滅ス

第十一條 左ニ記載シタルモノハ著作權ノ目的物ト爲ルコトヲ得ス

一 法律命令及官公文書

二 新聞紙又ハ雜誌ニ掲載シタル雜報及時事ヲ報道スル記事(明治四三年法律第六三號及昭和六年同第六四號ヲ以テ本號中一部改正)

三 公開セル裁判所、議會並政談集會ニ於テ爲シタル演述  
〔參照〕 第十一條第二號 二 新聞紙ニ記載シタル雜報及時事ノ記事

第十二條 無名又ハ變名著作物ノ發行者又ハ興行者ハ著作權者ニ屬スル權利ヲ保全スルコトヲ得但シ著作權者其ノ實名ノ登錄ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作權ハ各著作人ノ共有ニ屬ス

其ノ發行又ハ興行ヲ拒ム者アルトキハ他ノ著作人ハ其ノ者ニ賠償シテ其ノ持分ヲ取得スルコトヲ得但シ反對ノ契約アルトキハ此ノ限ニ在ラス

各著作人ノ分擔シタル部分明瞭ナル場合ニ於テ著作人中ニ其ノ發行又ハ興行ヲ拒ム者アルトキハ他ノ著作人ハ自己ノ部分ヲ分離シ單獨ノ著作物トシテ發行又ハ興行スルコトヲ得但シ反對ノ契約アルトキハ此ノ限ニ在ラス

本條第二項ノ場合ニ於テハ發行又ハ興行ヲ拒ミタル著作人ノ意ニ反シテ其ノ氏名ヲ其ノ著作物ニ掲ケルコトヲ得ス

第十四條 數多ノ著作物ヲ適法ニ編輯シタル者ハ著作人ト看做シ其ノ編輯物全部ニ付テノ著作權ヲ有ス但シ各部ノ著作權ハ其ノ著作人ニ屬ス

第十五條 著作權ノ相續讓渡及質入ハ其ノ登錄ヲ受タルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス  
無名又ハ變名著作物ノ著作人ハ現ニ著作權ヲ有スルト否ト

ニ拘ラス其ノ實名ノ登錄ヲ受クルコトヲ得(明治四三年法律第六三號ヲ以テ全條改正、昭和六年同第六四號ヲ以テ本項中一部改正)

第十六條 登錄ハ行政廳之ヲ行フ

登錄ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條 未タ發行又ハ興行セサル著作物ノ原本及其ノ著作權ハ債權者ノ爲ニ差押ヲ受クルコトナシ但シ著作權者ニ於テ承諾ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十八條 他人ノ著作物ヲ發行又ハ興行スル場合ニ於テハ著作人ノ生存中ハ著作人カ現ニ其ノ著作權ヲ有スルト否トニ拘ラス其ノ同意ナクシテ著作人ノ氏名稱號ヲ變更若ハ隱匿シ又ハ其ノ著作物ニ改竄其ノ他ノ變更ヲ加ヘ若ハ其ノ題號ヲ改ムルコトヲ得ス

他人ノ著作物ヲ發行又ハ興行スル場合ニ於テハ著作人ノ死後ハ著作權ノ消滅シタル後ト雖モ其ノ著作物ニ改竄其ノ他ノ變更ヲ加ヘテ著作人ノ意ヲ害シ又ハ其ノ題號ヲ改メ若ハ著作人ノ氏名稱號ヲ變更若ハ隱匿スルコトヲ得ス

前二項ノ規定ハ第二十條、第二十二條ノ二、第二十二條ノ五第二項及第三十條第一項第二號乃至第六號ノ場合ニ於テモ之ヲ適用ス(昭和六年法律第六四號ヲ以テ全條改正)

〔參照〕 第十八條 著作權ヲ承繼シタル者ハ著作人ノ同意ナクシテ其ノ著作人ノ氏名稱號ヲ變更シ若ハ其ノ題號ヲ改メ又ハ其ノ著作物ヲ改竄スルコトヲ得ス

第十九條 原著作物ニ訓點、傍訓、句讀、批評、註解、附録、圖畫ヲ加ヘ又ハ其ノ他ノ修正増減ヲ爲シ若ハ翻案シタルガ爲新ニ著作權ヲ生スルコトナシ但シ新著作物ト看做サルヘキモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十條 新聞紙又ハ雜誌ニ掲載シタル政治上ノ時事問題ヲ論議シタル記事(學術上ノ著作物ヲ除ク)ハ特ニ轉載ヲ禁スル旨ノ明記ナキトキハ其ノ出所ヲ明示シテ之ヲ他ノ新聞紙又ハ雜誌ニ轉載スルコトヲ得

〔參照〕 第二十條 新聞紙ニ掲載シタル記事ニ關シテハ小説及文藝學術若ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ヲ除ク外著作權者ガ特ニ轉載ヲ禁スル旨ヲ明記セサルトキハ其ノ出所ヲ明示シテ轉載スルコトヲ得

第二十二條ノ二 時事問題ニ付テノ公開演述ハ著作人ノ氏名、演述ノ時及場所ヲ明示シテ之ヲ新聞紙又ハ雜誌ニ掲載スルコトヲ得但シ同一著作人ノ演述ヲ蒐輯スル場合ハ其ノ著作人ノ許諾ヲ受クルコトヲ要ス(昭和六年法律第六四號ヲ以テ追加)



第二十一條 翻譯者ハ著作物ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス但シ原著者ノ權利ハ之カ爲ニ妨ケララルコトナシ

第二十二條 原著物ト異リタル技術ニ依リ適法ニ美術上ノ著作物ヲ複製シタル者ハ著作物ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス

第二十二條ノ二 文藝、學術又ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作權ハ其ノ著作物ヲ活動寫眞術又ハ之ト類似ノ方法ニ依リ複製(脚色シテ映畫ト爲ス場合ヲ含ム)シ及興行スルノ權利ヲ包含ス

第二十二條ノ三 活動寫眞術又ハ之ト類似ノ方法ニ依リ製作シタル著作物ノ著作權ハ文藝學術又ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作物トシテ本法ノ保護ヲ享有ス其ノ保護ノ期間ニ付テハ獨創性ヲ有スルモノニ在リテハ第三條乃至第六條及第九條ノ規定ヲ適用シ之ヲ缺クモノニ在リテハ第二十三條ノ規定ヲ適用ス

第二十二條ノ四 他人ノ著作物ヲ活動寫眞術又ハ之ト類似ノ方法ニ依リ複製(脚色シテ映畫ト爲ス場合ヲ含ム)シタル者ハ著作物ト看做シ本法ノ保護ヲ享有ス但シ原著者ノ權利ハ之カ爲ニ妨ケララルコトナシ(昭和六年法律第六四號ヲ以テ追加)

第二十二條ノ五 文藝學術又ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作權ハ其著作物ノ無線電話ニ依ル放送ヲ許諾スルノ權利ヲ包含ス無線電信法及之ニ基キ發スル命令ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケタル放送無線電話施設者ハ既ニ發行又ハ興行シタル他人ノ著作物ヲ放送セントスルトキハ著作權者ト協議ヲ爲スコトヲ要ス協議調ハサルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ定ムル相當ノ償金ヲ支拂ヒ其ノ著作物ヲ放送スルコトヲ得

第二十三條 寫眞著作權ハ十年間繼續ス  
前項ノ期間ハ其ノ著作物ヲ始メテ發行シタル年ノ翌年ヨリ起算ス若シ發行セサルトキハ種板ヲ製作シタル年ノ翌年ヨリ起算ス寫眞術ニ依リ適法ニ美術上ノ著作物ヲ複製シタル者ハ原著物ノ著作權ト同一ノ期間内本法ノ保護ヲ享有ス但シ當事者間ニ契約アルトキハ其ノ契約ノ制限ニ從フ

第二十四條 文藝學術ノ著作物中ニ挿入シタル寫眞ニシテ特ニ其ノ著作物ノ爲ニ著作シ又ハ著作セシメタルモノナルトキハ其ノ著作權ハ文藝學術ノ著作物ノ著作權ニ屬シ其ノ著作權ト同一ノ期間内繼續ス

第二十五條 他人ノ囑托ニ依リ著作シタル寫眞肖像ノ著作權ハ其ノ囑托者ニ屬ス

第二十六條 寫眞ニ關スル規定ハ寫眞術ト類似ノ方法ニ依リ製作シタル著作物ニ準用ス

第二十七條 著作權者ノ不明ナル著作物ニシテ未タ發行又ハ興行セサルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ發行又ハ興行スルコトヲ得

第二十八條 外國人ノ著作權ニ付テハ條約ニ別段ノ規定アルモノヲ除ク外本法ノ規定ヲ適用ス但シ著作保護ニ關シ條約ニ規定ナキ場合ニハ帝國ニ於テ始メテ其ノ著作物ヲ發行シタル者ニ限リ本法ノ保護ヲ享有ス

第二章 偽作

第二十九條 著作權ヲ侵害シタル者ハ偽作者トシテ本法ニ規定シタルモノノ外民法第三編第五章ノ規程ニ從ヒ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

第三十條 既ニ發行シタル著作物ヲ左ノ方法ニ依リ複製スルハ偽作ト看做サス  
第一 發行スルノ意思ナク且器械的又ハ化學的方法ニ依ラスシテ複製スルコト

第二 自己ノ著作物中ニ正當ノ範圍内ニ節録引用スルコト  
第三 普通教育上ノ修身書及讀本ノ目的ニ供スル爲ニ正當ノ範圍内ニ於テ抜萃蒐輯スルコト  
第四 文藝學術ノ著作物ノ文句ヲ自己ノ著作シタル脚本ニ挿入シ又ハ樂譜ニ充用スルコト  
第五 文藝學術ノ著作物ヲ説明スルノ材料トシテ美術上ノ著作物ヲ挿入シ又ハ美術上ノ著作物ヲ説明スルノ材料トシテ文藝學術ノ著作物ヲ挿入スルコト  
第六 圖畫ヲ彫刻物模型ニ作り又ハ彫刻物模型ヲ圖畫ニ作ルコト  
本條ノ場合ニ於テハ其ノ出所ヲ明示スルコトヲ要ス

第三十一條 帝國ニ於テ發賣頒布スルノ目的ヲ以テ偽作物ヲ輸入スル者ハ偽作者ト看做ス

第三十二條 練習用ノ爲ニ著作シタル問題ノ解答書ヲ發行スル者ハ偽作者ト看做ス

第三十二條ノ二 削除(明治四三年法律第六三號ヲ以テ追加、昭和六年同第六四號ヲ以テ削除)

第三十二條ノ三 音ヲ器械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ



他人ノ著作物ヲ寫調スル者ハ僞作者ト看做ス

**第三十三條** 善意ニシテ且過失ナク僞作ヲ爲シテ利益ヲ受ケ之ガ爲ニ他人ニ損失ヲ及ホシタル者ハ其ノ利益ノ存スル限度ニ於テ之ヲ返還スル義務ヲ負フ

**第三十四條** 數人ノ合著作ニ係ル著作物ノ著作權者ハ僞作ニ對シ他ノ著作權者ノ同意ナクシテ告訴ヲ爲シ及自己ノ持分ニ對スル損害ノ賠償ヲ請求シ又ハ自己ノ持分ニ應ジテ前條ノ利益ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

**第三十五條** 僞作ニ對シ民事ノ訴訟ヲ提起スル場合ニ於テハ既ニ發行シタル著作物ニ於テ其ノ著作權者トシテ氏名ヲ掲ケタル者ヲ以テ著作權者ト推定ス

無名又ハ變名著作物ニ於テハ其ノ著作權者ニ發行權者トシテ氏名ヲ掲ケタル者ヲ以テ其ノ發行權者ト推定ス  
未タ發行セサル脚本、樂譜及活動寫眞術又ハ之ト類似ノ方法ニ依リ製作シタル著作物ノ興行ニ關シテハ其ノ興行ニ著作權者トシテ氏名ヲ顯ハシタル者ヲ以テ其ノ著作權者ト推定ス  
(昭和六年法律第六四號ヲ以テ本項中一部改正)

著作權者ノ氏名ヲ顯ハササルトキハ其ノ興行權者ヲ以テ著作權者ト推定ス

〔參照〕 第三十五條第三項 未タ發行セサル脚本及樂譜

ニ關シテハ其ノ興行ニ著作權者トシテ氏名ヲ顯ハシタル者ヲ以テ其ノ著作權者ト推定ス

**第三十六條** 僞作ニ關シ民事ノ出訴又ハ刑事ノ起訴アリタルトキハ裁判所ハ原告又ハ告訴人ノ申請ニ依リ保證ヲ立テシメ又ハ立テシメスシテ假ニ僞作ノ疑アル著作物ノ發賣頒布ヲ差止め若ハ之ヲ差押ヘ又ハ其ノ興行ヲ差止めルコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テ僞作ニ非サル旨ノ判決確定シタルトキハ申請者ハ差止又ハ差押ヨリ生シタル損害ヲ賠償スルノ責ニ任ス

**第三十六條ノ二** 第十八條ノ規定ニ違反シタル行爲ヲ爲シタル者ニ對シテハ著作者ハ著作權者タルコトヲ確保シ又ハ訂正其ノ他其ノ聲望名譽ヲ回復スルニ適當ナル處分ヲ請求シ及民法第三編第五章ノ規程ニ從ヒ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第十八條ノ規定ニ違反シタル行爲ヲ爲シタル者ニ對シテハ著作權者ノ死後ニ於テハ著作權者ノ親族ニ於テ其ノ著作權者タルコトヲ確保シ又ハ訂正其ノ他其ノ聲望名譽ヲ回復スルニ適當ナル處分ヲ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ民事ノ訴訟ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第三章 罰 則

**第三十七條** 僞作ヲ爲シタル者及情ヲ知テ僞作物ヲ發賣シ又ハ頒布シタル者ハ五十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

**第三十八條** 第十八條ノ規定ニ違反シタル者ハ三十圓以上三百圓以下ノ罰金ニ處ス

**第三十九條** 第二十條、第二十一條ノ二、及第三十條第二項ノ規定ニ違反シ出所ヲ明示セシテ複製シタル者並第十三條第四項ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス  
(明治四三年法律第六三號及昭和六年同第六四號ヲ以テ一部改正)

**第四十條** 著作權ニ非サル者ノ氏名稱號ヲ附シテ著作物ヲ發行シタル者ハ三十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

**第四十一條** 削除(明治四三年法律第六三號ヲ以テ全部改正、昭和六年同第六四號ヲ以テ削除)

〔參照〕 第四十一條 著作權ノ消滅シタル著作物ト雖之ヲ改竄シテ著作權者ノ意ヲ害シ又ハ其ノ題號ヲ改メ若ハ著作權者ノ氏名稱號ヲ隱匿シ又ハ他人ノ著作物ト詐稱シテ發行シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

**第四十二條** 虛偽ノ登錄ヲ受ケタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

ス(明治四三年法律第六三號ヲ以テ一部改正)

**第四十三條** 僞作物及專ラ僞作ノ用ニ供シタル器械器具ハ僞作者印刷者、發賣者及頒布者ノ所有ニ在ル場合ニ限り之ヲ沒收ス

**第四十四條** 本章ニ規定シタル罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス但シ第三十八條ノ場合ニ於テ著作權者ノ死亡シタルトキ並第四十條乃至第四十二條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

**第四十五條** 本章ノ罪ニ對スル公訴ノ時効ハ二年ヲ經過スルニ因リテ完成ス

第四章 附 則

**第四十六條** 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(明治三十二年勅令第三百十三號ヲ以テ同年七月十五日ヨリ施行)

明治二十六年法律第十六號版權法明治二十年勅令第七十八號脚本樂譜條例明治二十年勅令第七十九號寫眞權條例ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

**第四十七條** 本法施行前ニ著作權ノ消滅セサル著作物ハ本法施行ノ日ヨリ本法ノ保護ヲ享有ス

**第四十八條** 本法施行前僞作ト認メラレサリシ複製物ニシテ既ニ複製シタルモノ又ハ複製ニ著手シタルモノハ之ヲ完成



シテ發賣頒布スルコトヲ得

前項ノ複製ノ用ニ供シタル器械器具ノ現存スルトキハ本法施行後五年間仍其ノ複製ノ爲之ヲ使用スルコトヲ得

**第四十九條** 本法施行前翻譯シ又ハ翻譯ニ著手シ其ノ當時ニ於テ僞作ト認メラレサリシモノハ之ヲ完成シテ發賣頒布スルコトヲ得但シ其ノ翻譯物ハ本法施行後七年内ニ發行スルコトヲ要ス

前項ノ翻譯物ハ發行後五年間仍之ヲ複製スルコトヲ得

**第五十條** 本法施行前既ニ興行シ若ハ興行ニ著手シ其ノ當時ニ於テ僞作ト認メラレサリシモノハ本法施行後五年間仍之ヲ興行スルコトヲ得

**第五十一條** 第四十八條乃至第五十條ノ場合ニ於テハ命令ノ定ムル手續ヲ履行スルニ非サレハ其ノ複製物ヲ發賣頒布シ又ハ興行スルコトヲ得ス

### 著作権法施行細則

(昭和六年七月二十八日内務省令第十八號)

#### 第一章 著作権ニ關スル登録

**第一條** 著作権ニ關スル登録ヲ受ケントスル者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録ノ目的ヲ明示シ且各列記事項ヲ記載シタル申請書

ヲ内務大臣ニ差出スベシ

一 著作権ノ相續登録ヲ申請スル場合  
著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數著作權ノ相續アリタル年月日

二 著作権ノ讓渡又ハ著作權ヲ目的トスル質權ノ設定登録ヲ申請スル場合  
著作權ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數  
著作權ノ讓渡又ハ著作權ヲ目的トスル質權ノ設定アリタル年月日

三 著作権ヲ目的トスル質權ノ相續登録ヲ申請スル場合

著作權ノ信託アリタル年月日  
委託者、受託者、受益者及信託管理人ノ氏名及住所  
並ニ外國人ナルトキハ其ノ國籍  
信託ノ目的、信託財産ノ管理方法、信託終了ノ事由  
其ノ他信託ノ條項  
登録税ノ金額

六 實名登録ヲ申請スル場合  
著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數  
無名又ハ變名著作物ヲ初テ發行又ハ興行シタル年月日

七 登録ノ變更、更正若ハ抹消又ハ抹消シタル登録ノ回復ヲ申請スル場合

著作權者ノ氏名(若シ著作權者ナキトキハ其ノ旨)  
著作權者ノ實名及住所並ニ外國人ナルトキハ其ノ國籍  
發行者又ハ興行者ノ氏名及住所並ニ外國人ナルトキハ其ノ國籍  
登録税ノ金額

著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數

著作權ヲ目的トスル質權設定登録ノ年月日及登録番號

著作權ヲ目的トスル質權ノ相續アリタル年月日

質權被相續人ノ氏名及外國人ナルトキハ其ノ國籍

質權相續人ノ氏名及住所並ニ外國人ナルトキハ其ノ國籍

登録税ノ金額

四 著作権ヲ目的トスル質權ノ讓渡登録ヲ申請スル場合

著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數

著作權ヲ目的トスル質權設定登録ノ年月日及登録番號

著作權ヲ目的トスル質權ノ讓渡アリタル年月日

質權讓渡人ノ氏名及住所並ニ外國人ナルトキハ其ノ國籍

質權讓受人ノ氏名及住所並ニ外國人ナルトキハ其ノ國籍

登録税ノ金額

五 著作権ノ信託登録ヲ申請スル場合

著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數

著作權ノ信託アリタル年月日

委託者、受託者、受益者及信託管理人ノ氏名及住所  
並ニ外國人ナルトキハ其ノ國籍  
信託ノ目的、信託財産ノ管理方法、信託終了ノ事由  
其ノ他信託ノ條項  
登録税ノ金額

六 實名登録ヲ申請スル場合  
著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數  
無名又ハ變名著作物ヲ初テ發行又ハ興行シタル年月日

七 登録ノ變更、更正若ハ抹消又ハ抹消シタル登録ノ回復ヲ申請スル場合

著作權者ノ氏名(若シ著作權者ナキトキハ其ノ旨)  
著作權者ノ實名及住所並ニ外國人ナルトキハ其ノ國籍  
發行者又ハ興行者ノ氏名及住所並ニ外國人ナルトキハ其ノ國籍  
登録税ノ金額

七 登録ノ變更、更正若ハ抹消又ハ抹消シタル登録ノ回復ヲ申請スル場合

著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊(箇)數  
變更、更正、抹消又ハ回復ヲ爲スコトヲ要スルニ至リタル事由



變更、更正、抹消又ハ回復ヲ受クベキ登録ノ年月日及登録番號

變更、更正、抹消又ハ回復ヲ爲スベキ事項

登録税ノ金額

**第二條** 登録申請書ハ一件毎ニ一通ヲ作り申請ノ年月日ヲ記載シ且申請人之ニ記名捺印スベシ

著作權若ハ之ヲ目的トスル質權ノ讓渡登録ヲ申請スル場合ニ於テハ讓受人及讓渡人、著作權ヲ目的トスル質權ノ設定登録ヲ申請スル場合ニ於テハ質權者及質權設定者、著作權ノ信託登録ヲ申請スル場合ニ於テハ受託者及委託者雙方其ノ登録申請書ニ記名捺印スルコトヲ要ス但シ登録申請書ニ登録原因ヲ證スルニ足ルベキ書面又ハ相手方ノ承諾書ヲ添附シタルトキハ讓受人、質權者又ハ受託者ノミノ記名捺印ニテ足ル

**第三條** 著作權ノ一部移轉又ハ制限附移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ移轉スベキ權利ノ部分又ハ制限ヲ登録申請書ニ記載スベシ著作權又ハ之ヲ目的トスル質權ノ承繼人が多數ナル場合ニ於テ登録原因ニ持分ノ定アルトキ其ノ持分ニ付亦同ジ

**第四條** 著作權ノ相續、讓渡、信託若ハ著作權ヲ目的トスル

二 申請人タルベキ者ノ相續人其ノ他ノ一般承繼人ニ於テ登録ヲ申請スル場合

三 登録名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録ヲ申請スル場合

**第七條** 登録税法施行規則第四條第一項ノ場合ニ於テ既ニ登記所又ハ登録官廳ニ於テ登記又ハ登録ヲ受ケタルコトアルトキハ登録申請書ニ其ノ登記所又ハ登録官廳ノ交付シタル登録税ノ受領證ヲ添附スベシ

**第八條** 登録ノ變更、更正若ハ抹消又ハ抹消シタル登録ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登録上利害關係ヲ有スル者アルトキハ登録申請書ニ其ノ承諾書又ハ其ノ者ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本ヲ添附スベシ

**第九條** 内務大臣ハ登録申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ登録簿ニ登録ス

登録簿ノ様式及其ノ記載例ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

**第十條** 内務大臣ハ登録ヲ完了シタルトキハ官報ニ公告シ且申請人ニ通知ス

**第十一條** 登録税法施行規則第四條第一項ノ規定ニ依リ登録税ヲ徴收スル場合ニ於テハ後ニ登記又ハ登録ヲ申請スベキ登記所又ハ登録官廳ノ數ニ應ジ價課税額ヲ記載シタル登録

質權設定ノ登録又ハ實名登録ヲ申請スル場合ニ於テハ登録申請書ニ著作物ノ明細書ヲ添附スベシ

**第五條** 著作物ノ明細書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 著作物ノ題號

二 著作物ノ氏名及外國人ナルトキハ其ノ國籍

三 既ニ發行又ハ興行シタル著作物ナルトキハ初メテ發行又ハ興行シタル際顯ハシタル著作物ノ實名又ハ變名

(若シ無名著作物ナルトキハ其ノ旨)

四 著作ノ年月日及外國人ノ著作シタル著作物ニ關スル登録ノ場合ニ在リテハ其ノ著作物ヲ初テ發行シタル國名

五 著作物ヲ初テ發行又ハ興行シタル年月日(若シ未ダ發行又ハ興行ヲ爲サザルモノナルトキハ其ノ旨)

六 著作物ノ種別及内容又ハ體様若シ著作物ノ體様ヲ明瞭ナラシムル爲必要ナルトキハ其ノ圖面、寫眞等ヲ添附スベシ

七 著作物ニ付既ニ登録ヲ受ケタルコトアルトキハ前登録ノ年月日及登録番號

**第六條** 左ノ場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スルニ足ルベキ戶籍又ハ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ登録申請書ニ添附スベシ

一 登録原因ガ相續其ノ他ノ一般承繼ナル場合

税ノ受領證ヲ申請人ニ交付スルモノトス但シ二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附ス

**第十二條** 何人ト雖モ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納付シテ登録簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ申請シ又ハ利害ノ關係アル部分ニ限リ登録簿若ハ其ノ附屬書類ノ閱覽ヲ申請スルコトヲ得

一 登録簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付

用紙一枚ニ付(一枚ニ滿チザルモノト雖) 金三十錢

二 登録簿又ハ其ノ附屬書類ノ閱覽 金三十錢

前項ノ手数料ハ申請書ニ收入印紙ヲ貼附シテ之ヲ納付スベシ

**第十三條** 前條ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シ且記名捺印シタル申請書ヲ内務大臣ニ差出スベシ

一 著作物ノ題號及著作物ノ氏名

二 登録ノ年月日及登録番號

三 手数料ノ金額

四 申請ノ年月日

**第十四條** 登録簿ノ抄本ノ交付ヲ申請スル場合ニ於テハ其ノ申請書ニ抄本ノ交付ヲ申請スル部分ヲ記載スベシ

## 第二章 著作物ノ放送



**第十五條** 著作権法第二十二條ノ五第二項ノ規定ニ依リ放送無線電話施設者ガ著作権者トノ協議調ハザル著作物ヲ放送セントスルトキハ放送ノ日ヨリ十日前迄ニ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ内務大臣ニ差出シ裁定ヲ求ムベシ

一 著作物ノ題號及著作者ノ氏名並ニ外國人ナルトキハ其ノ國籍

二 著作物ノ種別及内容

三 著作物ノ發行又ハ興行ノ年月日

四 著作權者ノ氏名及住所並ニ外國人ナルトキハ其ノ國籍

五 放送ノ日時場所

六 償金ノ見積金額及其ノ算定基準

七 放送ヲ必要トスル事由

八 著作權者トノ協議調ハザル事由

前項ノ申請書ニハ著作權者ノ意見書ヲ添附スルコトヲ要ス若シ之ヲ添附スルコト能ハザルトキハ申請書ニ其ノ事由ヲ附記スベシ

**第十六條** 内務大臣ガ前條ノ申請ヲ認ムル旨ノ裁定ヲ爲ス場合ニ於テハ償金ニ付テモ之ガ決定ヲ爲スモノトス

**第十七條** 内務大臣ガ第十五條ノ申請ヲ認ムル旨ノ裁定ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ著作權者ニ通知ス

前項ノ通知書ニハ著作物ノ題號及著作者ノ氏名、放送ノ日時及場所並ニ決定シタル償金ノ額ヲ記載スルモノトス

**第十八條** 第十五條ノ申請ヲ認ムル旨ノ裁定ヲ受ケタル後放送無線電話施設者ガ放送ノ日時又ハ場所ヲ變更セントスルトキハ豫メ其ノ旨ヲ内務大臣ニ届出デ且著作權者ニ通知スベシ

**第三章 著作權者不明ノ著作物**

**ノ發行又ハ興行**

**第十九條** 著作権法第二十七條ノ規定ニ依リ著作物ヲ發行又ハ興行セントスル者ハ左ノ事項ヲ官報並ニ東京市及大阪市ニ於テ發行セラルル各二種以上ノ主タル新聞紙ニ三回以上公告スルコトヲ要ス

一 著作権法第二十七條ノ規定ニ依リ著作物ヲ發行又ハ興行セントスル旨

二 著作物ノ題號及著作者ノ實名又ハ變名(若シ無名著作物ナルトキハ其ノ旨)

三 六月以上ノ一定ノ期間ヲ定メ著作權者アラバ其ノ期間内ニ權利ヲ主張スベキ旨ノ催告

四 著作物ヲ發行又ハ興行セントスル者ノ氏名及住所

著作者ノ住所明ナルトキハ其ノ住所ニ於テ發行セラルル一種又ハ數種ノ新聞紙ニモ亦前項ノ規定ニ準ジ公告スルコトヲ要ス

**第二十條** 前條ノ公告ヲ爲シタル者ハ其ノ公告ヲ最終ニ掲載シタル官報又ハ新聞紙ノ發行ノ日ノ翌日ヨリ起算シ前條第一項第三號ノ期間内ニ著作權ヲ主張スル者ナキトキニ限り著作物ヲ發行又ハ興行スルコトヲ得

**附 則**

本則ハ昭和六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

左ノ省令ハ之ヲ廢止ス

明治三十二年内務省令第二十七號

明治四十三年内務省令第二十三號

本則施行ノ際現ニ繫屬スル登録ニ關スル處分及手續ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

前項ノ規定ニ依リ爲シタル登録ニ關スル處分及手續ハ本則ニ依リ爲シタルモノト看做ス

【参照】 明治三十二年六月二十八日内務省令第二十七號ハ著作權者不明ノ著作物ニ關スル件、同四十三年六月十五日同第二十三號ハ著作權ニ關スル登録手續ナリ

**著作権登録様式**

(昭和六年八月一日内務省告示第一七六號)

一 著作権ニ關スル登録ノ爲内務省ニ著作権登録簿ヲ備フ

二 著作権登録簿用紙ハ左ノ様式ニ依リ之ヲ作ル

**甲 著作権登録簿表題用紙**

雛形(表面)

登録番号		第 號		著作者		著作物		發行又ハ興行		實名登録	
著作物ノ題號及著作物ヲ組成スル冊數	著作物ニ掲ゲタル著作者ノ氏名	著作者ノ氏名	著作物ノ種類及内容又ハ體様	著作物ノ種類及内容又ハ體様	發行又ハ興行ノ年月日	實名登録ノ年月日	實名登録ノ年月日	實名登録ノ年月日	實名登録ノ年月日	實名登録ノ年月日	實名登録ノ年月日



記載例

- (一)「登録番號」欄ニハ著作權登録簿ニ著作物ヲ登録シタル順序ヲ記載ス
- (二)「著作物ニ掲ゲタル著作者ノ氏名」欄ニハ著作物ヲ初テ發行又ハ興行シタル際顯ハシタル著作者ノ實名又ハ變名ヲ記載シ若シ無名著作者ナルトキハ其ノ旨ヲ記載ス但シ登録申請ノ際未ダ發行又ハ興行シタルモノニ非ザルトキハ何等ノ記載ヲ爲サズ
- (三)「發行又ハ興行ノ年月日」欄ニハ著作物ヲ初テ發行又ハ興行シタル年月日ヲ記載ス但シ登録申請ノ際未ダ發行又ハ興行シタルモノニ非ザルトキハ何等ノ記載ヲ爲サズ
- (四)「實名登録年月日」欄及「實名登録番號」欄ニハ無名又ハ變名著作物ニ付實名登録アリタル際夫々該當事項ヲ記載ス
- (五)其ノ他ノ欄ニハ各該當事項ヲ記載ス

乙 著作權登録簿事項用紙(雛形)

順位登録ノ番號	登録ノ年月日	登録ノ原因	登録申請書ノ年月日及受附番號	登録申請者又ハ代理人ノ氏名及住所	備考
---------	--------	-------	----------------	------------------	----

記載例

- (一)「順位番號」欄ニハ本用紙ニ登録事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス
- (二)「登録ノ原因」欄ニハ登録ノ原因及其ノ日附、當事者ノ氏名及住所其ノ他登録スベキ權利ノ變動ニ關スル事項ヲ記載ス
- (三)「備考」欄ニハ登録事項ヲ記載スル毎ニ權利者ノ氏名ヲ職權ヲ以テ表示ス
- (四)其ノ他ノ欄ニハ各該當事項ヲ記載ス


本用紙ハニ續ク

三 本登録原簿ハ昭和六年内務省令第十八號著作權法施行規則施行後ニ受理シタル登録申請書ニ基キ登録ヲ爲スモノヨリ之ヲ使用スルモノトス

四 本登録原簿ニ初テ登録ヲ爲ス場合ニ於ケル登録番號ハ從來ノ登録番號ノ順序ヲ逐フモノトス

五 舊登録簿ニ登録セラレタル著作物ニ關シ昭和六年内務省令第十八號著作權法施行規則施行後登録ヲ爲ス場合ニ於テハ新登録簿中相當欄ニ舊登録簿中抹消ニ係ラザル登録ヲ轉寫シ且末尾ニ舊登録簿ヨリ轉寫シタル旨ヲ記載スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ舊登録簿中相當欄ニ新登録簿ニ移シタル旨ヲ記載シ其ノ登録ヲ抹スルモノトス  
舊登録簿ニ登録セラレタル權利ニ關シ昭和六年内務省令第十八號著作權法施行規則施行後其ノ登録簿ノ謄本又ハ抄本ノ請求アリタル場合亦前二項ノ例ニ依ル

著作權ニ關スル登録出願書式

第一號書式(本號ノ願ニハ第五號書式ニ依ル著作物ノ明細)

著作權相續登録願

著作物ノ題號

全何冊(箇)

出版法規

著作權者 氏名

相續人 氏名

住所(外國人ハ住所ノ外ニ國籍) 年 月 日

右

氏

名(相續人)印

内務大臣 宛  
此登録税金壹圓也 收入 印紙

第二號書式(本號ノ願ニハ第五號書式ニ依ル)

著作物明細書ヲ添付スルヲ要ス

著作權讓渡登録願

全何冊(箇)

著作物ノ題號

讓渡人 氏名

讓受人 氏名

住所(外國人ハ住所ノ外ニ國籍)

住所(外國人ハ住所ノ外ニ國籍) 年 月 日

右登録相成度此段相願候也

右

本一七九



氏 氏  
名(讓渡人) ㊦  
名(讓受人) ㊦

内務大臣 宛  
此登録税金五圓也 收入  
印紙

第三號書式(本號ノ願ニハ第五號書式ニ依ル)  
著作物明細書ヲ添付スルヲ要ス

著作權質入登録願

全何冊(箇)

著作物ノ題號

質 入 人 氏 名

住所(外國人ハ住所ノ外ニ國籍)

質 取 人 氏 名

住所(外國人ハ住所ノ外ニ國籍)

右登録相成度此段相願候也

年 月 日

右

氏 氏  
名(質入人) ㊦  
名(質取人) ㊦

内務大臣 宛

此登録税金(債權金額)圓也  
千分ノ六

第四號書式(本號ノ願ニハ第五號書式ニ依ル)  
著作物明細書ヲ添付スルヲ要ス

實名登録願

全何冊(箇)

著作物ノ題號

若無名著著作物ナルトキハ其ノ旨

著作物ノ稱號

著 者 氏 名

住所(外國人ハ住所ノ外ニ國籍)

發 行 者 氏 名

右登録相成度此段相願候也

年 月 日

右

氏 氏  
名(著作者) ㊦  
名(發行者) ㊦

内務大臣 宛

此登録税金貳圓也 收入  
印紙

第五號書式

著作物ノ明細書

一、著作物ノ題號

二、著作物ノ氏名稱號

三、著作ノ年月日

ナキトキハ債權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看  
做ス

### 教科用圖書檢定規則

(明治二十年五月七日文部省令第二)  
(號大正十五年省令第三十五號改正)

第一條 教科用圖書ノ檢定ハ師範教育令中學校令高等女學校

令小學校令及教則ノ旨趣ニ合シ教科用ニ適スルコトヲ認定

スルモノトス本規則ニ於テ教科用圖書ト稱スルハ師範學校

中學校高等女學校ニ關シテハ生徒用圖書トシ小學校ニ關シ

テハ教師用圖書及兒童用圖書トス

前項ノ教師用圖書トハ教授スヘキ事項教授上ノ注意及應用

ニ關スル事項等ヲ記載シタル圖書又ハ該圖書ニ附屬シテ兒

童ニ示スル目的トスル掛圖類ヲ云フ

第二條 圖書ノ發行者ハ該圖書ノ檢定ヲ文部省ニ請フコトヲ

得

外國ニ於テ發行シタル圖書ハ左ノ各號ノ一ニ當ルモノニ限

リ發行者ニ於テ其圖書ノ檢定ヲ文部省ニ請フコトヲ得

一 師範學校中學校又ハ高等女學校ニ於ケル英語獨語佛語

ノ教科用ヲ目的トスルモノ

二 小學校ニ於ケル英語ノ教科用ヲ目的トスルモノ

- 四、發行ノ年月日
- 五、著作物ノ體樣
- 六、前登録ヲ受ケタル場合ハ其年月日

### 登録税法(抄)

第十條 著作權ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登  
録税ヲ納ムヘシ

一 著作權ノ移轉

相 續 每一件 金 一圓

相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金 五圓

二 著作權ヲ目的トスル質權ノ設定 債權金額千分ノ六

三 前號ノ權利ノ移轉 相 續 每一件 金 五拾錢

相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金 壹圓

四 無名又ハ變名著著作物ノ著作者ノ實名登録 每一件 金 貳圓

四ノ二 信託ノ登録 每一件 金 壹圓

五 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金 二十錢

債權金額ニ因リ課稅額ヲ定ムル場合ニ於テ一定ノ債權金額



**第三條** 第二條ニ依リ檢定ヲ請フ者ハ圖書一種ニ付其目的トスル所ノ學校一種毎ニ第一條第二項ノ掛圖類ハ二部ノ定價其ノ他ハ二十部ノ定價ニ等シキ手数料及該圖書二部ヲ檢定願書ニ添ヘ文部省ニ納ムヘシ但檢定ヲ得タル後定價ヲ増加シタルトキハ本文ノ例ニ準シ其差額ヲ追納スヘシ  
定價ノ記載セサル圖書ハ檢定セス

**第四條** 第二條ニ依リ檢定ヲ請ヒタル圖書中瑣少ノ修正ヲ加フレハ檢定ヲ與フルコトヲ得ヘシト認ムルモノアルトキハ其廉ヲ檢定出願者ニ指示スルコトアルヘシ

**第五條** 檢定シタル圖書ハ文部省ヨリ官報ヲ以テ其名稱、冊數、定價、目的トスル學校並學科ノ種類、發行ノ年月日並該圖書ニ記載スル所ノ著譯者及發行者ノ住所姓名等ヲ廣告スヘシ

**第六條** 檢定ノ效力ハ檢定ヲ得タル後修正ヲ加ヘタル圖書ニ及ハサルモノトス

**第七條** 第五條ニ依リ廣告シタル定價、發行ノ年月日並著譯者及發行者ノ住所姓名等ニ異動ヲ生シ圖書中其記載方ヲ變更シタルトキハ同條ニ依リ廣告シタル冊數ヲ變更シタルトキハ更ニ官報ヲ以テ其旨ヲ廣告スルニアラサレハ檢定ノ效力該圖書ニ及ハサルモノトス

**第八條** 檢定出願者ニシテ檢定ヲ得サリシ事由ノ大要ヲ知ラントスルトキハ指令到達ノ日ヨリ六十日以内ニ願出ツヘシ

**第九條** 檢定出願中ノ圖書若クハ檢定ヲ得タル圖書ニ修正ヲ加ヘ檢定ヲ請フ者ハ更ニ第三條ノ手数料ヲ納ムヘシ但第四條ノ指示ヲ受ケテ修正ヲ加フル場合ハ此限ニアラス

**第十條** 圖書ノ發行者ハ其檢定ヲ得タル圖書ニシテ第七條ノ變更アルニ會スルトキハ其事項ノ廣告ヲ文部省ニ請フヘシ

**第十一條** 檢定ヲ請ヒタル後ハ其願下ヲナストキ又ハ其他何等ノ事由アリトモ既ニ納メタル手数料ハ之ヲ還附セサルモ包含スルモノトス

**第十二條** 本規則ニ於テ修正ト稱スルハ圖書ノ名稱ヲ變更シ文章字句圖書ヲ増減若クハ校訂シ又ハ枚數行數字體畫形ヲ變更シ又ハ檢定願書ニ添ヘ差出シタル圖書ニ比シ紙質印刷ヲ粗惡ニシ又ハ註解附録序跋ヲ加除若クハ變更スル場合ヲ包含スルモノトス

**第十三條** 第四條ニ依リ圖書中修正スヘキ廉ヲ指定シタルトキハ一箇年以内ニ其廉ヲ修正シテ該圖書ノ檢定ヲ追願スヘシ此期限内ニ修正追願セサルトキハ該圖書ハ檢定ヲ與ヘス

**第十四條** 檢定ヲ得タル圖書ハ每冊表紙又ハ扉ニ年月日文部省檢定濟何學校何學科用ノ文字ヲ記載スヘシ但小學校教科用圖書ニ在リテハ仍兒童教師用ノ別ヲ附記スヘシ

**第十五條** 檢定ヲ得サル圖書若クハ第六條第七條ニ依リ檢定ノ效力ノ及ハサル圖書ニ文部省檢定濟其他之ニ類スル文字ヲ記載シテ發行シタルコトヲ得ス

**第十六條** 第十五條ニ違背シタル者ハ二十五圓以内ノ罰金又ハ二十五日以下ノ禁錮ニ處ス

**第十七條** 圖書ハ其全部描ヒタルモノニアラサレハ檢定セス

**第十八條** 第六條第七條ニ依リ檢定ノ效力ノ及ハサル圖書ニ文部省檢定濟其他之ニ類スル文字ヲ記載シテ發行シタルトキハ其檢定ノ效力ヲ取消スコトアルヘシ

**第十九條** 第二條第二項ニ依リ檢定ヲ請フ者ニシテ帝國内ニ住所ヲ有セサルトキハ檢定ニ關スル一切ノ事項ヲ代理セシメンカ爲ニ帝國内ニ住所ヲ有スル者ニ就キ代理人ヲ定ムヘシ

**第二十二條** 檢定ヲ得タル圖書ノ發行者ハ次學年ノ始ヨリ起

者及發行者ノ住所姓名等ニ異動ヲ生シ圖書中其記載方ヲ變更シタルトキハ同條ニ依リ廣告シタル冊數ヲ變更シタルトキハ更ニ官報ヲ以テ其旨ヲ廣告スルニアラサレハ檢定ノ效力該圖書ニ及ハサルモノトス

**第二十三條** 第十四條若クハ第十五條ノ規定ニ違背シタル者又ハ第二十二條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケス若クハ届出ヲ了セスシテ圖書ノ供給ヲ止メタル者ノ發行ニ係ル圖書ニ對シテハ檢定ヲ行ハサルコトアルヘシ

**第二十四條** 第二條ニ依リ檢定ヲ請フ者ハ甲號書式ニ依リ第十三條ニ依リ追願スル者ハ乙號書式ニ依リ又檢定ヲ得タル圖書ニ修正ヲ加ヘ檢定ヲ請フ者ハ丙號書式ニ依リ願出ツヘシ

教科書檢定ニ關スル願届書式

(甲號書式) 檢定願

圖書ノ名稱	卷冊ノ記號	著譯者ノ住所	發行者ノ住所	發行ノ年月日	目的トスル學校並學科ノ種類
名	數	氏名	氏名	年 月 日	類



右ノ圖書御檢定相成度該圖書……部及手數料金相添此段相願候也

年月日

住所

名

文部大臣 宛

(乙號書式) 檢定追願

圖書ノ名稱	卷冊ノ記號員數	著譯者ノ住所氏名	發行者ノ住所氏名	修正發行ノ年月日	目的トスル學校ノ種類

右ハ年月日附檢定願出候處年月日ノ御旨示ニ基キ今般修正發行致候間尙御檢定相成度該圖書……部相添へ此段相願候也

(丙號書式) 修正檢定願

文部大臣 宛

住所

名

圖書ノ名稱	卷冊ノ記號員數	著譯者及發行者ノ住所氏名	修正發行ノ年月日	目的トスル學校ノ種類	修正事項ノ領

右ハ年月日檢定濟ノ處修正發行致候間尙御檢定相成度該圖書……部及手數料金……相添へ此段相願候也

年月日

住所

名

文部大臣 宛

### 中等學校用教科書定價標準

#### 文部省告示

第二百八十二號ヲ以テ師範學校中學校高等女學校教科用圖書ノ定價ハ左ノ標準以下ニ於テ之ヲ定メラル

修身	各學年 一册平均
公民科	二册以內 一册平均
國語	正讀本 基本科目 十册以內 一册平均
文學史	全 四册以內 一册平均
漢文	正讀本 基本科目 師、五册 中、四册 一册平均
地理	日本 全
外國	全
通論	全

出版法規

師範學校(一部用)

九〇	八五	二〇	五〇	六〇	三五	七〇	六〇	九〇	五〇
	乙甲	乙甲				上下級			

中學校

九〇	二八〇	八二〇	五五	六〇	三五	六四〇	六〇	八五	四五
	〇五	五〇							

高等女學校

八五	〇〇	〇〇		三五	六〇	六〇	四五

本一八五







物理	全	一六〇	一六〇	三六〇	九五
化學	全	一六〇	一六〇	三六〇	九五
應用理科	全	九〇	七〇	三〇	七〇
自在畫	五册以内一册平均	七〇	七〇	七〇	七〇
用器畫	三册以内一册平均	六〇	六〇	六〇	六〇
音樂樂典	二册以内一册平均	四〇	四〇	四〇	四〇
家事	三册以内	二〇	二〇	二〇	二〇
裁縫	五册以内	三〇	三〇	三〇	三〇
教育學	全	九〇	九〇	九〇	九〇
教授法	全	〇	〇	〇	〇
心理學	全	九〇	九〇	九〇	九〇
論理學	全	五〇	五〇	五〇	五〇
教育史	全	九〇	九〇	九〇	九〇
管理法	全	九〇	九〇	九〇	九〇

一、檢定済ノモノハ本表ノ標準ニ依ラズ別ニ之ヲ指定ス  
 一、本表ニ掲グルモノト雖特別ノ事由アルモノニ付テハ文部省ニ於テ別ニ指定ス

一、最高標準定價ヲ定ムルトモ製本料及小口一枚當ノ單價ハ文部省ノ指定スル範圍ヲ超過スルコトヲ得ズ  
 一、本表ニ掲ゲザルモノ、最高標準ハ文部省ニ於テ本表ヲ斟酌シテ個別ニ之ヲ指定ス  
 附則  
 明治四十四年文部省告示第二百五十五號ハ之ヲ廢止ス

檢定出願教科用圖書定價標準內規

書目區分	菊判小口一枚當	四六判小口一枚當	備	考
修身、教育、公民科、法制經濟、商業	六・〇以内	五・二以内		
國語讀本	六・二以内 六・〇以内	五・四以内 五・二以内		
國文典	六・五以内	五・五以内		
漢文讀本	六・五以内 六・二以内	五・五以内 五・三以内		
習字	短冊型 特例ニ屬スルモノハ別ニ指定ス 一二・〇以内			
英語	挿畫入ノモノ 挿畫ナキモノ 八・〇以内 六・五以内	七・〇以内 五・二以内	中判ハ 挿畫入ノモノ 挿畫ナキモノ	七・五以内 六・〇以内



外國語習字	版ノ大小ヲ問ハズ 一二・五以内	製本料ヲ含ム
支那語、獨語、佛語	挿畫入ノモノ 一二・〇以内 挿畫ナキモノ 一〇・〇以内	九・五以内 八・〇以内 當分ノ内ノ標準トス
地理、歴史、博物、物理、化學、農業、工業、簿記、家事、裁縫、	八・三以内	
數學	八・〇以内	六・五以内 中判ハ 七・五以内
地圖 地圖書索引類 ハ修身ニ準ズ	二四・七以内	四六 倍判 一七・〇以内 三三・〇以内
圖畫(着色) 目次説明類ハ 修身ニ準ズ	二三・〇以内 但シ用器畫ハ總テ八掛トス	三三・〇以内 一色刷ノモノハ此ノ標準ノ半額
音樂	九・五以内 二六・〇以内	八・〇以内 四六 倍判 一九・〇以内
製本料一册	和洋綴總テ 六〇・〇以内	習字類ハ 三〇・〇以内

一、各科目共ニ挿畫ガ本文紙數ノ約三分ノ一ニ達セザルモノハ挿畫ナキモノノ標準ニ據ル  
 一、小學校用ノモノハ小口一枚ニ付菊判五厘以内四六判四厘以内トス  
 一、本標準ニ據リ難キモノハ別ニ指定ス  
 一、菊判四六判ニ準ズルモノハ夫々菊判又ハ四六判ノ標準ニ據ル  
 一、本標準ハ昭和六年八月文部省告示第二百八十二號ニ隨伴シ施行スルモノトス

### 軍隊教育用圖書檢閱規則

(大正七年一月陸軍省令第二號)

**第一條** 軍隊教育ノ目的ヲ以テ陸軍官憲ニ於テ發行シタル文書圖書ノ繢刻物ハ陸軍官憲ノ檢閱ヲ受ケタルモノニ限り軍隊ニ使用セシム

**第二條** 本規則ニ依リ檢閱スヘキ文書圖書ノ名目ハ之ヲ告示ス

**第三條** 第一條ノ文書圖書ヲ繢刻スル者ハ其ノ繢刻物ノ檢閱ヲ陸軍官憲ニ出願スルコトヲ得  
前項ノ檢閱ハ東京府下ニ在リテハ陸軍省、其ノ他ノ地ニ在リテハ所在地附近ノ軍隊ニ於テ之ヲ行フ

**第四條** 繢刻物ニハ左ノ各號ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス  
 一 繢刻物ノ體裁ハ概ネ陸軍官憲ニ於テ發行シタルモノト同一ナルコト  
 二 繢刻物ハ其ノ色別、梯尺、文字ノ大小字體、圖畫、冊數、枚數、行數及每行ノ字數ハ陸軍官憲ニ於テ發行ノモノト異ナルヘカラス  
 三 繢刻物ハ紙質脆弱又ハ粗惡ナルヘカラス且印刷鮮明ニシテ製本鞏固ナルコト

繢刻物中伸製縮製又ハ數種ヲ合本トスル必要アル場合ニハ見本ヲ添ヘ陸軍大臣ノ認可ヲ受クヘシ

**第五條** 繢刻物ヲ檢閱シ前條ノ條件ヲ具備シタルモノナルトキハ出願人ニ檢閱濟證ヲ交付ス

**第六條** 檢閱濟證ニハ其ノ表紙アルモノハ題名ノ右肩ニ其ノ他ノモノニ在リテハ見易キ位置ニ「(大正)何年何月何日(改版シタルモノニ在リテハ第何版)陸軍省(陸軍某隊)檢閱濟」ト記載スヘシ

**第七條** 檢閱濟ノ繢刻物ヲ改版シタルトキハ前ニ交付シタル檢閱濟證ハ其ノ效力ヲ失フ

**第八條** 檢閱ヲ受ケサル文書圖書ノ繢刻物ニ第六條ノ記載ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附 則  
本令施行前ノ規定ニ依ル檢閱濟ノ繢刻物ニ限り本規則第六條及第八條ノ規定ヲ適用セス

出版法ニ據リ刻版印本ヲ差押  
ヘタルトキ取扱處分方

(明治二十九年二月五日)  
内務省訓令第二號  
廳 府 縣(東京府ヲ除ク)



新聞紙例第二十條及第十九條ニ據リ新聞紙若クハ刻版及印本ヲ差押ヘタルトキハ當該官廳ニ於テ嚴密ニ封印ヲ施シ發行人若クハ發行者及刻版所有者ヲシテ看守セシムルコトヲ得若シ發行人若クハ發行者及刻版所有者ノ承諾ヲ得タルトキハ警察官立合ノ上其ノ新聞紙若クハ刻版及印本ヲ破棄セシムルモ妨ナシ但明治二十一年一月訓令第四五號訓令第二號中第五及第四項ハ自今消滅シタルモノト心得ヘシ

**差押出版物ノ分割還付ニ關スル件**

(昭和二年八月十一日示達)  
追加昭和四年六月七日示達

- 一、分割還付セラルヘキ出版物及條件
  - (1) 主トシテ學術、文藝、美術等ニ關スル記事ヲ掲載シ且社會ノ文化ニ貢獻スルモノト認メラルル單行本又ハ週刊以上ノ雜誌及其刻板ニ限ルコト
  - (2) 無納本若クハ甚シキ納本遅延ノ事實アリタルモノ又ハ發行者ニ於テ差押執行ノ妨害ヲ爲シタルモノニ對シテハ原則トシテ之ヲ許ササルコト
  - (3) 禁止個所少數少量ニシテ容易ニ檢出削除シ得ルモノニ限ルコト
  - (4) 差押部數カ相當多數ナル場合ニ限ルコト

- (5) 還付ハ禁止命令アリタル日ヨリ一ヶ月以内ニ發行者ヨリ請求アリタル場合ニ限ルコト
- 二、手續
- (1) 還付決定ノ請求ハ發行者發行人又ハ其ノ代理人ヨリ書面ヲ以テ直接內務省ニ對シ之ヲ爲スコト
  - (2) 還付スヘキヤ否ハ內務省ニ於テ之ヲ決定シ請求者並地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下做之)ニ之ヲ通知スルコト還付ノ實施ハ發行者發行人又ハ其ノ代理人ヨリ還付決定通知書ノ寫ヲ添付シ差押ヲ爲シタル地方長官ニ之ヲ請求スルコト尙削除個所ハ內務省ノ決定ニ依ルコト
- 三、費用
- 還付ニ要シタル費用ハ凡テ請求者ノ負擔トスルコト尙差押中ニ生シタル破損等ニ對シテハ責任ヲ負ハサルコト
- 地方長官ハ必要ト認ムルトキハ還付費用ノ豫定額ヲ前納セシムルコトヲ得
- 四、注意事項
- 將來本示達ニ依リ分割還付ヲ實施スルニ當リ禁止處分アリタル旨ヲ廣告又ハ宣傳ニ利用シ又ハ利用セシメタルニ於テハ爾後特典ニ與リ得サルコト
- 五、再出版ノ監督

(明治四十三年四月十六日)  
內務省令第十五號 改正  
大正十年內務省令第五號

還付ヲ受ケタル出版物ヲ用ヒ其儘又ハ加工シテ再發行スルトキハ出版法又ハ新聞紙法ニ依リ納本ヲ要スルハ勿論ナリト雖モ題名(普通出版物ノ場合ニ限ル)發行日付號數表裝其他ヲ適宜變更シ一見シテ禁止出版物ト之ヲ區別シ易カラシメ再頒布前差押官廳ノ檢査ヲ受クルコト、但シ改裝其ノ他ノ爲ニ取纏メタル場合ニ於テハ便宜上發行所所管地方長官ノ檢査ヲ受クルコトヲ妨ケス

六、参考上必要部數ノ保留

差押出版物ハ原本ノ儘出版警察ノ参考上必要ナル部數ヲ內務省ニ保留スルコト其部數ハ決定書ヲ以テ之ヲ通知ス

七、新聞紙法ニ依ル週刊以上ノ雜誌

新聞紙法ニ依リ發行スル雜誌ト雖モ週刊以上ノモノハ前各項ニ依リ處理スルコト

(備考)本件に關しては昭和二年九月一日發行の單行本又は月刊以上の雜誌より之を實施中の處、昭和四年六月七日更に週刊以上の出版物に對しても分割還付許可相成旨追加せらる

**新聞紙法及豫約出版法ニ依ル  
保證金ニ充ツルコトヲ得ル有  
價證券ノ種類**

新聞紙法第十二條第三項及豫約出版法第四條第二項ニ依リ管轄地方官廳ニ納ムヘキ保證金ニ充ツルコトヲ得ル有價證券ノ種類左ノ如シ

一 國債證券

附 則

明治四十二年五月內務省令第十五號ハ之ヲ廢止ス

附 則 (大正十年內務省令第五號)

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前納付シタル國債以外ノ有價證券ハ本令施行ノ日ヨリ五年ヲ限リ本令ノ規定ニ拘ラス仍其效力ヲ有ス

**出版ニ關スル取締諸法令**

刑 法 (抄)

第七十五條 猥褻ノ文書、圖畫其ノ他ノ物ヲ頒布若クハ販賣シ又ハ公然之ヲ陳列シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科

料ニ處ス販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者亦同シ

第二百三十條 公然事實ヲ摘示シ人ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ



其ノ事實ノ有無ヲ問ハス一年以下ノ懲役若クハ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス  
死者ノ名譽ヲ毀損シタル者ハ誣罔ニ出ツルニ非サレハ之ヲ罰セズ

**第二百三十一條** 事實ヲ摘示セスト雖モ公然人ヲ侮辱シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

**第二百三十二條** 本章ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

民法 (抄)

**第七百九條** 故意又ハ過失ニ因リ他人ノ權利ヲ侵害シタル者ハ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

**第七百十條** 他人ノ身體、自由又ハ名譽ヲ害シタル場合ト財產權ヲ害シタル場合トヲ問ハス前條ノ規定ニ依リテ損害賠償ノ責ニ任スル者ハ財產以外ノ損害ニ對シテモ其賠償ヲ爲スコトヲ要ス

**第七百二十三條** 他人ノ名譽ヲ毀損シタル者ニ對シテハ裁判所ハ被害者ノ請求ニ因リ損害賠償ニ代ヘ又ハ損害賠償ト共ニ名譽ヲ回復スルニ適當ナル處分ヲ命スルコトヲ得

治安警察法 (抄)

**第十六條** 街頭其ノ他公衆ノ自由ニ交通スルコトヲ得ル場所ニ於テ文書、圖畫、詩歌ノ揭示、頒布、朗讀若ハ放吟又ハ言語形容其ノ他ノ作爲ヲ爲シ其ノ狀況安寧秩序ヲ紊シ若ハ風俗ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ警察官ニ於テ禁止ヲ命スルコトヲ得

**第二十九條** 第十六條ノ禁止ノ命ニ違背シタル者ハ一月以下ノ輕禁錮又ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

警察犯處罰令

(明治四十一年九月二十) (抄)  
(九日内務省令第十六號)

**第二條** 各ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十日未滿ノ拘留又ハ二十圓未滿ノ科料ニ處ス

六 新聞紙、雜誌其ノ他ノ方法ヲ以テ誇大又ハ虛偽ノ廣告ヲ爲シ不正ノ利ヲ圖リタル者

七 新聞紙、雜誌其ノ他ノ出版物ノ購讀又ハ廣告掲載ニ付強テ其ノ申込ヲ求メタル者

八 申込ナキ新聞紙、雜誌其ノ他ノ出版物ヲ配付シ又ハ申込ナキ廣告ヲ爲シ其ノ代料ヲ請求シタル者

菊御紋並禁裏御用等ノ文字濫用ヲ禁ス

(明治元年三月二十) 八日太政官布告

一 禁裏御用或ハ 禁裏御料又ハ 禁裏御内杯ト會符勝字杭標札等ニ書記シ候儀ハ有之間敷事ニ候處往々見受候ニ付以來屹度相改御用御料ト而已書記イタシ候様被仰出候事但標札ハ姓名相記シ又ハ官名役名等記シ候儀不苦候事

一 提燈又ハ陶器其他賣物等ニ御紋ヲ畫キ候事共如何ノ儀ニ候以來右之類 御紋ヲ私ニ附ケ候事屹度可禁止旨被 仰出候事

但御用ニ付是迄被免ノ分モ一應伺出可申事  
右之通被仰出候條末々迄不洩様可申達事

明治四年六月十七日太政官布告

菊御紋禁止ノ儀ハ兼テ御布告有之候處猶又向後由緒ノ有無ニ不關皇族ノ外總テ被禁止候尤御紋ニ紛敷品相用候儀モ同様不相成候相改可申事

御肖像ニ關スル取締方

(明治三十一年十二月二十八日内務省告諭)

御肖像ハ左ノ各項ニ準據シテ苟モ心得違ノ次第無之様厚ク注意ヲ加フヘシ右諭告ス

第一 天皇皇族ノ御肖像ハ其尊號御稱號ヲ標記シアルト否ト

ヲ問ハス御肖像トシテノ外ハ寫出スヘカラス

第二 御肖像ハ總テ粗造ニ流レ不敬ニ渉ルヘカラス

第三 御肖像ハ不敬ニ渉ルヘキ場所ニ掲ケ又ハ陳列スヘカラス

第四 御肖像ハ露店ニ於テ發賣頒布スヘカラス

弘曆者ノ外頒曆取扱ヲ禁ス

(明治三年四月二十) 二日太政官布告

頒曆授時之儀ハ至重ノ典章ニ候處近來種々之類曆世上ニ流布候趣無謂事ニ候自今弘曆者之外取扱候儀一切嚴禁被仰出候事

本曆略本曆頒布及一枚摺略曆出版方

(明治十五年四月十六日) 太政官布達第八號

本曆並略本曆ハ明治十六年曆ヨリ伊勢神宮ニ於テ頒布セシムヘシ

一枚摺略曆ハ明治十六年曆ヨリ何人ニ限ラス出版條例ニ準據シ出版スルコトヲ得但明治九年十月内務省甲第三十九號布達ハ取消ス

右布達候事(内務卿連署)



一枚摺曆出版ノ規定

(明治二十三年十月三十一日文部省令第二號 改正明治四十四年文部省令第二十九號)

- 明治十五年四月太政官第八號布達第二項ニ依リ出版スル所ノ一枚摺曆ハ自今左ノ規定ニ依ルヘシ
  - 一枚摺曆ハ左ニ列記スル事項ニ限リ記載スルモノトス
  - 年號及紀元ノ年數干支
  - 毎月ノ一日
  - 日食並其時間
  - 大祭祀日並神社例祭大祓
  - 日曜表甲子表庚申表己巳表
  - 二十四節氣及雜節
  - 新月満月
  - 第二號乃至第七號ニ相當スル陽曆日
- 以上ノ事項ハ東京帝國大學ニ於テ編纂スル所ノ曆ニ依ルヘシ但前各號規定ノ外本曆略本曆ニ掲載セサル事項ヲ記入スルハ此ノ限ニ在ラス

神社寺院ノ守札及神佛號記載ノ畫像出版ニ關スル達

(明治十五年十月内務省乙第五五號達)

大日本帝國憲法 (抄)

第二章 臣民權利義務  
第二十九條 日本臣民ハ法律ノ範圍内ニ於テ言論著作印行集會及結社ノ自由ヲ有ス

未發表ノ著述ノ稿本ニ關スル民事訴訟法

第五百七十條 左ニ掲ケル物ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス  
第十二 債務者又ハ其家族ノ未タ公ニセサル發明ニ關スル物及ヒ債務者又ハ其家族ノ未タ公ニセサル著述ノ稿本然レトモ債務者ノ承諾アルトキハ第三號乃至第八號ニ掲ケタル物ヲ除ク外之ヲ差押フルコトヲ得

文學的及美術的著作物ノ保護ニ關スル「ベルヌ」條約

獨逸國大統領、奧地利共和國聯邦大統領、白耳義國皇帝陛下、「ブラジル」合衆國大統領、「ブルガリア」國皇帝陛下、丁抹國皇帝陛下、西班牙國皇帝陛下、「エストニア」共和國大統領、「フィンランド」共和國大統領、佛蘭西共和國大統領、「グレート、ブリテン」「アイルランド」及「グレート、ブリテン」海外領土皇帝印度皇帝陛下、希臘共和國大統領、「ハンガリー」國攝政殿下、伊太利國皇帝陛下、日本國皇帝陛下、「ルクセンブルグ」國大公殿下、「モロッコ」國皇帝陛下、「モナコ」國公殿下、諾威國皇帝陛下、和蘭國皇帝陛下、「ポーランド」國及「ダンチツヒ」自由市ノ名ニ於ケル「ポーランド」共和國大統領、「ポルトガル」共和國大統領、「ルーマニア」國皇帝陛下、瑞典國皇帝陛下、瑞西聯邦政府、「シリア」國及「グレート、レバノン」國「チエツコスロヴァキア」共和國大統領、「テュニス」國公殿下ハ  
文學的及美術的著作物ニ關シ著作者ノ權利ヲ能フ限リ有效且均等ノ方法ヲ以テ保護センコトヲ均シク希望シ  
千九百八年十一月十三日「ベルリン」ニ於テ署名セラレタル

條規ヲ改正シ且補足スルコトニ決シ之ガ爲各左ノ如ク全權委員ヲ任命セリ

(各國委員氏名省略)

各全權委員ハ之ガ正當ナル委任ヲ受ケ左ノ如ク協定セリ

第一條 本條約ノ適用セラルル國ハ文學的及美術的著作物ニ關スル著作者ノ權利ノ保護ノ爲同盟ヲ組織ス

第二條 (一)「文學的及美術的著作物」ナル用語ハ表現ノ方法又ハ形式ノ如何ヲ問ハス書籍、小冊子及其ノ他ノ文書、講演、演說、說教及其ノ他同性質ノ著作物、演劇脚本、樂譜入演劇脚本、演出ガ文書其ノ他ノ方法ヲ以テ定メラレタル舞譜及無言劇、歌詞入り又ハ歌詞ナシノ樂譜、素描、繪畫、建築、彫刻、銅版及石版ノ著作物、圖解及地圖、地理學、地形學、建築學又ハ科學ニ關スル圖面、略圖及模型ノ如キ文藝、學術及美術ノ範圍ニ屬スル一切ノ製作物ヲ包含ス

(二) 翻譯、繙案、編曲及其ノ他文學的又ハ美術的著作物ノ變形複製物並ニ異リタル著作物ノ編輯物ハ原作物ノ著作者ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テ原著作物トシテ保護セラルヘキモノトス

(三) 同盟國ハ前記著作物ノ保護ヲ確保スベキ義務ヲ有ス



(四) 工業ニ應用セラレタル美術的著作物ハ各國ノ國內法ノ認ムル限り保護セララルヘキモノトス

第二條ノ二 (一) 政治演説及裁判所ニ於ケル辯論中ニ爲サレタル演説ヲ前條ニ定ムル保護ヨリ一部又ハ全部排除スルノ權能ハ同盟各國ノ國內法ニ留保セララル

(二) 講演、演説、説教及其ノ他同性質ノ著作物ヲ新聞紙雜誌ニ複製スルコトヲ得ル條件ヲ規定スルノ權能モ亦同盟各國ノ國內法ニ留保セララル尤モ前記著作物ヲ編輯物ト爲スノ權利ハ著作者ニ限り之ヲ有スヘシ

第三條 本條約ハ寫眞的著作物及寫眞術ト類似ノ方法ヲ以テ作リタル著作物ニ之ヲ適用ス同盟國ハ之ガ保護ヲ確保スヘキ義務ヲ有ス

第四條 (一) 同盟ノ一國ニ屬スル著作者ハ公ニセサル又ハ同盟ノ一國ニ於テ初テ公ニシタル著作物ニ關シ著作物ノ本國以外ノ國ニ於テ其ノ國法カ內國民ニ現ニ許與シ又ハ將來許與スヘキ權利及本條約ニ依リ特ニ許與セラレタル權利ヲ享有ス

(二) 右權利ノ享有及行使ハ何等方式ノ履行ヲ要セス其ノ享有及行使ハ著作物ノ本國ニ於ケル保護ノ存在ニ係ルコトナシ從テ本條約ノ規定ノ外保護ノ範圍及著作者ノ權利

保全ノ爲右著作者ニ保障セラレタル救済ノ方法ハ保護ノ要求セララルル國ノ法律ニ専ラ依ルヘキモノトス

(三) 公ニセサル著作物ニ關シテハ著作者ノ屬スル國ヲ以テ著作物ノ本國トシ公ニシタル著作物ニ關シテハ第一發行ノ國ヲ以テ本國トシ同盟ノ數國ニ於テ同時ニ公ニシタル著作物ニ關シテハ右諸國ノ中其ノ國法ノ許與スル保護ノ期間最長キ國ヲ以テ其ノ本國トス同盟ニ屬セサル一國ト同盟ノ一國トニ於テ同時ニ公ニシタル著作物ニ關シテハ同盟國ノミヲ以テ本國トス

(四) 「公ニシタル著作物」トハ本條約ノ意義ニ於テハ刊行シタル著作物ヲ謂フ演劇脚本又ハ樂譜入演劇脚本ノ上演、音樂的著作物ノ演奏、美術的著作物ノ展覽及建築的著作物ノ建設ハ公ニスルノ意味ニ非サルモノトス

第五條 同盟ノ一國ニ屬スル者ニシテ同盟ノ他ノ一國ニ於テ初テ其ノ著作物ヲ公ニシタルモノハ其ノ國ニ於テ內國著作者ト同一ノ權利ヲ有ス

第六條 (一) 同盟ノ一國ニ屬セサル著作者ニシテ同盟ノ一國ニ於テ初テ其ノ著作物ヲ公ニシタルモノハ其ノ國ニ於テハ內國著作者ト同一ノ權利ヲ享有シ同盟ノ他ノ諸國ニ於テハ本條約ノ許與スル權利ヲ享有ス

(一) 尤モ同盟ニ屬セサル國ガ同盟ノ一國ニ屬スル著作者ノ著作物ニ對シ充分ノ保護ヲ與ヘサルトキハ該同盟國ハ

著作物ノ第一發行ノ當時該非同盟國ニ屬シ且同盟ノ一國ニ於テ現實ノ住所ヲ有セサル著作者ノ右著作物ノ保護ヲ制限スルコトヲ得ヘシ

(二) 前項ニ基キ規定セラレタル如何ナル制限モ著作者カ右制限ノ實施前同盟ノ一國ニ於テ公ニシタル著作物ニ關シ既ニ取得シタル權利ヲ妨クルコトナカルヘシ

(四) 本條ニ基キ著作者ノ權利ヲ制限スヘキ同盟國ハ右保護ノ制限ヲ受クヘキ國及該國ニ屬スル著作者ノ權利ニ加フル制限ヲ示セル宣言書ヲ以テ其ノ旨ヲ瑞西聯邦政府ニ通告スヘシ瑞西聯邦政府ハ直ニ右ノ事實ヲ同盟ノ一切ノ國ニ通知スヘシ

第六條ノ二 (一) 著作者ノ財産的權利ニ係ルコトナク且該權利ノ移轉後ト雖モ著作者ハ著作物ノ創作タルコトヲ主張スルノ權利及右著作物ノ改竄、截除又ハ其ノ他ノ變更ニシテ著作者ノ名譽又ハ聲望ヲ害スルコトアルヘキモノニ對シテ異議ヲ述フルノ權利ヲ保有ス

(二) 右權利行使ノ條件ヲ定ムルコトハ同盟國ノ國內法ニ留保セラル右權利保全ノ爲ニスル救済ノ方法ハ保護ノ要

求セラルル國ノ法律ニ依ルヘキモノトス

第七條 (一) 本條約ニ依リ許與セララルル保護ノ期間ハ著作者ノ生存間及其ノ死後五十年トス

(二) 尤モ前項ノ期間ガ同盟ノ一切ノ國ニ依リ等シク採用セラレサル場合ニ於テハ保護ノ期間ハ保護ノ要求セララルル國ノ法律ニ依ルヘク且著作物ノ本國ニ於テ定メラレタル期間ヲ超過スルコトヲ得サルヘシ從テ同盟國ハ其ノ國內法ニ合致スル範圍内ニ非サレハ前項ノ規定ヲ適用スルヲ要セサルヘシ

(三) 寫眞的著作物及寫眞術ト類似ノ方法ヲ以テ作リタル著作物、遺著、無名又ハ變名著作物ニ關シテハ保護ノ期間ハ保護ノ要求セララルル國ノ法律ニ依ルモノトス但シ著作物ノ本國ニ於テ定メラレタル期間ヲ超過スルコトヲ得ス

第七條ノ二 (一) 著作物ノ合著作者ノ共有ニ屬スル著作者ノ權利ノ期間ハ合著作者中最終ノ生存者ノ死亡ノ日ニ依リテ計算セララル

(二) 第一項ニ定ムル保護ノ期間ヨリ短キ保護ノ期間ヲ許與スル國ニ屬スル者ハ同盟ノ他ノ諸國ニ於テ之ヨリ長キ期間ノ保護ヲ要求スルコトヲ得ス



(三) 如何ナル場合ニ於テモ保護ノ期間ハ合著者中最終ノ生存者ノ死亡前ニ滿了スルコトヲ得サルヘシ

**第八條** 公ニセサル著作物ノ著作人ニシテ同盟ノ一國ニ屬スルモノ及同盟ノ一國ニ於テ初テ公ニシタル著作物ノ著作人ハ原著作物ニ關スル權利ノ全存續期間中同盟ノ他ノ諸國ニ於テ其ノ著作物ノ翻譯ヲ爲シ又ハ之ヲ許諾スルノ特權ヲ享有ス

**第九條** (一) 同盟ノ一國ノ新聞紙又ハ定期編輯物中ニ於テ公ニシタル新聞小説、讀物及其ノ他題材ノ如何ヲ問ハズ文藝、學術又ハ美術ノ一切ノ著作物ハ著作人ノ承諾アルニ非サレハ他國ニ於テ之ヲ複製スルコトヲ得ス

(二) 經濟上、政治上又ハ宗教上ノ時事問題ヲ論議シタル記事ハ其ノ轉載ガ明白ニ留保セラレサルトキハ新聞紙雜誌ニ之ヲ轉載スルコトヲ得但シ其ノ出所ハ常ニ之ヲ明瞭ニ示スコトヲ要ス此ノ義務ノ制裁ハ保護ノ要求セララル國ノ法律ニ依リテ之ヲ定ム

(三) 本條約ノ保護ハ時事ノ記事又ハ單ニ新聞紙雜誌ノ報道ニ過キササル雜報ニハ之ヲ適用セス

**第十條** 教科用ニ供シ若ハ學術的ノ性質ヲ有スル刊行物ノ爲又ハ節用編輯ノ爲ニ文學的又ハ美術的著作物ヲ適法ニ引用

スルノ權能ニ關シテハ同盟國ノ法律及同盟國間ニ現存シ又ハ將來締結スヘキ特別ノ取極ノ定ムル所ニ依ル

**第十一條** (一) 本條約ノ規定ハ公ニシタルモノト否トヲ問ハス演劇脚本又ハ樂譜ノ演劇脚本ノ公ノ上演及音樂的著作物ノ公ノ演奏ニ之ヲ適用ス

(二) 演劇脚本又ハ樂譜ノ演劇脚本ノ著作人ハ原著作物ニ關スル其ノ權利ノ存續期間内ハ其ノ翻譯物ノ許諾ナキ公ノ上演ニ對シテ保護セララルモノトス

(三) 本條ノ保護ヲ享有スルガ爲ニハ著作人ハ其ノ著作物ヲ公ニスルニ際シ其ノ公ノ上演又ハ公ノ演奏ヲ禁止スルコトヲ要セス

**第十一條ノ二** (一) 文學的及美術的著作物ノ著作人ハ其ノ著作物ヲ無線放送ニ依リテ公衆ニ傳フルコトヲ許諾スルノ特權ヲ享有ス

(二) 前項ニ掲グル權利ヲ行使スルノ條件ハ同盟國ノ國內法ノ規定スル所ニ依ル但シ右條件ハ之ヲ規定セル國ニ於テノミ效力ヲ有スヘシ右條件ハ如何ナル場合ニ於テモ著作人ノ人格權ヲモ又協議調ハサル場合ニ於テ權限アル機關ノ定ムル公正ナル補償ヲ受クル著作人ノ權利ヲモ害スルコトヲ得サルヘシ

**第十二條** 續案、編曲及小説、讀物又ハ詩歌ト演劇脚本トノ相互ノ變作等ノ如キ文學的又ハ美術的著作物ノ許諾ナキ間接ノ轉用ガ同一ノ形態又ハ他ノ形態ニ於ケル右著作物ノ複製ニシテ主要ナラサル變更、増補又ハ省略ヲ爲シ且新ナル原著作物タル性質ヲ具有セサルモノニ過キサルトキハ本條約ヲ適用スヘキ不法複製中ニ之ヲ特ニ包含スルモノトス

**第十三條** (一) 音樂的著作物ノ著作人ハ左ノ事項ヲ許諾スルノ特權ヲ有ス

一、音樂的著作物ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ右著作物ヲ寫調スルコト

二、前號ノ機器ヲ以テ右著作物ヲ公ニ演奏スルコト

(二) 本條ノ適用ニ關スル留保及條件ハ各國ニ關スル限リ其ノ國ノ國內法ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得ヘシ但シ此ノ種ノ留保及條件ハ之ヲ規定セル國ニ於テノミ效力ヲ有スヘシ

(三) 第一項ノ規定ハ溯及效ヲ有セス從テ同盟ノ一國ニ於テハ千九百八年十一月十三日「ベルリン」ニ於テ署名セラレタル條約ノ實施前又同日以後ニ同盟ニ加盟シ又ハ將來加盟スルコトアルヘキ國ニ付テハ其ノ加盟ノ前日其ノ國ニ於テ適法ニ機械的器具ニ寫調セラレタル著作物ニハ之

ヲ適用セス

(四) 本條第二項及第三項ニ基キ作成セラレタル寫調ニシテ右寫調ガ適法ニ非サル國ニ利害關係人ノ許諾ナクシテ輸入モラレタルモノハ其ノ國ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得ヘシ

**第十四條** (一) 文學的、學術的又ハ美術的著作物ノ著作人ハ其ノ著作物ノ活動寫眞術ニ依ル複製、續案及公ノ上映ヲ許諾スルノ特權ヲ會ス

(二) 活動寫眞的製作物ハ著作人ガ著作物ニ獨創的性質ヲ與ヘタルトキハ文學的又ハ美術的著作物トシテ保護セララル若シ此ノ性質ヲ缺クトキハ活動寫眞的製作物ハ寫眞的著作物ノ保護ヲ享有ス

(三) 活動寫眞的著作物ハ複製又ハ續案セラレタル著作物ノ著作人ノ權利ヲ害セサル範圍内ニ於テ一ノ原著作物トシテ保護セララルヘキモノトス

(四) 前諸規定ハ活動寫眞術ト類似ノ他ノ一切ノ方法ヲ以テ作リタル複製物又ハ製作物ニ之ヲ適用ス

**第十五條** (一) 本條約ニ依リ保護セララル著作物ノ著作人ガ反對ノ證據アル迄眞正ノ著作人ト看做サレ從テ同盟ノ諸國ノ裁判所ニ於テ偽作者ニ對シテ訴訟ノ提起ヲ許容セ



ラルルカ爲ニハ其ノ名ガ通例ノ方法ニ依リ其ノ著作物ニ表示セラルルヲ以テ足ル

(二) 無名又ハ變名著作物ニ關シテハ發行者ニシテ其ノ名ガ著作物ニ表示セラレタルモノニ於テ著作者ニ屬スル權利ヲ保全スルノ權能ヲ有ス右發行者ハ他ノ證據ヲ要セスシテ無名又ハ變名著作者ノ承繼人ト認メラルベキモノトス

**第十六條** (一) 一切ノ偽作物ハ原著作物ガ法律上ノ保護ヲ享有スル同盟國ノ權限アル機關ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得

(二) 右同盟國ニ於テハ著作物ガ保護セラレサルカ又ハ保護ノ止ミタル國ヨリ來ル複製物ヲモ差押フルコトヲ得

(三) 差押ハ各國ノ國內法ニ從ヒ之ヲ行フ

**第十七條** 本條約ノ規定ハ一切ノ著作物又ハ製作物ノ頒布、上演、展覽ヲ國內ノ立法又ハ警察上ノ措置ニ依リ許可シ、取締リ、禁止スルノ同盟各國ノ政府ニ屬スル權利ヲ何等害スルコトナシ該權利ハ權限アル機關之ヲ行使スヘシ

**第十八條** (一) 本條約ハ本條約實施ノ際其ノ本國ニ於テ保護ノ期間ノ滿了ニ依リ既ニ公有ニ屬シタルモノニ非サル一切ノ著作物ニ之ヲ適用ス

維持ス

(一) 右事務局ハ瑞西聯邦政府ノ管理ノ下ニ之ヲ置ク瑞西聯邦政府ハ其ノ組織ヲ定メ且其ノ事務ヲ監督ス

(二) 事務局ノ公用語ハ佛蘭西語トス

**第二十二條** (一) 國際事務局ハ文學的及美術的著作物ニ付テノ著作物ノ權利ノ保護ニ關スル各種ノ報告ヲ蒐集シ之ヲ編纂發行ス事務局ハ同盟共同ノ利益ニ關スル事項ヲ講究シ且諸政府ヨリ受領シタル書類ニ依リ同盟ノ目的ニ關スル諸問題ニ付佛蘭西語ヲ以テ定期刊行物ヲ編纂ス同盟國政府ハ經驗上必要ト認メラルヘキ場合ニ於テハ合意ヲ以テ事務局ガ一又ハ二以上ノ他ノ國語ヲ以テ別版ヲ發行スルコトヲ許諾スルノ權利ヲ留保ス

(二) 國際事務局ハ文學的及美術的著作物ノ保護ニ關スル問題ニ付何時ニテモ同盟國ノ請求ニ應ジ其ノ必要トスルコトアルヘキ特殊報告ヲ與フルコトヲ要ス

(三) 國際事務局長ハ其ノ所管事務ニ付年報ヲ作成シ之ヲ一切ノ同盟國ニ送付ス

**第二十三條** (一) 國際事務局ノ經費ハ同盟國共同シテ之ヲ負擔ス右經費ハ新ナル議定アル迄ハ年額十二萬瑞西「フラン」ヲ超過スルコトヲ得サルヘシ右額ハ必要ナル場合

出版法規

(二) 尤モ著作物カ從前認メラレタル保護ノ期間ノ滿了ニ依リ保護ノ要求セララルル國ニ於テ公有ニ屬シタルトキハ其ノ著作物ハ其ノ國ニ於テ新ニ保護セラレサルヘシ

(三) 右原則ノ適用ハ之ニ關シ同盟國間ニ現存シ又ハ將來締結スヘキ特別條約ノ規定ニ從フヘキモノトス此ノ種ノ規定ノ存在セサルトキハ各國ハ各自國ニ關シ右原則ノ適用ニ關スル方法ヲ定ムヘシ

(四) 前諸規定ハ同盟ニ新ニ加盟アリタル場合及保護ガ第七條ノ適用又ハ留保ノ拋棄ニ依リ擴張セラルヘキ場合ニモ亦之ヲ適用ス

**第十九條** 本條約ノ規定ハ同盟ノ一國ノ法律ニ依リ一般ニ外國人ノ爲ニ定メラルヘキ一層寬大ナル規定ノ適用ヲ求ムルコトヲ妨ケス

**第二十條** 同盟國政府ハ特別ノ取極ガ同盟ニ依リ付與セラレタル權利ヨリ廣大ナル權利ヲ著作者ニ付與スヘキ限リ又ハ本條約ニ牴觸セサル他ノ規定ヲ包含スヘキ限リ各國相互間ニ右取極ヲ締結スルノ權利ヲ留保ス現存ノ取極ノ規定ニシテ右條件ニ合致スルモノハ引續キ適用アルモノトス

**第二十一條** (一) 「文學的及美術的著作物保護國際同盟事務局」ナル名稱ノ下ニ設立セラレタル國際事務局ハ之ヲ

ニ於テハ第二十四條ニ掲クル會議ノ一ノ全會一致ノ決議ニ依リ之ヲ增加スルコトヲ得ヘシ

(二) 右經費總額ニ對シ各國ノ釀出割合ヲ定ムル爲同盟國及將來同盟ニ加入スル國ヲ六等ニ區分シ各等ノ釀出スヘキ單位ノ箇數ノ比例ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 第一等 二十五單位
- 第二等 二十單位
- 第三等 十五單位
- 第四等 十單位
- 第五等 五單位
- 第六等 三單位

(三) 右系數ニ各等ノ國數ヲ乘シ之ニ依リ得タル積ノ和ヲ單位數トシ之ヲ以テ費用總額ヲ除スヘシ其ノ商ハ一單位ノ費用額ヲ示スモノトス

(四) 各國ハ其ノ加盟ノ際前記等級中其ノ列セラレンコトヲ求ムルモノヲ聲明スヘシ尤モ爾後何時ニテモ他ノ等級ニ列セラレンコトヲ欲スル旨ヲ聲明スルコトヲ得ヘシ

(五) 瑞西國政府ハ事務局ノ豫算ヲ調製シ及其ノ支出ヲ監督シ必要ナル立替ヲ爲シ並ニ他ノ一切ノ同盟國政府ニ送付スヘキ毎年度ノ出納計算書ヲ作成ス

本 11011



第二十四條 (一) 本條約ハ同盟制度ヲ完全ナラシムヘキ改良ヲ加ヘンガ爲之ニ改正ヲ加フルコトヲ得

(二) 右ノ如キ問題及其ノ他ノ點ニ付同盟ノ發達ニ關係アル問題ハ同盟國ニ於テ順次開設スヘキ會議ニ於テ該同盟國ノ委員之ヲ會議ス會議ヲ開設スヘキ國ノ政府ハ國際事務局ノ協力ヲ得テ會議ノ準備ヲ爲ス事務局長ハ會議ノ議事ニ列席シ且討論ニ參加スト雖モ議決ニ加ハラズ

(三) 本條約ノ如何ナル變更モ同盟ヲ組成スル各國一致ノ合意ヲ得ルニ非サレハ同盟ニ對シテ效力ナキモノトス

第二十五條 (一) 同盟ニ屬セサル國ニシテ本條約ノ目的トスル權利ノ法律上ノ保護ヲ確保スルモノハ其ノ請求ニ依リ加盟スルコトヲ得

(二) 右加盟ハ書面ヲ以テ瑞西聯邦政府ニ之ヲ通告スヘク該政府ハ之ヲ他ノ同盟國ニ通告スヘシ

(三) 右加盟ハ當然本條約ニ規定セル一切ノ條款ヘノ加入及本條約ニ規定セル一切ノ利益ノ享受ヲ伴ヒ且瑞西聯邦政府ガ他ノ同盟國ニ通告シタル後一月ニシテ其ノ效力ヲ生スヘシ但シ加入スル國ニ依リ後ノ日ガ指定セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラス尤モ右同盟ヘ加入スル國ガ少クトモ一時翻譯ニ關シ第八條ニ代フルニ千八百九十六年「バ

リ」ニ於テ改正セラレタル千八百八十六年ノ同盟條約第五條ノ規定ヲ以テスルコトヲ欲スル旨ノ表示ヲ包含スルコトヲ得ヘシ該規定ハ當該國ノ一又ハ二以上ノ國語ニ翻譯スル場合ノミニ關スルモノト當然了解ス

第二十六條 (一) 同盟各國ハ本條約ガ其ノ殖民地、保護領、委任統治地域、其ノ主權若ハ權力ノ下ニ在ル他ノ一切ノ地域又ハ宗主權ノ下ニ在ル一切ノ地域ノ全部又ハ一部ニ適用セラルル旨ヲ瑞西聯邦政府ニ何時ニテモ書面ヲ以テ通告スルコトヲ得ヘク之ニ依リ本條約ハ通告中ニ掲ケラレタル一切ノ地域ニ適用セラレヘシ右通告ナキトキハ本條約ハ右地域ニ適用セラレサルヘシ

(二) 同盟各國ハ本條約ガ前項ニ定ムル通告ノ目的ト爲リタル地域ノ全部又ハ一部ニ對シ適用セラレサルニ至ル旨ヲ瑞西聯邦政府ニ何時ニテモ書面ヲ以テ通告スルコトヲ得ヘク本條約ハ瑞西聯邦政府ニ宛テラレタル通告ノ受領後十二月ニシテ右通告中ニ掲ケラレタル地域ニ於テ適用セラレサルニ至ルヘシ

(三) 本條第一項及第二項ノ規定ニ從ヒ瑞西聯邦政府ニ對シテ爲サレタル一切ノ通告ハ之ヲ該政府ヨリ一切ノ同盟國ニ通知スヘシ

第二十七條 (一) 本條約ハ同盟國相互ノ關係ニ於テハ千八百八十六年九月九日ノ「ベルヌ」條約及順次之ヲ改正シタル諸條規ニ代ルヘシ從前實施セラレタル諸條規ハ本條約ヲ批准セサルヘキ國トノ關係ニ於テハ其ノ適用ヲ保持スヘシ

(二) 本條約ニ署名シタル國ハ從前爲シタル留保ノ利益ヲ引續キ保持スルコトヲ得ヘシ但シ批准書寄託ノ際其ノ旨ノ宣言ヲ爲スコトヲ條件トス

(三) 現ニ同盟ニ屬スル國ニシテ本條約ニ署名セサルヘキモノハ何時ニテモ本條約ニ加入スルコトヲ得ヘシ此ノ場合ニ於テハ該國ハ前項ノ規定ノ利益ヲ享有スルコトヲ得ヘシ

第二十八條 (一) 條約ハ批准セラレヘク其ノ批准書ハ遅クモ千九百三十一年七月一日迄「ローマ」ニ於テ寄託セラレヘシ

(二) 本條約ハ之ヲ批准シタル同盟國間ニ於テハ右期日後一月ニシテ實施セラレヘシ  
但シ右期日前ニ於テ本條約ガ少クトモ同盟ノ六國ニ依リ批准セラレタルトキハ本條約ハ右同盟國ニ於テハ第六ノ批准書ノ寄託ガ瑞西聯邦政府ニ依リテ右同盟國ニ通告セ

ラレタル後一月ニシテ及爾後批准スヘキ同盟國ニ對シテハ各其ノ批准ノ通告後一月ニシテ實施セラレヘシ

(二) 同盟ニ屬セサル國ハ千九百三十一年八月一日迄ハ千九百八十八年十一月十三日「ベルリン」ニ於テ署名セラレタル條約又ハ本條約ニ加入スルコトニ依リテ同盟ニ加入スルコトヲ得ヘシ千九百三十一年八月一日後ニ於テハ該國ハ本條約ニノミ加入スルコトヲ得ヘシ

第二十九條 (一) 本條約ハ其ノ廢棄ノ通告ノ爲サレタル日ヨリ一年ヲ經過スル迄ハ無期限ニ引續キ實施セラレヘシ  
(二) 右廢棄ノ通告ハ瑞西聯邦政府ニ之ヲ爲スヘシ右廢棄ノ通告ハ之ヲ爲シタル國ニ對シテノミ其ノ效力ヲ生スヘク本條約ハ同盟ノ他ノ諸國ニ對シテハ其効力ヲ存續スルモノトス

第三十條 (一) 本條約第七條第一項ニ定ムル五十年ノ保護ノ期間ヲ自國ノ法律ニ採用スル國ハ之ヲ瑞西聯邦政府ニ書面ヲ以テ通告スヘク該政府ハ直ニ之ヲ同盟ノ他ノ一切ノ諸國ニ通知スヘシ

(二) 第二十五條及第二十七條ニ依リ爲シ又ハ維持シタル留保ヲ拋棄スル國ニ付亦前項ニ同シ  
右證據トシテ各全權委員ハ本條約ニ署名セリ



千九百二十八年六月二日「ローマ」ニ於テ本書一通ヲ作成シ之ヲ伊太利王國政府ノ記録ニ寄託スヘシ  
認證踏本一通ヲ外交上ノ手續ニ依リ同盟各國ニ送付セラレヘシ

(各國委員氏名省略)

### 出版法

(明治廿六年四月十日法律第十五號)

- 第一條** 凡ソ機械會密其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルヲ問ハス文書圖畫ヲ印刷シテ之ヲ發賣シ又ハ頒布スルヲ出版ト云ヒ其ノ文書ヲ著述シ又ハ編纂シ若ハ圖畫ヲ作爲スル者ヲ著作ト云ヒ發賣頒布ヲ擔當スル者ヲ發行者ト云ヒ印刷ヲ擔當スル者ヲ印刷者ト云フ
- 第二條** 新聞紙又ハ定期ニ發行スル雜誌ヲ除クノ外文書圖畫ノ出版ハ總テ此ノ法律ニ依ルヘシ但シ專ラ學術、技藝、統計、廣告ノ類ヲ記載スル雜誌ハ此ノ法律ニ依リ出版スルコトヲ得
- 第三條** 文書圖畫ヲ出版スルトキハ發行ノ日ヨリ到達スヘキ日數ヲ除キ三日前ニ製本二部ヲ添ヘ内務省ニ届出ヘシ
- 第四條** 官廳ニ於テ文書圖畫ヲ出版スルトキハ其ノ官廳ヨリ

- 發行前ニ製本二部ヲ内務省ニ送附スヘシ
- 第五條** 出版届ハ著作人又ハ其ノ相續者及發行者連印ニテ之ヲ差出スヘシ但シ非賣品ハ著作人又ハ發行者ノミニテ届出ルコトヲ得
- 版權ノ保證ナキ文書圖畫ヲ出版スルトキ若ハ著作人又ハ其ノ相續者ヲ知ルヘカラサルトキハ其ノ由ヲ記シ發行者ヨリ差出スヘシ
- 學校、會社、協會等ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ出版スル文書圖畫ハ其ノ學校、會社、協會等ヲ代表スル者發行者ト連印シテ之ヲ届出ヘシ
- 第六條** 文書圖畫ノ發行者ハ文書圖畫ノ販賣ヲ以テ營業トスル者ニ限ル但シ著作人又ハ其ノ相續者ハ發行者ヲ兼ヌルコトヲ得
- 第七條** 文書圖畫ノ發行者ハ其ノ氏名、住所及發行ノ年月日ヲ其ノ文書圖畫ノ末尾ニ記載スヘシ
- 第八條** 文書圖畫ノ印刷者ハ其ノ氏名、住所及印刷ノ年月日ヲ其ノ文書圖畫ノ末尾ニ記載シ住所ト印刷所ト同シカラサルトキハ印刷所ヲモ記載スヘシ
- 印刷所若數人ノ共有ニ係ルトキハ營業上其ノ印刷所ヲ代表スル者ヲ以テ印刷者トス

前二項ノ印刷所ニシテ若營業上慣行ノ名稱アルモノハ其ノ名稱ヲモ記載スヘシ

- 第九條** 書簡、通信、報告、社則、熟則、引札、諸藝ノ番附諸種ノ用紙證書ノ類及寫眞ハ第三條第六條第七條第八條ニ據ルヲ要セス但シ第十六條第十七條第十八條第十九條第二十一條第二十六條第二十七條ニ觸ルル者ハ此ノ法律ニ依テ處分ス
- 第十條** 文書圖畫ノ冊號ヲ逐ヒ順次ニ出版スル者ハ其ノ都度第三條ノ手續ヲ爲スヘシ但シ雜誌類ニ在テハ内務大臣ノ許可ヲ經テ其ノ手續ヲ省略スルコトヲ得
- 此ノ法律ニ依リ出版スル雜誌ニシテ十二箇月間一回ヲモ發行セサル時ハ廢刊シタルモノト眞做スヘシ
- 第十一條** 一タヒ出版届ヲ爲シタル文書圖畫ノ再版ハ出版届ヲ要セスト雖若改正増減シ又ハ註解、附録、繪畫等ヲ加ヘタルトキハ仍第三條ニ依ルヘシ
- 第十二條** 演說若ハ講義ノ筆記ハ演說者若ハ講義者ヲ以テ著作トス但シ筆記者ニ於テ演說者若ハ講義者ノ承諾ヲ得テ自ラ之ヲ出版スルトキハ筆記者ヲ著作ト看做スヘシ此ノ場合ニ於テ記載ノ事項第十六條第十七條第十八條第十九條第二十一條第二十六條第二十七條ニ觸ルルトキハ演說者若

- ハ講義者筆記者ト同ク其ノ罪ヲ論ス
- 公開ノ席ニ於テ爲シタル演說ヲ新聞紙若ハ雜誌ノ通信者ニ於テ筆記シ其ノ新聞紙若ハ雜誌ニ記載シタルモノ及總テ演說者講義者ノ承諾ヲ經スシテ其ノ筆記ヲ出版シタルモノニ關シテハ演說者若ハ講義者ハ著作ノ責ニ任セス
- 公開ノ席ニ於テ爲シタル演說ノ外ハ講義者又ハ演說者ノ許諾ヲ經ルニ非サレハ他人ニ於テ其筆記ヲ出版スルコトヲ得ス但シ本項ニ違フ者ハ版權法ニ據リ其ノ責ニ任セシム
- 第十三條** 二種以上ノ著作若ハ演說講義ノ筆記ヲ編纂シテ一部ノ書ト爲ストキハ編纂者ヲ著作ト看做スヘシ
- 前條第一項ノ末段及第二項第三項ハ本條ニ適用スヘシ
- 第十四條** 翻譯ハ翻譯者ヲ以テ著作ト看做スヘシ
- 第十五條** 學校、會社、協會等ニ於テ著作ノ名義ヲ以テ出版スル文書圖畫ハ其ノ出版届ニ署名シタル代表者ヲ以テ著作ト看做スヘシ
- 第十六條** 犯罪ヲ曲庇シ又ハ刑事ニ觸レタル者若ハ刑事裁判中ノ者ヲ救護シ若ハ賞恤スルノ文書ヲ出版スルコトヲ得ス
- 第十七條** 重罪輕罪ノ豫審ニ關スル事項ハ公判ニ付セサル以前ニ於テ之ヲ出版スルコトヲ得ス
- 傍聽ヲ禁シタル訴訟ノ事項ハ之ヲ出版スルコトヲ得ス



**第十八條** 外交軍事其ノ他官廳ノ機密ニ關シ公ニセサル官ノ文書及官廳ノ議事ハ當該官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ出版スルコトヲ得ス  
法律ニ依リ傍聽ヲ禁シタル公會ノ議事ハ之ヲ出版スルコトヲ得ス

**第十九條** 安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムル文書圖書ヲ出版シタルトキハ内務大臣ニ於テ其ノ發賣頒布ヲ禁シ其ノ刻版及印本ヲ差押フルコトヲ得

**第二十條** 外國ニ於テ印刷シタル文書圖書ニシテ安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルトキハ内務大臣ハ其ノ文書圖書ノ内國ニ於ケル發賣頒布ヲ禁シ其ノ印本ヲ差押フルコトヲ得

**第二十一條** 軍事ノ機密ニ關スル文書圖書ハ當該官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ出版スルコトヲ得ス

**第二十二條** 第三條ノ届出ヲ爲サスシテ文書圖書ヲ出版シタル者ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

**第二十三條** 第六條ヲ犯ス者ハ十一日以上三月以下ノ輕禁錮又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

**第二十四條** 發行者自己ノ氏名、住所又ハ發行ノ年月日又ハ印刷者ノ氏名、住所又ハ印刷ノ年月日ヲ其ノ發行スル文書

圖書ニ記載セス其ノ之ヲ記載スルモ實ヲ以テセサル者ハ二圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

**第二十五條** 印刷者自己ノ氏名、住所又ハ印刷ノ年月日ヲ其ノ印刷スル所ノ文書圖書ニ記載セス若ハ之ヲ記載スルモ實ヲ以テセサル者ハ罰前條ニ同シ  
住所ト印刷所ト同シカラサルトキ及印刷所ニシテ營業上慣行ノ名稱アルトキ印刷所及名稱ヲ記載セサル者亦前項ニ同シ

**第二十六條** 政體ヲ變壞シ國憲ヲ紊亂セムトスル文書圖書ヲ出版シタルトキハ著作者、發行者、印刷者ヲ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

**第二十七條** 風俗ヲ壞亂スル文書圖書ヲ出版シタルトキハ著作者發行者ヲ十一日以上六月以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

**第二十八條** 第十六條第十七條第十八條第二十一條ニ觸ルル文書圖書ヲ出版シタルトキハ著作者、發行者ヲ十一日以上一年以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス  
**第十九條**、**第二十條**ニ依リ發賣頒布ヲ禁セラレタル文書圖書ヲ發賣頒布シタル者罰前項ニ同シ其ノ未タ發賣頒布セサル文書圖書ハ之ヲ沒收ス

**第二十九條** 第二十六條第二十七條第二十八條ノ場合ニ於テ刻版及印本ハ檢事ニ於テ假ニ之ヲ差押フルコトヲ得

**第三十條** 前條ノ差押又爲ストキハ製本ノ體裁ニヨリ其ノ差押フヘキ部分ト他ノ部分ト分割シ得ルニ於テハ之ヲ分割スルコトアルヘシ

**第三十一條** 文書圖書ヲ出版シ因テ誹毀ノ訴ヲ受ケタル場合ニ其ノ私行ニ涉ルモノヲ除クノ外裁判所ニ於テ専ラ公益ノ爲ニスルモノト認ムルトキハ被告人ニ事實ノ證明ヲ許スコトヲ得若之ヲ證明シタルトキハ其ノ罪ヲ免ス  
損害賠償ノ訴ヲ受ケタルトキモ亦同シ

**第三十二條** 此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ自首輕減、再犯加重、數罪俱發ノ例ヲ用ヒス

**第三十三條** 此ノ法律ニ關ル公訴ノ時效ハ一年ヲ經過スルニ因テ成就ス

**第三十四條** 此ノ法律ニ依リ出版スル雜誌ニシテ其ノ記載ノ事項第二條ノ範圍外ニ涉ルトキハ内務大臣ハ此ノ法律ニ依リテ出版スルコトヲ差止ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ一箇年ヲ經ルニ非サレハ更ニ此ノ法律ニ依リ出版スルコトヲ得ス

**第三十五條** 文書圖書ヲ印刷スル時ハ直ニ發賣頒布セスト雖

モ其ノ目的發賣頒布ニ在ルモノハ總テ此ノ法律ニ依ル

**出版ニ關スル願届書式**

(明治三十二年七月十四日內務省告示第八十號)

出版ニ關スル願届書式左ノ通之ヲ定ム

(第一號書式)

出版届

著作者ノ氏名、稱號著(編輯、演說、講義、翻譯)

一 文書圖書ノ題號 全何冊(枚)

右出版法ニ依リ 年 月 日ヨリ發行候間製本二部相添此

段御届申上候也

年 月 日

原籍及住所	發行者	商號	氏	名	團
原籍及住所	著作者(相續者)	氏	名	團	
宛					

(第二號書式)

再版届



著作者ノ氏名、稱號者(編輯、演說、講義、翻譯)  
 一 文書圖書ノ題號 全何冊(枚)  
 一 初版發行ノ年月日  
 右出版法ニ依リ 年月 日ヨリ發行候間製本二部相添此  
 段御届申上候也  
 年月 日

原籍及住所  
 發行者 商號 氏 名 年 名 團 齡 團  
 原籍及住所  
 著作者(相續者) 氏 名 團  
 宛

(第三號書式)

學術(技藝、統計、廣告)雜誌出版届  
 一、雜誌ノ題號 第何號  
 右ハ専ラ學術(技藝、統計、廣告)ニ關スル事項ヲ記載シ出  
 版法ニ依リ 年月 日發行候間製本二部相添此段御届申  
 候也  
 年月 日  
 原籍及住所

(第四號書式)

編輯者 氏 名 團  
 原籍及住所  
 發行者 商號 氏 名 年 名 團 齡 團  
 宛  
 學術(技藝、統計、廣告)雜誌出版手續省略願  
 一、雜誌ノ題號 第何號ヨリ  
 右ハ専ラ學術(技藝、統計、廣告)ニ關スル事項ヲ記載シ出  
 版法ニ依リ出版候間出版ノ都度届出ノ手續ヲ省略シテ製本  
 二部ノミ相納候様致度此段相願候也  
 年月 日  
 原籍及住所  
 編輯者 氏 名 團  
 原籍及住所  
 發行者 商號 氏 名 年 名 團 齡 團  
 宛

豫約出版法

(明治四十三年四月十  
六日法律第五十五號)

第一條 代金ノ全部又ハ一部ヲ前收シ文書圖書ノ頒布ヲ豫約  
 スル出版ニ對シテハ出版法ニ依ルノ外尙本法ヲ適用ス

第二條 發行者ハ左ノ事項ヲ記載シ内務大臣ニ届出ツヘシ  
 一 題號  
 二 發行ノ年月日及順次發行ノ場合ハ其ノ豫定年月日  
 三 著作者ノ氏名  
 四 内容、製本及紙數ノ概要  
 五 豫約定價及代金前收ノ方法  
 六 發行所  
 七 發行者ノ氏名、生年月日、法人ナルトキハ其ノ名稱  
 及代表者ノ氏名  
 前項ノ届出ハ書面ヲ以テシ發行者又ハ其ノ法定代理人ヨリ  
 豫約手續ニ着手ノ日ヨリ十日以前ニ管轄地方官廳ニ之ヲ差  
 出スヘシ

第三條 豫約出版物ニ付出版法ニ依リテ爲ス出版届書ニハ第  
 二條ニ依リテ届出ヲ爲シタルコト及其ノ年月日ヲ記載スヘ  
 シ  
 第四條 發行者又ハ其ノ法定代理人ハ第二條ノ届出ト同時ニ  
 保證金トシテ管轄地方官廳ニ左ノ金額ヲ納ムヘシ

一 豫約定價十圓未満ハ金五百圓  
 二 豫約定價十圓以上ハ金千圓  
 保證金ハ命令ヲ以テ定ムル種類ノ有價證券ヲ以テ之ニ充ツ  
 ルコトヲ得

第五條 發行所、發行者ノ法定代理人、發行者法人ナルトキ  
 ハ其ノ名稱及代表者ニ變更アリ又ハ發行者能力ヲ失ヒ死亡  
 若ハ解散シ又ハ死亡若ハ解散ニ因リ法律上豫約出版ヲ廢絶  
 スルノ已ムヲ得サルニ至リタルトキハ十日以内ニ内務大臣  
 ニ届出ツヘシ  
 前項ノ届出ハ書面ヲ以テシ發行者又ハ其ノ法定代理人、其  
 ノ死亡ニ係ルトキハ相續人、相續人定マラス又ハ相續人ナ  
 キトキハ戸主若ハ同居ノ親族、法人ノ合併ニ因ル解散ニ係  
 ルトキハ其ノ法人ノ權利及義務ヲ承繼シタル法人、破産ニ  
 因ル解散ニ係ルトキハ破産管財人ヨリ管轄地方官廳ニ之ヲ  
 差出ヘシ

第六條 法律上已ムヲ得サルニ非サル豫約出版ノ廢絶又ハ第  
 二條第一項第一號乃至第五號ノ變更及死亡若ハ解散ニ因ラ  
 サル發行者ノ變更ハ新舊發行者又ハ其ノ法定代理人ヨリ其  
 ノ事由ヲ具シタル書面ヲ以テ豫メ管轄地方官廳ヲ經由シ内  
 務大臣ノ許可ヲ受クヘシ



前項ノ許可ハ豫約當事者ノ解除權行使ヲ妨ケラルルコトナシ

第七條 相續人又ハ法人ノ合併ニ因リ其ノ權利及義務ヲ承繼シタル法人ハ豫約出版ニ關スル權利及義務ヲ承繼ス

第八條 保證金ニ對スル權利及義務ハ發行者變更ノ場合ニ於テ承繼發行者之ヲ承繼ス

第九條 保證金ハ適法ニ豫約出版ヲ廢絶シ又ハ完全ニ豫約ヲ履行シタル後ニ非サレハ其ノ還付ヲ請求シ又ハ其ノ債權ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法令ヲ適用シ又ハ豫約解除若ハ豫約不履行ニ因リ代金返還若ハ損害賠償ヲ命スル判決ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラス

第十條 發行者又ハ其ノ法定代理人ハ保證金ノ闕額ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ填補スヘシ

第十一條 第二條、第四條ノ規定ニ依シテ豫約手續ニ着手シ又ハ第六條若ハ第九條ニ違反シ又ハ管轄地方官廳ノ督促ヲ受ケタル後七日以内ニ保證金ヲ填補セサル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

第三條又ハ第五條ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

豫約出版ニ關スル願届書式

(第一號書式)

豫約出版届 (豫約着手十日前三通)

- 一、題號
  - 二、發行ノ年月日 (順次發行ノ場合ハ其起〇並ニ〇定)
  - 三、著作者ノ氏名
  - 四、内容製本紙數ノ概要
  - 五、豫約定價及代金前收方法
  - 六、發行所及名稱
  - 七、發行者ノ氏名生年月日
- 右ハ年月日ヨリ豫約手續ニ着手致候ニ付保證金圓  
警視廳ニ納メ置候條此段及御届候也  
年 月 日

住所 發行人 氏 名 團

(第二號書式)

豫約出版届出事項變更願

一、舊事項

出版法規

第十二條 明治卅三年法律第五十二號ハ前條ノ犯罪ニ之ヲ準用ス

參照 法律第五十二號(明治三十三年三月十三日)法人ニ於テ租稅ニ關シ事犯アリタル場合ニ關スル件【第一條】法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ租稅及葉煙草專賣ニ關スル法規ヲ犯シタル場合ニ於テハ各法規ニ規定シタル罰則ニ於テ罰金科料以外ノ刑ニ處スヘキコトヲ規定シタルトキハ法人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス【第二條】法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス【第三條】法人ヲ處罰スルノ裁判確定シタル日ヨリ罰金ニ關シテハ一月以内科料ニ關シテハ十日以内ニ之ヲ完納セサルトキハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ其ノ執行ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ檢事ノ命令ヲ以テ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ効力アルモノトス(前項ニ依リ執行ヲ爲スニハ執行前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス)

第十三條 本法ハ新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌及官廳ニ於テ出版スル文書圖書ニ之ヲ適用セス

二、新事項

右ハ何々ノ事由ニ由リ變更致度候ニ付御許可相成度此段及御願候也  
年 月 日

住所 發行人 氏 名 團

(第三號書式)

履行届

一、題號  
右ハ年月日ヨリ豫約手續ニ着手致 年月 日豫約者何名ニ對シ完全ニ義務ヲ履行仕リ候條此段及御届候也  
年 月 日

住所 發行人 氏 名 團

(第四號書式)

廢絶届 (届書三通)

一、題號  
右ハ年月日豫約手續ニ着手致候處今回何々ノ事由ニ



依り廢絶致度候條特別ノ御詮議ヲ以テ御許可相成度別紙何  
何(寫)添付此段及御願候也

年 月 日

住所

發行人

氏

名 印

内務大臣

宛

### 新聞紙法

(明治四十二年五月  
六日法律第四一號)

**第一條** 本法ニ於テ新聞紙ト稱スルハ一定ノ題號ヲ用ヒ時期  
ヲ定メ又ハ六箇月以内ノ期間ニ於テ時期ヲ定メスシテ發行  
スル著作物及定時期以外ニ本著作物ト同一題號ヲ用ヒテ臨  
時發行スル著作物ヲ謂フ

同一題號ノ新聞紙ヲ他ノ地方ニ於テ發行スルトキハ各別種  
ノ新聞紙ト看做ス

**第二條** 左ニ掲クル者ハ新聞紙ノ發行人又ハ編輯人タルコト  
ヲ得ス

- 一 本法ヲ施行スル帝國領土内ニ居住セサル者
- 二 陸海軍軍人ニシテ現役若ハ召集中ノ者
- 三 未成年者、禁治産者及準禁治産者

**第四條** 懲役又ハ禁錮ノ刑ノ執行中又ハ執行猶豫中ノ者  
**第三條** 印刷所ハ本法ヲ施行スル帝國領土外ニ之ヲ設クルコ  
トヲ得ス

**第四條** 新聞紙ノ發行人ハ左ノ事項ヲ内務大臣ニ届出ツヘシ

一 題號

二 掲載事項ノ種類

三 時事ニ關スル事項ノ掲載ノ有無

四 發行ノ時期、若時期ヲ定メサルトキハ其ノ旨

五 第一回發行ノ年月日

六 發行所及印刷所

七 持主ノ氏名、若法人ナルトキハ其ノ名稱及代表者ノ氏  
名

八 發行人、編輯人及印刷人ノ氏名年齢但シ編輯人二人以  
上アルトキハ其ノ主トシテ編輯事務ヲ擔當スル者ノ氏  
名年齢

前項ノ届出、持主又ハ其ノ法定代理人ノ連署シタル書面ヲ  
以テシ第一回發行ノ日ヨリ十日以前ニ管轄地方官廳ニ届出  
スヘシ

**第五條** 前條第一項第一號乃至第三號ノ事項ノ變更ハ變更ノ  
日ヨリ十日以前ニ第四號若ハ第六號ノ事項又ハ持主、編輯  
人ノ責任ニ關スル本法ノ規定ハ左ニ掲クル者ニ  
之ヲ準用ス

- 一 編輯人以外ニ於テ實際編輯ヲ擔當シタルモノ
- 二 掲載ノ事項ニ署名シタル者
- 三 正誤書、辯駁書ノ事項ニ付テハ其ノ掲載ヲ請求シタル  
者

**第十條** 新聞紙ニハ發行人、編輯人、印刷人ノ氏名及發行所  
ヲ掲載スヘシ

**第十一條** 新聞紙ハ發行ト同時ニ内務省ニ二部管轄地方官  
廳、地方裁判所檢事局及區裁判所檢事局ニ各一部ヲ納ムヘ  
シ

**第十二條** 時事ニ關スル事項ヲ掲載スル新聞紙ハ管轄地方官  
廳ニ保證トシテ左ノ金額ヲ納ムルニ非サレハ之ヲ發行スル  
コトヲ得ス

一 東京市、大阪市及其ノ市外三里以内ノ地ニ於テハ二千

圓

二 人口七萬以上ノ市又ハ區及其ノ市又ハ區外一里以内ノ  
地ニ於テハ一千圓

三 其ノ他ノ地方ニ於テハ五百圓

前項ノ金額ハ一箇月三回以下發行スルモノニアリテハ其ノ

額ノ半ニシテ之ヲ得ス

前項ノ金額ハ一箇月三回以下發行スルモノニアリテハ其ノ

額ノ半ニシテ之ヲ得ス

前項ノ金額ハ一箇月三回以下發行スルモノニアリテハ其ノ

額ノ半ニシテ之ヲ得ス

前項ノ金額ハ一箇月三回以下發行スルモノニアリテハ其ノ

額ノ半ニシテ之ヲ得ス

前項ノ金額ハ一箇月三回以下發行スルモノニアリテハ其ノ

人、印刷人ノ變更ハ變更前又ハ變更後七日以内ニ前條ノ手  
續ニ依リ發行人ヨリ之ヲ内務大臣ニ届出ツヘシ但シ持主變  
更ノ届出ニハ死亡ニ因ル場合ノ外新舊持主又ハ其ノ法定代  
理人ノ連署ヲ要ス

**第六條** 死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至リタル發行人ノ權  
利及義務ヲ承繼シタル發行人ハ其ノ發行人ト爲リタル日ヨ  
リ七日以内ニ前條ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ノ外發行人ノ變更ハ變更ノ日ヨリ十日以前ニ前  
條ノ手續ヲ爲スヘシ

**第七條** 新聞紙ハ届出ヲ爲シタル發行時期又ハ發行休止ノ日  
ヨリ起算シテ百日間、三回發行ノ期間ヲ通シテ百日ヲ超ユ  
ル新聞紙ニ在リテハ三回發行ノ期間之ヲ發行セサルトキハ  
其發行ヲ廢止シタルモノト看做ス

**第八條** 發行人若ハ編輯人死亡シ又ハ第二條ニ該當スルニ至  
リ後任ノ發行人若ハ編輯人ヲ定メサル間又ハ發行人若ハ編  
輯人一箇月以上本法ヲ施行スル帝國領土外ニ旅行スル場合  
ニ於テハ假發行人若ハ假編輯人ヲ設クルニ非サレハ新聞紙  
ノ發行ヲ爲スコトヲ得ス

發行人及編輯人ニ關スル本法ノ規定ハ假發行人及假編輯人  
ニ之ヲ準用ス



半額トス  
保證金ハ命令ヲ以テ定ムル種類ノ有價證券ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

**第十三條** 保證金ニ對スル權利及義務ハ發行人變更ノ場合ニ於テ後任發行人之ヲ承繼スルモノトス

**第十四條** 保證金ハ發行ヲ廢止シタルトキニ非サレハ其ノ還附ヲ請求シ又ハ其ノ債權ヲ讓渡スルコトヲ得ス但シ國稅徵收法及之ヲ準用スル法令ヲ適用シ又ハ名譽ニ對スル罪ニ因ル損害賠償ノ判決ヲ執行スルハ此ノ限ニ在ラス

**第十五條** 保證金ヲ納ムル新聞紙ニ關シ發行人又ハ編輯人罰金又ハ刑事訴訟費用ノ言渡確定ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ完納セサルトキハ檢事ハ保證金ノ全部又ハ一部ヲ之ニ充ツルコトヲ得

**第十六條** 保證金ハ其ノ闕額ヲ生シタル場合ニ於テ之ヲ填補スルニ非サレハ其ノ新聞紙ヲ發行スルコトヲ得ス但シ闕額ヲ生シタル日ヨリ七日以内ハ此ノ限ニ在ラス

**第十七條** 新聞紙ニ掲載シタル事項ノ錯誤ニ付其ノ事項ニ關スル本人又ハ直接關係者ヨリ正誤又ハ正誤書、辯駁書ノ掲載ヲ請求シタルトキハ其ノ請求ヲ受ケタル後次回又ハ第三回ノ發行ニ於テ正誤ヲ爲シ又ハ正誤書、辯駁書ノ全文ヲ掲載スヘシ

載スヘシ  
正誤、辯駁ハ原文ト同號ノ活字ヲ用フヘシ  
正誤、辯駁ノ趣旨法令ニ違反スルトキ又ハ請求者ノ氏名住所ヲ明記セサルトキハ之ヲ掲載スルコトヲ要セス  
正誤書、辯駁書ノ字數原文ノ字數ヲ超過シタルトキハ其ノ超過ノ字數ニ付發行人ノ定メタル普通廣告料ト同一ノ料金ヲ要求スルコトヲ得

**第十八條** 官報又ハ他ノ新聞紙ヨリ抄録セシ事項ニシテ官報又ハ新聞紙ニ於テ正誤シ又ハ正誤書、辯駁書ヲ掲載シタルトキハ本人又ハ直接關係者ノ請求ナシト雖其ノ官報又ハ新聞紙ヲ得タル前後條ノ例ニ依リ正誤シ又ハ正誤書、辯駁書ヲ掲載スヘシ但シ料金ヲ要求スルコトヲ得ス

**第十九條** 新聞紙ハ公判ニ付スル以前ニ於テ豫審ノ内容其ノ他檢事ノ差止メタル搜查又ハ豫審中ノ被告事件ニ關スル事項又ハ公開ヲ停メタル訴訟ノ辯論ヲ掲載スルコトヲ得ス

**第二十條** 新聞紙ハ官署、公署又ハ法令ヲ以テ組織シタル議會ニ於テ公ニセサル文書又ハ公開セサル會議ノ議事ヲ許可ヲ受ケスシテ掲載スルコトヲ得ス請願書又ハ訴願書ニシテ公ニセラレサルモノ亦同シ

**第二十一條** 新聞紙ハ犯罪ヲ煽動若ハ曲庇シ又ハ犯罪人若ハ

刑事被告人ヲ賞恤若ハ救護シ又ハ刑事被告人ヲ陷害スルノ事項ヲ掲載スルコトヲ得ス

**第二十二條** 第四條乃至第六條ノ届出ヲ爲サス若ハ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセス又ハ保證金ヲ納メ若ハ之ヲ填補スヘキ場合ニ於テ之ヲ納メ若クハ之ヲ填補セシテ發行シタルトキハ正當ノ届出ヲ爲シ又ハ保證金ヲ納メ若ハ之ヲ填補スル迄管轄地方官廳ニ於テ新聞紙ノ發行ヲ差止ムヘシ

**第二十三條** 內務大臣ハ新聞紙掲載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ發賣及頒布ヲ禁止シ必要ノ場合ニ於テハ之ヲ差押フルコトヲ得  
前項ノ場合ニ於テ內務大臣ハ同一主旨ノ事項ノ掲載ヲ差止ムルコトヲ得

**第二十四條** 內務大臣ハ外國若ハ本法ヲ施行セサル帝國領土ニ於テ發行シタル新聞紙掲載ノ事項ニシテ安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スルモノト認ムルトキハ其ノ本法施行ノ地域内ニ於ケル發賣及頒布ヲ禁止シ必要ナル場合ニ於テハ之ヲ差押フルコトヲ得

新聞紙ニ對シ一年以内ニ二回以上前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ內務大臣ハ其ノ新聞紙ヲ本法施行ノ地域内ニ輸入又ハ移入スルヲ禁止スルコトヲ得

**第二十五條** 前項第二項ニ依ル禁止ノ命令ニ違反シテ輸入又ハ移入シタル新聞紙及第四十三條ニ依ル禁止ノ裁判ニ違反シテ發賣又ハ頒布スルノ目的ヲ以テ印刷シタル新聞紙ハ管轄地方官廳ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得

**第二十六條** 本法ニ依リ差押ヘタル新聞紙ニシテ二年以上其ノ差押ヲ解除セラレサルトキハ差押ヲ執行シタル行政官廳ニ於テ之ヲ處分スルコトヲ得

**第二十七條** 陸軍大臣、海軍大臣及外務大臣ハ新聞紙ニ對シ命令ヲ以テ軍事若ハ外交ニ關スル事項ノ掲載ヲ禁止シ又ハ制限スルコトヲ得

**第二十八條** 第二條ニ該當スル者ニシテ事實ヲ詐リ發行人又ハ編輯人ト爲リタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

**第二十九條** 第三條ニ違反シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

**第三十條** 第四條乃至第六條ノ届出ヲ爲サス若ハ届出ヲ爲スモ實ヲ以テセス又ハ第四條第一項第一號第四號乃至第六號ニ關シ届出ノ事項ニ違反シタル行爲ヲ爲シ又ハ第十一條ニ違反シタルトキハ發行人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

**第三十一條** 第四條第一項第二號又ハ第三號ニ關シ届出ノ事



項ニ違反シタル行爲ヲ爲シタルトキハ發行人及編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十二條 第八條第一項ニ違反シタルトキハ發行人死亡シ又ハ第三條ニ該當スルニ至リタル場合ニ於テハ實際發行ヲ爲シタル者其ノ他ノ場合ニ於テハ發行人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十三條 第十條ニ違反シ又ハ掲載ニ實ヲ以テセサルトキハ發行人及編輯人ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十四條 第十二條第一項、第二項、第十六條ニ違反シ又ハ第二十二條ニ依ル差止ノ命令ニ違反シタルトキハ發行人ヲ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條 第十七條第一項、第二項、又ハ第十八條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス前項ノ罪ハ私事ニ係ル場合ニ於テ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第三十六條 第十九條、第二十條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條 第二十一條ニ違反シタルトキハ編輯人ヲ三月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條 第二十三條ニ依ル禁止若ハ差止ノ命令、第二十四條ニ依ル禁止命令、第四十三條ニ依ル禁止ノ裁判ニ違反

シタルトキハ發行人、編輯人ヲ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス情ヲ知リテ其ノ新聞紙ヲ發賣又ハ頒布シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第二十三條第一項、第二十四條第一項、第二十五條ニ依ル差押處分ノ執行ヲ妨害シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條 第二十七條ニ依ル禁止又ハ制限ノ命令ニ違反シタルトキハ發行人、編輯人ヲ二年以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條 安寧秩序ヲ紊シ又ハ風俗ヲ害スル事項ヲ新聞紙ニ掲載シタルトキハ發行人、編輯人ヲ六月以下ノ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條 皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ政體ヲ變改シ又ハ朝憲ヲ紊亂セムトスルノ事項ヲ新聞紙ニ掲載シタルトキハ發行人、編輯人、印刷人ヲ二年以下ノ禁錮及三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條 第四十條乃至第四十二條ニ依リ處罰スル場合ニ於テ裁判所ハ其ノ新聞紙ノ發行ヲ禁止スルコトヲ得

第四十四條 本法ニ定メタル犯罪ニハ刑法併合罪ノ規定ヲ適用セス

第四十五條 新聞紙ニ掲載シタル事項ニ付名譽ニ對スル罪ノ公訴ヲ提起シタル場合ニ於テ其ノ私行ニ涉ルモノヲ除クノ外裁判所ニ於テ惡意ニ出テス專ラ公益ノ爲ニスルモノト認ムルトキハ被告人ニ事實ヲ證明スルコトヲ許スコトヲ得若

其ノ證明ノ確立ヲ得タルトキハ其ノ行爲ハ之ヲ罰セス公訴ニ關聯スル損害賠償ノ訴ニ對シテハ其ノ義務ヲ免ル

附 則

新聞紙條例ハ之ヲ廢止ス

本法施行前ヨリ發行スル新聞紙ニシテ本法ノ規定ニ依リ保證金ニ闕額ヲ生スルニ至リタルトキハ本法施行ノ日ヨリ三年間其ノ填補ヲ猶豫ス

第二十六條ノ規定ハ本法施行前ノ差押ニ係ル新聞紙ニ之ヲ準用ス

新聞紙法ニ關スル願届書式

(第一號書式)

新聞紙發行届 (第一回發行年月日ヨリ十日前提書二通)

- 一 題號 何々
- 二 掲載事項ノ種類 何々
- 三 時事ニ關スル事項掲載ノ有無 (有、無)

出版法規

(第二號書式)

新聞紙改題届 (變更十日前提書二通)

- 一 現在ノ題號
- 一 變更ノ題號
- 右 年 月 日ヨリ改題致候間此段御届申上候也

- 四 發行時期 日刊又ハ毎月何回 (何日若クハ不定)
- 五 第一回發行年月日 何年何月何日
- 六 發行所在地及名稱
- 七 印刷所所在地及名稱
- 八 持主氏名、原籍、居住地 生年月日
- 九 發行人 同上
- 十 編輯人 同上
- 十一 印刷人 同上

右ハ新聞紙法ニ據リ發行致候間 (管轄廳ニ保證金何圓納置候條) 此段及御届候也

年 月 日

内務大臣 宛

發行人 氏 名 印

持主 氏 名 印



住所  
 發行人 氏 名 印  
 宛

內務大臣

(第三號書式)  
 何新聞紙記載ノ種類變更届 (變更十日  
 届書二通)

一 現在ノ記事ノ種類  
 一 變更ノ記事ノ種類  
 右 年 月 日ヨリ變更致候間此段御届申上候也  
 (保證金ヲ納メス發行シタルモノヲ變更シテ保證  
 金ヲ要スルモノト爲サントスルノ例ハ左ノ如シ)  
 右 年 月 日ヨリ變更致候ニ付保證金何圓(若ハ有價證  
 轉廳へ納置候間此段御届申上候也)  
 年 月 日

發行人 氏 名 印  
 編輯人 氏 名 印  
 印刷人 氏 名 印  
 宛

內務大臣

(第四號書式甲)  
 何新聞紙發行人變更 (變更前又ハ變更後七  
 日以内、届書二通)

現在發行人 氏 名 印

(假發行人アリタルトキハ連署ス)  
 原籍及居住ノ地  
 新發行人 氏 名 印  
 宛

內務大臣

(第五號書式)  
 何新聞紙編輯人(印刷人)變更届

舊編輯人(舊印刷人) 氏 名 印  
 原籍及居住ノ地  
 新編輯人(新印刷人) 氏 名 印  
 年 月 日

右ノ通り 年 月 日ヨリ變更致候間此段御届申上候也  
 年 月 日  
 舊編輯人(舊印刷人) 氏 名 印  
 新編輯人(新印刷人) 氏 名 印  
 發行人 氏 名 印  
 宛

內務大臣

(第六號書式)  
 何新聞紙發行時期變更届 (變更前又ハ變更後  
 七日以内届書二通)

一 舊發行ノ時期

出版法規

原籍及居住ノ地  
 新發行人 氏 名 印  
 年  
 現在發行人 氏 名 印  
 新發行人 氏 名 印  
 宛

內務大臣

(同 乙)  
 何新聞紙發行人變更届 (變更前又ハ變更後  
 七日以内届書二通)

右舊發行人何誰 年 月 日死亡(法律上資格ヲ失ヒ)候  
 ニ付(何誰假發行人ノ名義ヲ以テ引續發行致候處) 年  
 月 日ヨリ右ノ通り變更致候間此段御届申上候也  
 年 月 日  
 舊發行人 氏 名 印  
 假發行人 氏 名 印

一 新發行ノ時期  
 右ノ通り 年 月 日ヨリ變更致候間此段御届申上候也  
 年 月 日  
 發行人 氏 名 印  
 宛

內務大臣

(第七號書式)  
 何新聞紙發行所(印刷所)變更届

一 舊發行所(舊印刷所)所在及名稱  
 一 新發行所(新印刷所)所在及名稱  
 右之通り 年 月 日ヨリ變更致候間此段御届申上候也  
 年 月 日  
 發行人 氏 名 印  
 宛

內務大臣

納本ニ就テノ注意

○書籍ヲ出版シ雜誌ヲ發行スル毎ニ左ノ如ク納本スルコトヲ  
 要ス  
 書籍 (出版法ニ依ル雜誌モ同シ)  
 內務省警保局圖書課(出版届ト共ニ) 二部



○新聞紙法ニ據リ發行スルモノハ發行ト同時ニ左記ニ納本ヲ要ス

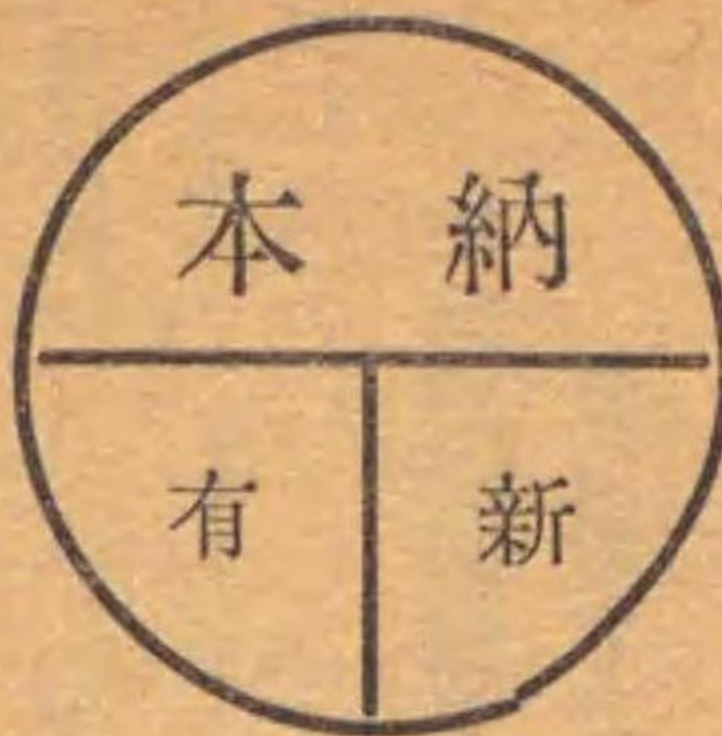
- 内務省警保局圖書課 二部
- 警視廳官房 檢閱係 一部
- (東京)地方裁判所檢事局 一部
- (東京)區裁判所 檢事局 一部
- 差出郵便局 一部
- 所轄警察署 一部

○本届出及納本ヲ怠リタルトキハ新聞紙法違反ニ據リ處罰サルルコトアルヘシ

○本屆書ハ警視廳檢閱係ヘ提出ヲ要ス

○納本ニハ表面ニ左記ノ印(直徑四尺一寸)押捺セラレタシ

(誌雜ノ證保有)



(誌雜ノ證保無)



### 第三種郵便物認可規則

(明治四十年八月十七日、逓信省令第三十五號、大正八年省令第二十五號改正)

- 第一條 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケムトスル者ハ本規則ノ定ムル所ニ依リ發行地所轄ノ逓信局ヘ願出ツヘシ
- 第二條 第三種郵便物ト爲スヘキ定期刊行物ハ左ノ條件ヲ具備スルモノニ限ル
  - 一 毎月一回以上逐號定期ニ發行スルコト
  - 二 記載事項ノ性質終期ヲ豫定スヘカラサルコト
  - 三 書籍ノ性質ヲ有セサルコト
  - 四 政事、時事、農事、工事、商事、學術、技藝、統計等公共ノ性質ヲ有スル事項ヲ報道論議スルヲ以テ發行ノ目的ト爲シ且汎ク公衆ニ發賣スルコト
- 第三條 本規則ニ依リ認可ヲ受ケムトスル定期刊行物ノ發行人ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ニ見本二部ヲ添ヘ差出スヘシ
  - 一 題號
  - 二 記載事項ノ種類
  - 三 發行人
  - 四 發行所

五 發行人ノ住所

六 發行ノ定日

第四條ノ一 本規則ニ依リ認可ノ效力ハ認可ヲ受ケタル號ヨリ發生スルモノトス

最後發行ノ次ノ定日ヨリ起算シ三十日ヲ過キテ發行セサルトキハ其ノ效力ヲ失フ

第四條ノ二 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物ノ發行人ハ其ノ定期刊行物發行ノ際之ヲ差出スヘキ郵便局(郵便物ノ集配事務ヲ取扱フ局ニ限ル)ヲ豫メ發行地所轄逓信局ニ届出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第五條 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物ノ發行人ハ其ノ發行毎ニ先ツ發行地所轄ノ逓信局及其ノ指定シタル郵便局ニ見本一部ヲ差出スヘシ

第六條 第三條第一號乃至第三號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ其ノ發行人ヨリ發行地所轄ノ逓信局ニ願出テ其ノ認可ヲ受クヘシ此ノ場合ニ於テ發行人ヲ變更セムトスルトキハ新舊發行人連署スヘシ舊發行人連署スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ願書ニ證明スヘシ

第三條第四號乃至第六號ノ事項ヲ變更シタルトキ又ハ廢刊、休刊、發行禁止ノトキハ其發行人ヨリ三日以内ニ發行

地所轄ノ逓信局ニ届出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テ發行所ヲ他ノ所轄區内ニ移轉セムトスルトキハ認可ヲ受ケタル逓信局ヲ經由シ移轉先ヲ所轄スル逓信局ニ願出テ其認可ヲ受クヘシ

第七條 第三條及前條第一項及第三項ノ出願人ハ左記ノ割合ニ依リ手数料ヲ納ムヘシ

- 一 新ニ第三種郵便物ノ認可ヲ受ケムトスルトキ又ハ第三條中二事項以上變更ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ金拾圓
- 二 第三條中其ノ一事項ニ對シ變更ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ金五圓

前項ノ手数料ハ逓信局又ハ管理事務分掌一等局ノ指示ニ從ヒ郵便切手ヲ以テ納付スヘシ

第八條 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物及其ノ臨時増刊並其ノ發行人左記各號ノ一ニ該當スルトキハ其認可ヲ取消スヘシ

- 一 第二條各號ノ條件ヲ缺キタルトキ
- 二 第四條ノ二ノ届出ヲ怠リタルトキ
- 三 第五條見本ノ差出ヲ怠リタルトキ
- 四 第六條ノ手續ヲ怠リタルトキ



五 届出ノ事項事實ト相違アルトキ

第九條ノ一 第四條ノ一第二項ニ依リ認可ノ效力ヲ失ヒタルモノ及前條ニ依リ認可ヲ取消サレタルモノ又ハ之ヲ繼承シタリト認メタル定期刊行物ニ對シテハ情狀ニ依リ再ヒ認可ヲ與ヘサルコトアルヘシ

第九條ノ二 第三種郵便物ノ認可ヲ受ケサル刊行物ニ第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタルコトヲ表示スヘキ文字ヲ印刷シタルトキハ發行人ヲ百圓以内ノ罰金ニ處ス

附 則

第十條 本規則ハ明治四十年九月一日ヨリ之ヲ施行ス  
明治三十三年九月逓信省令第七十三號第三種郵便物發行規則ハ本規則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第十一條 從來ノ規程ニ依リ現ニ第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物ニシテ本規則ニ抵觸セスシテ發行スルモノハ尙其ノ效力ヲ有ス

郵便規則摘要

(三十九年九月逓信省令、第四十二號)

第二十條 定期刊行物ハ其ノ刊行物初頁上部ニ其ノ名稱、發行期日、回數、逐號番號、發行年月日及何年何月何日第三

種郵便物認可ノ文字、次頁以下ハ上部ニ其ノ名稱又ハ略記號、發行年月日及第三種郵便物認可ノ文字ヲ印刷スヘシ但シ冊子トナシタル刊行物ハ最初及最終ノ頁面ノミニ印刷スルコトヲ得

第二十一條 定期刊行物ハ本紙ノ重量ニ超過セス本紙ト同性質ノ記事、廣告又ハ書、畫圖ヲ印刷シ之ニ本紙ノ名稱、番號、並ニ發行ノ年月日及附録ノ文字ヲ記入シ且ツ冊子ト爲ササルモノニ限り附録トシテ之ヲ本紙ニ添付スルコトヲ得

第二十二條 緊急時事ヲ報道スル爲メ臨時ニ發行スル定期刊行物ノ號外ハ定期刊行物ト同一ノ取扱ヲ爲ス  
定期刊行物ノ號外ハ之ニ本紙ノ名稱、發行ノ年月日何年何月何日第三種郵便物認可及號外ノ文字ヲ記入スヘシ

第二十三條 定期刊行物ニハ其發行者ニ於テ其ノ記事ニ關スル物品ニシテ本紙ノ重量ヲ超過セサルモノニ限り之ヲ綴込又ハ貼付スルコトヲ得

第三種郵便物ニ關スル願屆書式

(第一號書式)

(發行所ヲ他ノ逓信局區内ニ移轉スル場合ニ限ル) (當局經由ヲ要ス)

發行所變更願

年 月 日 第三種郵便物認可

舊發行所

新發行所

右之通り 月 日ヨリ變更致候間御認可相成度及御願候

年 月 日

右發行人 氏 名 印

(新發行所々格 逓信局長名)

逓信局長

殿

(第二號書式)

(見本差出 局名) 經由 (朱記)

發行所變更願

年 月 日 第三種郵便物認可

題 號

舊發行所

新發行所

右之通り 月 日ヨリ變更致候

年 月 日

右發行人 氏 名 印

東京逓信局御中

(第三號書式)

(見本差出 局名) 經由 (朱記)

發行所變更願

年 月 日 第三種郵便物認可

右 月 日發行スヘキ處臨時 月 日ニ變更致候

年 月 日

右發行人 氏 名 印

東京逓信局御中

(發行日臨時變更ハ翌月及次ノ發行日ニ涉ルコトヲ得ズ)

(見本差出 局名) 經由 (朱記)

發行人住所變更願

年 月 日 第三種郵便物認可

題 號

舊住所

新住所

右之通り 月 日ヨリ變更致候

年 月 日

右發行人 氏 名 印

東京逓信局御中



(第五號書式)

(見本差出) 經由 (朱記)

休刊届

年月日 第三種郵便物認可

題號 第何號

年月日

右發行人 氏 名

東京逓信局御中

(第七號書式)

(見本差出) 經由 (朱記)

臨時増刊發行届

年月日 第三種郵便物認可

題號

年月日

右發行人 氏 名

東京逓信局御中

(第六號書式)

(見本差出) 經由 (朱記)

第三種郵便物差出局變更届(見本一部添付)

年月日 第三種郵便物認可

題號

舊差出局

新差出局

右之通り 月 日ヨリ變更可致候

年月日

右發行人 氏 名

東京逓信局御中

(第八號書式)

(見本差出) 經由 (朱記)

發行日變更届

年月日 第三種郵便物認可

題號

舊發行日

新發行日

右之通り 月 日發行分ヨリ變更致候

年月日

右發行人 氏 名

東京逓信局御中

(第九號書式)

(見本差出) 經由 (朱記)

體裁變更届

年月日 第三種郵便物認可

題號

右刊行物 月 日發行第 號ヨリ見本ノ通り體裁變更致候

年月日

右發行人 氏 名

東京逓信局御中

各種届書類ニ關スル注意

一 届書類ハ總テ見本差出局ヘ差出スコト

一 用紙ハ可成半紙ニツ折ヲ用ヒ綴補上必要ニ付兩端一寸程空欄ヲ置クコト

第三種郵便注意事項

一、第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物ヲ其ノ發行定日前ニ郵便ニ差出ス場合ハ其ノ刊行物ニ「何月何日印刷納本」ト印刷シアルモノニシテ其ノ納本日以後ニ差出シタル

モノニ限リ第三種郵便物ノ取扱ヲ爲ス

二、第三種郵便物認可規則第五條ニ依ル見本ハ必ス發行日前遅クモ發行當日迄ニ當局並ニ指定局ニ差出スコトヲ要ス若シ發行日ノ翌日以後ニ至リ納本セラルルモノニ對シテハ認可規則第八條ヲ適用スル乎又ハ郵便物ノ引受ヲ停止ス

三、定期刊行物ハ郵便規則第二十條ニ依ル成規各印刷事項ヲ必ス印刷スヘキコト

四、第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物ニシテ其ノ發行日ニ至リ發行シ得サル時又ハ定日ニ發行シ得ラレサルコトニ豫測シ得ヘキ時ハ必ス發行日臨時變更届ノ提出ヲ要ス若シ何等ノ届出モナク定日ヨリ遅レテ發行セラルル時ハ認可規則ニモ違背セラルルニ付第三種郵便物ノ取扱ヲ爲ササルカ又ハ認可ヲ取消サルル事アルヤモ計リ難キニ付注意セラレタシ

五、第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物及ヒ其ノ臨時増刊ニシテ題號ノ外ニ「何々記念號」又ハ其ノ他ノ特殊名稱ヲ附スル場合ハ其ノ字格カ本題號ヨリ小ニシテ且ツ其ノ内容ハ平常ノモノト同一種類ノ記事ヲ包容スヘキヲ必要條件トス若シ其ノ名稱カ内容總括的説明ト認メ得サルモノ又ハ其ノ字格カ本題號ヨリ大ナルカ或ハ本題號ノ文字カ明瞭



ヲ缺ル字體ヲ以テ表示セルモノハ總テ別種ノモノトシテ取扱フニ付若シ臨時増刊等特殊ノモノヲ發行セラルトキハ豫メ本條件ヲ具備スル様注意セラレタシ

### 約束郵便取扱承認規則

(大正十二年二月二十四日 逓信省令第二十一號)

- 第一條 約束郵便ノ取扱承認ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 約束郵便ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申込書ヲ所轄逓信局長ニ差出シ其ノ承認ヲ受クヘシ
  - 一 題號又ハ名稱
  - 二 約束郵便ト爲スニ依リ郵便料ノ低減ヲ受クヘキモノハ其ノ事由
  - 三 差出回数(定期日アルモノハ定期日ヲモ記載ヲ要ス)並毎回ノ差出箇數(料金ヲ異ニスルモノ毎ニ)ノ概算高
  - 四 差出郵便官署名(無集配三等郵便局ヲ指定スルヲ得ス)
  - 五 申込人ノ住所氏名

- 郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クル約束郵便ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ手数料金十圓ヲ納付スベシ
- 第三條 本令ニ依リ約束郵便ノ承認ヲ受ケタル後前條第一項各號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ豫メ其ノ旨ヲ所轄逓信局長ニ届出ツヘシ但シ郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クル約束郵便物ノ題號又ハ申込人ヲ變更セムトスルトキハ一事項ニ付手数料金五圓ヲ納付シ所轄逓信局長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第四條 前二條ノ手数料ハ逓信局長ノ指示ニ從ヒ郵便切手ヲ以テ納付スヘシ
- 第五條 約束郵便物ノ差出人ハ約束郵便料後納ノ擔保トシテ所轄逓信局長ノ指示ニ從ヒ通貨又ハ國債ヲ提供スヘシ但シ差出人官公署公共團體、社寺、學校又ハ營利ヲ目的トセサル法人ナルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第六條 差出人約束郵便取扱ノ必要ナキニ至リタルトキ又ハ其ノ差出郵便官署ヲ他ノ逓信局區内ノ郵便官署ニ變更セムトスルトキハ其ノ旨ヲ所轄逓信局長ニ届出ツヘシ

### 附 則

本令ハ大正十二年三月一日ヨリ之ヲ施行ス  
約束郵便取扱規則ハ之ヲ廢止ス  
約束郵便取扱規則ニ依リ承認ヲ受ケタル約束郵便物ハ本令ニ依リ承認ヲ受ケタルモノト看做ス

### 郵便規則摘載

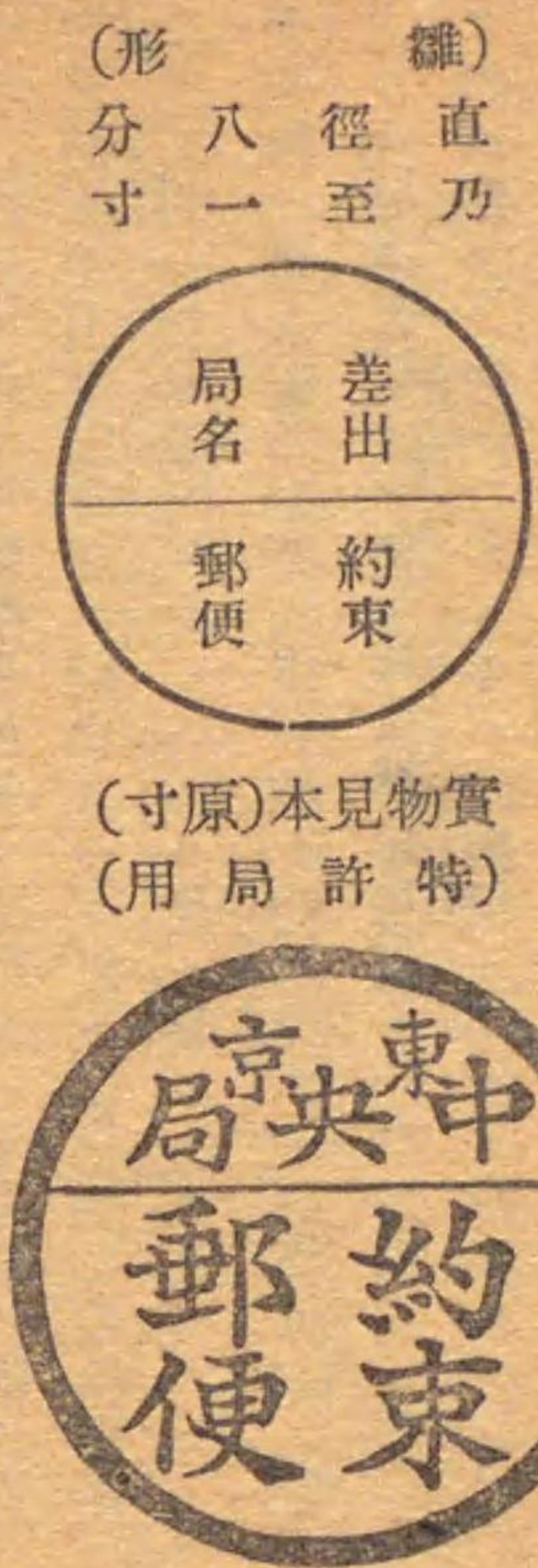
(明治三十三年九月逓信省令、第四十二號)

- 第七條 郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クル約束郵便物ニシテ引續キ三月以上又ハ最近一年間ニ五月以上同條ニ依ル差出ヲ休止シタルトキハ其ノ承認ヲ取消スヘシ
- 第八條 約束郵便物ノ差出人左記各號ノ一ニ該當スルトキハ約束郵便ノ承認ヲ取消スコトアルヘシ
  - 一 本令ニ違反シタルトキ
  - 二 約束郵便料ヲ規定ノ期ニ迄ニ納付セザルトキ
- 第九條 前二條ニ依リ約束郵便ノ承認ヲ取消シタルモノニ對シテハ其ノ情狀ニ依リ再ヒ約束郵便ノ承認ヲ與ヘサルコトアルヘシ
- 第十條 本令ニ依リ所轄逓信局長ニ提出スヘキ書類ハ總テ約束郵便物差出郵便官署ヲ經由スヘシ但シ逓信局ト差出郵便官署ト同一行政區内ニ在ル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第十一條 第六條乃至第八條ニ依リ約束郵便ノ取扱承認ノ效力ヲ失ヒタルトキハ第五條ニ依ル擔保ハ之ヲ差出人ニ還付ス但シ料金ノ滯納アルトキハ該擔保(國債ヲ擔保トナシタルモノナルトキハ之ヲ賣却シ其ノ金額ヨリ賣却費用ヲ引去リタル殘額)ヲ未納料金ニ充テ過剩額ハ之ヲ還付シ不足額ハ之ヲ追徴ス

- 第二十四條ノ一 第三種郵便物ニ非サル印刷物ニシテ毎月一回以上繼續刊行シ且發行ノ都度其ノ當月又ハ其ノ翌月中ニ一月ノ發行ニ付百通以上差出スモノハ約束郵便トシテ特ニ承認シタル場合ニ限リ其ノ料金ヲ前條ニ該當スルモノハ重量五十匁又ハ其ノ端數每ニ其ノ他ノモノハ重量三十匁又ハ其ノ端數每ニ金二錢トス第二十三條第二項ノ規定ハ前項ノ印刷物ニ之ヲ準用ス
- 第六十四條ノ一 定期刊行物、書籍及印刷物ハ別ニ定ムル所ニ依リ所轄逓信局長ノ承認ヲ受ケ約束郵便ト爲スコトヲ得
- 第六十四條ノ二 約束郵便物ハ通知ヲ要セサル留置ト爲スノ外他ノ特殊取扱ト爲スコトヲ得ス
- 第六十四條ノ三 約束郵便物ニハ日附印ヲ捺捺セス



第六十四條ノ四 約束郵便物ニハ郵便切手ヲ貼付セス差出人ニ於テ左記雛形ノ印章ヲ押捺スヘシ



前項郵便物ノ料金ハ毎月分ヲ翌月二十日迄ニ所轄通信局長ノ指示ニ從ヒ通貨ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

第六十四條ノ五 約束郵便物ハ特殊ノ包装ヲ要スルモノノ外

強質ナル白又ハ淡色ノ紙ヲ以テ包装シ帶紙ヲ用フルトキハ其ノ幅二寸以上トシ宛所ハ成ルヘク左ノ例ニ依リ明瞭ニ縦書スヘシ

何(府)何々(配達郵便)局区内

何(縣)何々(郵便局名)局区内

何(町)字何々番地

某

第六十四條ノ六 約束郵便物ハ郵便官署ノ指示ニ從ヒ其ノ題號又ハ名稱及箇數等ヲ記載シタル郵送票ヲ添ヘ之ヲ豫メ承

認ヲ受ケタル郵便官署ニ差出スヘシ但シ第六十四條ノ七 郵便官署ニ於テ必要アリト認メタルトキハ其ノ差出場所ヲ指定スルコトアルヘシ  
郵便官署ハ差出人ヲシテ約束郵便物發送上必要ナル區域毎ニ之ヲ結束シテ差出サシムルコトアルヘシ  
第六十四條ノ八 郵便官署ハ必要ニ應シ差出人ニ對シ約束郵便物ノ見本ヲ提出セシムルコトアルヘシ

### 約束郵便ニ關スル注意

- 一、約束郵便ノ申込ヲナサムトスル者ハ申込書(第一號雛形)擔保提供書(第二號雛形)及見本一部ヲ差出スヘシ
- 二、約束郵便取扱承認規則(以下取扱承認規則ト稱ス)第五條ノ擔保額ハ當該郵便物一箇月分郵送料ノ倍額以上トシ其ノ種類ハ現金又ハ國債ニ限ル且ツ國債ノ價格ハ額面ニ依ル
- 三、國債ハ擔保提供書(第二號雛形)ニ種類、額面、記號番號枚數及附屬利札等洩レナク記載スヘシ
- 四、題號又ハ名稱、差出箇數、差出局、申込人又ハ其住所ヲ變更セムトスル時ハ第三號雛形ノ届書又ハ願書ヲ差出スヘシ
- 五、差出箇數増加ノ場合ハ前號届書ニ不足額ニ相當スル擔保

金額ヲ記載シタル擔保提供書(第二號雛形)ヲ添付スヘシ  
差出箇數減少ノ場合ニアリテハ届書餘白ニ還付ヲ受クヘキ  
擔保ノ種類ヲ附記スヘシ此記載ナキトキハ當局ニ於テ便宜査定スヘシ

六、申込人ノ變更ハ願書(第三號乙雛形)ニ新舊申込人連書スヘシ舊申込人ノ連書ヲ得サルトキハ變更ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ書類ヲ添付スヘシ

新申込人ニ於テ舊申込人ノ提供セル擔保ヲ繼承セムトスルトキハ届書ニ其旨ヲ記載シ之ニ領收證書又ハ受領證書ヲ添付スヘシ又新ニ擔保ヲ提供スルモノニアリテハ必要ナル擔保金額ヲ記載シタル擔保提供書(第二號雛形)ヲ添付スヘシ

七、擔保ノ組替ヲセムトスルトキハ還付ヲ受クヘキ擔保及ヒ之ニ代ルヘキ擔保ヲ詳記シタル請求書(第四號雛形)ヲ差出スヘシ

八、申込人ニ於テ手数料又ハ擔保ノ納付ノ通告ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク指定ノ箇所ニ納入スヘシ

九、手数料ハ當局又ハ差出局ヘ納入スルモノトス此ノ場合ハ承認書交付ヲ以テ手数料領收ノ證トス

十、擔保ハ現金ハ郵便局ニ納入シ證券ハ日本銀行ニ寄託シタ

ル上其受領證書ヲ當局又ハ差出局ニ差出スモノトス納付人ハ以上孰レノ場合ニ於テモ領收證書又ハ受領證書ヲ取置クヘシ

十一、手数料及擔保ヲ納入セサル間ハ願出ニ相當スル約束郵便ノ取扱ヲナサス

十二、申込人ハ取扱承認規則第六條ノ郵送票用紙ヲ第五號雛形ニ依リ調製スヘシ但シ同票ハ複寫紙ニヨリ二通ヲ作成シ内一通ハ差出人ニ於テ保管シ置クヲ便宜トス

十三、約束郵便ヲ取消サムトスルモノハ第六號雛形ニヨリ其届書ヲ差出スヘシ

十四、擔保ノ還付ハ當局ヨリ之ヲ納付人ニ通知ス但拂渡ハ左記方法ニヨリ取扱フ

一、現金ハ指定郵便局ニ於テ拂渡ヲ爲ス  
二、證券ハ當局ニ於テ受領證書ニ拂渡ノ事由ヲ證明シテ交付ス

前項ニ依リ現金ノ拂渡又ハ受領證書ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ領收證書又ハ受領證書相當欄ニ受領證印ノ上之ヲ差出スヘシ

十五、證券利札受領ノ爲メ印鑑證明ヲ必要トスルトキハ願書(第七號雛形)ヲ差出スヘシ



十六、約束郵便ニ關スル印鑑ハ常ニ一定シ置クコトヲ要ス改印シタルトキハ保證人ヲ立テ速ニ届出ツヘシ  
十七、外國ヘハ約束郵便トシテ差出スコトヲ得ス

### 約束郵便ニ關スル願届書式

(第一號雛形)

#### 約束郵便申込書

- 一、題號又ハ名稱 帝國商報
  - 二、約束郵便トナスニヨリ郵便料ノ郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クベキモノハ其事由 低減ヲ受ケサルモノハ第一種第四種等種別ヲ記載スヘシ
  - 三、差出回数(定期日アルモ) 毎月一回二十日
  - 四、毎回差出個數(概算) 三十枚以内五千個
  - 五、差出郵便官署名 東京中央郵便局
  - 六、申込人住所氏名 日本橋區蠣殻町壹番地甲野太郎
- 右約束郵便トシテ郵送方承認相成度別紙擔保提供書並ニ郵便物見本壹部相添及御願候

年月日 右 甲 野 太 郎 閣  
東京遞信局長 殿

(第二號雛形)

#### 約束郵便擔保提供書

一金壹百圓也 現金  
又ハ  
一第四分利公債證書額面壹百圓也  
内 譯  
百圓券ノ號五〇〇三壹枚 但大正九年十二月(券面記載年月) 渡以降利札附屬  
右東京商報ノ約束郵便擔保トシテ提供ス

年月日 日本橋區蠣殻町壹番地 甲 野 太 郎 閣  
東京遞信局長 殿

(第三號甲雛形)

#### 約束郵便變更願

大正元年十月一日約甲第一〇〇號承認東京商報  
新差出局、又ハ新差出個數又ハ新題號又ハ新住所  
舊差出局、又ハ舊差出個數又ハ舊題號又ハ舊住所

何々 何々

右及御届候(右承認相成度候)

年月日 住所 何々 某 閣  
東京遞信局長 殿

(第三號乙雛形)

#### 約束郵便申込變更願

大正元年十月一日約甲第一〇〇號承認東京商報  
新申込人 住所 何々  
舊申込人 住所 何々  
右約束郵便申込人變更致度候間承認相成度新舊申込人連署ヲ以テ及御願候  
追テ擔保ハ新申込人ニ於テ全部承繼スルト共ニ本日迄ノ未拂料金ハ新申込人ニ於テ引受ケ支拂可申候也

年月日 新申込人 何 某 閣  
舊申込人 何 某 閣  
東京遞信局長 殿

(第四號雛形)

#### 出版法規

(第五號雛形)

#### 約束郵便物郵送票

約束郵便擔保組替請求書

大正元年十月一日約甲第一〇〇號承認東京商報  
還付ヲ受クヘキ擔保 現金 大正元年十月一日納  
又ハ  
大日本帝國政府四分利公債證書額面壹百圓也 壹枚  
内 譯  
壹百圓券ノ號 第壹貳參參號  
代用擔保  
一特別五分利公債證書額面壹百圓 壹枚  
内 譯  
五拾圓券甲ノ號三九一番、三九二番、貳枚 但大正九年十二月渡以降利札附屬  
右約束郵便擔保組替相成度此段請求候也

年月日 住所 何々 某 閣  
東京遞信局長 殿







良ナルモノハ本令ニヨリ之ヲ推薦ス

第二條 推薦ヲ受ケタル圖書ニハ文部省推薦ノ文字ヲ記入スルコトヲ得之カ記入ヲナス場合ニハ推薦ヲ受ケタル年月日ヲ明記スルコトヲ要ス

前項ノ記入ヲナシタル圖書ニ修正ヲ加ヘタルトキハ其ノ發行者ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ文部大臣ニ届出ツヘシ

第三條 推薦シタル圖書ニシテ修正其ノ他ノ事由ニヨリ必要アリト認ムルトキハ推薦ヲ取消スコトアルヘシ

第四條 推薦シタル圖書ノ名稱冊數定價發行ノ年月日並著作者及發行者ノ住所氏名ハ官報ヲ以テ之ヲ公示ス推薦ヲ取消シタルトキ亦同シ

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

文部省圖書認定規程

(大正十五年一月九日 文部省令第二號)

第一條 社會教育ニ裨益アリト認ムル圖書ハ本令ニ依リ之ヲ認定ス

第二條 圖書ノ著作者又ハ發行者ニ於テ圖書ノ認定ヲ受ケントスルトキハ其ノ圖書二部及手数料ヲ添ヘ別紙様式ノ認定

願書ヲ文部大臣ニ差出スヘシ

第三條 手数料ハ圖書一部ニ付其ノ圖書三部ノ定價ニ等シキ金額トス出願ノ際文部大臣官房會計課ニ納付スヘシ

(文部大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ手数料ヲ免除スルコトアルヘシ既納ノ手数料ハ之ヲ還付セス)

第四條 認定ヲ受ケタル圖書ニハ文部省認定ノ文字ヲ記入スルコトヲ得

第五條 認定ノ效力ハ認定ヲ受ケタル後修正ヲ加ヘタル圖書ニ及ハサルモノトス但シ修正ニ付文部大臣ノ認可ヲ得タルトキ此ノ限ニアラス

第六條 認定ヲ與ヘタル圖書ニシテ修正ヲ要スルモノアリト認メタルトキハ期間ヲ定メ之ヲ修正セシムルコトアルヘシ

第七條 認定ヲ受ケタル者本令ノ規定ニ違背シタルトキ又ハ文部大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ當該圖書ノ認定ヲ取消スコトヲ得

第八條 認定シタル圖書ノ名稱、冊數、定價、發行ノ年月日並著作者及發行者ノ住所、氏名ハ官報ヲ以テ之ヲ公示ス(前條ノ規定ニ依リ認定ヲ取消シタルトキ亦同シ)

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年文部省令第二十二號通俗圖書認定規程ハ之ヲ廢止ス從前ノ規程ニヨリ認定シ又ハ認定ヲ申請シタル圖書ハ本令ニ依リ之ヲ認定シ又ハ認定ヲ申請シタルモノト看做ス

(別記) 様式 圖書認定願

圖書ノ名稱	冊數	著作者ノ發行者ノ住所氏名	發行ノ年月日	定價

右ノ圖書御認定相成度該圖書二部及手数料金……相添此段及御願候也

年月日

住所

氏

名

文部大臣

宛



### 出版物納付法案 出版法改正 著作権法改正

政府は第六十五帝國議會へ「出版物納付法」、「出版法改正」、「著作権法改正」の三案を提出したが、會期切迫の爲め納付法案は審議未了。出版法と著作権法とは兩院を通過確定した。

#### 出版物納付法案

第一條 本法ニ於テ出版物ト稱スルハ左ニ掲グルモノヲ謂フ但シ命令ヲ以テ規定スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一 發賣頒布ノ目的ヲ以テ印刷術其ノ他ノ機械的又ハ化學的方法ニ依リ作成セラレタル文書又ハ圖書

二 發賣頒布ノ目的ヲ以テ音ヲ機械的方法ニ依リ複製スルノ用ニ供スル機器ニ音ノ寫調セラレタルモノ

第二條 本法ニ於テ定期出版物ト稱スルハ一定ノ題號ヲ用ヒ發行ノ期日ヲ定メ又ハ定メズ六ヶ月以内ノ期間ヲ隔テテ繼續發行シ内容タル事項ノ性質上終期ヲ豫定スベカラザル

出版物ヲ謂ヒ普通出版物ト稱スルハ定期出版物以外ノ出版物ヲ謂フ 定期出版物ト同一題號ヲ用ヒ臨時發行スル出版物ハ其ノ定期出版物ト看做ス

第三條 本法ニ於テ發行者ト稱スルハ出版物ノ頒布ヲ擔當スル者ヲ謂ヒ印刷者ト稱スルハ出版物ノ作成又ハ寫調ヲ擔當スル者ヲ謂フ

第四條 普通出版物(第一條第二號ニ掲グルモノヲ除ク)ノ印刷者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ印刷終了ト同時ニ現品一部ヲ添ヘ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監以下之ニ同ジ)ニ其ノ旨届出ツベシ

第五條 定期出版物ノ發行者ハ命令ノ定ムル方法ニ依リ日刊定期出版物ニ在リテハ發行開始ト同時ニ日刊以外ノ定期出版物ニ在リテハ發行開始ノ前日迄ニ現品二部、發行所所轄ノ道府縣廳(東京府ニ在リテハ警視廳)、地方裁判所檢事局及區裁判所檢事局ニ現品各一部ヲ納付スベシ同一號數ノ定期出版物ニシテ其ノ内容ヲ異ニスルモノニ付亦同ジ

第六條 普通出版物ノ發行者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ到達ニ要スベキ日數ヲ除キ發行開始ノ三日前迄ニ現品二部ヲ添ヘ内務大臣ニ届出ツベシ

前項ノ届出ハ著作権者ノ連署シタル文書ヲ以テ之ヲ爲スベシ但シ命令ノ定ムル事由ニ因リ連署ヲ得ルコト能ハザルト

キハ其ノ旨ヲ記載スベシ

第七條 引札、張札ノ類ニシテ已ムヲ得ザル事由ニ因リ前條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スノ違ナキモノニ在リテハ其ノ發行者ハ事由ヲ具シ發行開始ノ二十四時間前迄ニ發行地所轄ノ警察署長ニ現品四部ヲ添ヘ届出ツルコトヲ得

第八條 第五條乃至前條ノ手續ヲ爲シタル出版物ヲ再版スル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ都度第四條乃至前條ノ手續ヲ爲スベシ但シ改訂増減ヲ加ヘザルモノニ在リテハ現品ヲ納付スルコトヲ要セズ

第九條 本法施行ノ地域外ニ於テ印刷セラレタル出版物ヲ本法施行ノ地域内ニ於テ發賣頒布スルノ目的ヲ以テ其ノ輸入又ハ移入ヲ爲シタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ都度内務大臣ニ其ノ旨届出ツベシ但シ繼續シテ輸入シ又ハ移入スル定期出版物ニ在リテハ内務大臣ノ許可ヲ受ケ其ノ手續ヲ省略スルコトヲ得

内務大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ出版物ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第十條 官廳ニ於テ發行スル出版物ニ付テハ其ノ發行前ニ現品二部ヲ内務省ニ送付スベシ

第十一條 出版物ノ發行者ハ其ノ發行後直ニ帝國圖書館ニ現品一部ヲ納付スベシ

前項ノ出版物ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條 定期出版物ノ發行者ハ之ニ發行者、編輯者及印刷者ノ氏名及住所、發行所及印刷所ノ名稱及所在地、發行ノ年月日並ニ號數ヲ記載スベシ

第十三條 普通出版物ノ發行者ハ其ノ末尾ニ發行者及印刷者ノ氏名及住所、發行所及印刷所ノ名稱及所在地ノ名稱及所在地並ニ發行及印刷ノ年月日ヲ記載スベシ

第十四條 第一條第二號ノ出版物ニ付テハ前二條ノ規定ニ拘ラズ著作物ノ題號、號數、吹込者ノ氏名(數人ノ吹込者アルトキハ其ノ代表者ノ氏名)及發行所ノ名稱ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十五條 第五條乃至第九條ノ規定ニ依ル届出又ハ現品納付ヲ爲サザル出版物ニ付テハ其ノ届出又ハ現品納付ヲ爲ス迄地方長官ニ於テ其ノ發賣頒布ヲ差止ムルコトヲ得

第十六條 印刷者第四條ノ規定ニ依ル届出若ハ現品納付ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九條ノ輸入者又ハ移入者同條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同ジ

第十七條 發行者第五條乃至第八條ノ規定ニ依ル届出若ハ現品納付ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ届出ヲ爲シタルトキハ三百圓以



下ノ罰金ニ處ス

第十八條 出版法第十九條若ハ第二十條又ハ新聞紙法第二十三條若ハ第二十四條ノ規定ニ依ル内務大臣ノ處分ヲ免ルル目的ヲ以テ前二條ノ罪ヲ犯シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條 發行者第十二條乃至第十四條ノ規定ニ依ル記載ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條 發行者第十五條ノ規定ニ依ル地方長官ノ差止命令ニ違反シタルトキハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス發行者ニ非ズト雖モ情ヲ知りテ其ノ出版物ヲ販賣頒布シタルトキ亦同ジ

第二十一條

本法ニ掲グル罪ニハ刑法併合罪ノ規定ヲ適用セズ

第二十二條 本法ニ掲グル罪(第十八條ノ罪ヲ除ク)ノ公訴ノ時効ハ一年ヲ經過スルニ因リテ完成ス

第二十三條 出版物ノ印刷者、發行者又ハ輸入若ハ移入ヲ爲シタル者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法ノ罪ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

出版法中改正法律案

出版法中左ノ通改正ス

第十六條中「曲庇シ」ヲ「煽動シ若ハ曲庇シ賞恤シ又ハ刑事裁判シ」ニ改ム

第二十六條中「政體ヲ變壞シ」ヲ「皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ、政體ヲ變壞シ又ハ」ニ改ム

第二十七條中「風俗ヲ壞亂スル」ヲ「安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スル」ニ改ム

第三十六條 本法ハ發賣頒布ノ目的ヲ以テ音ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ音ノ寫調セラレタルモノニ之ヲ準用ス但シ著作家トアルハ吹込者トス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

著作權法中改正法律案

著作權法中左ノ通改正ス

目次中「第一章著作家ノ權利」ノ次ニ「第二章出版權」ヲ加ヘ「第二章」ヲ「第三章」ニ、「第三章」ヲ「第四章」ニ、「第四章」ヲ「第五章」ニ改ム

第二條 中「之ヲ」ヲ「其ノ全部又ハ一部ヲ」ニ改ム

改正出版法、改正著作權法

務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

出版法第二條乃至第五條、第七條乃至第十一條、第二十二條、第二十四條、第二十五條及第三十四條ヲ削除ス

豫約出版法第一條中「出版法」ヲ「出版法及出版物納付法」ニ、同法第三條中「出版法」ヲ「出版物納付法」ニ、同法第十三條中「新聞紙、出版法第二條但書ニ依ル雜誌」ヲ「新聞紙法ノ適用ヲ受クル出版物」ニ改ム

新聞紙法第十條、第十一條及第三十三條ヲ削除シ、同法第三十條中「又ハ第十一條ニ違反シ」ヲ削ル

本法施行ノ際從前ノ出版法第二條但書ノ規定ニ依リ發行スル雜誌ニ在リテハ其ノ發行者ハ本法施行ノ日ヨリ三十日以内ニ限リ新聞紙法第四條ノ規定ニ拘ラズ本法第六條ノ規定ニ依リ之ヲ發行スルコトヲ得

本法施行後ニ於テ發行スル出版物ニ付從前ノ規定ニ依リ爲シタル届出又ハ現品納付ハ之ヲ本法ニ依リ爲シタル届出又ハ現品納付ト看做ス

第十五條 二左ノ一項ヲ加フ

著作家ハ現ニ著作權ヲ有スルト否トニ拘ラズ其ノ著作物ノ著作年月日ヲ登錄ヲ受クルコトヲ得

第十八條 第三項中「及第三十條第一項第二號乃至第六號」ヲ「第二十七條第一項第二項、第三十條第一項第二號乃至第九號」ニ改ム

第二十二條ノ六 文藝・學術又ハ美術ノ範圍ニ屬スル著作物ノ著作權ハ其ノ著作物ヲ音ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ寫調シ及其ノ機器ニ依リ興行スルノ權利ヲ包含ス

第二十七條 二左ノ二項ヲ加フ

著作權者ノ居所不明ナル場合其ノ他命令ノ定ムル事由ニ由リ著作權者ト協議スルコト能ハザルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ定ムル相當ノ償金ヲ供託シテ其ノ著作物ヲ發行又ハ興行スルコトヲ得

前項ノ償金ノ額ニ付異議アル者ハ民事裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第二十八條 ノ次ニ左ノ如ク加フ

第二章 出版權



第二十八條ノ二 著作権者ハ其ノ著作物ヲ文書又ハ圖畫トシテ出版スルコトヲ引受クル者ニ對シ出版權ヲ設定スルコトヲ得

第二十八條ノ三 出版權者ハ設定行爲ノ定ムル所ニ依リ出版權ノ目的タル著作物ヲ原作ノ儘印刷術其ノ他ノ機械的又ハ化學的方法ニ依リ文書又ハ圖畫トシテ複製シ之ヲ發賣頒布スルノ權利ヲ專有ス但シ著作権者タル著作物ノ死亡シタルトキ又ハ設定行爲ニ別段ノ定ナキ場合ニ於テ出版權ノ設定アリタル後三年ヲ經過シタルトキハ著作権者ハ著作物ヲ全集其ノ他ノ編輯物ニ輯録シ又ハ全集其ノ他ノ編輯物ノ一部ヲ分離シテ別途ニ之ヲ出版スルコトヲ妨ゲズ

第二十八條ノ四 出版權ハ設定行爲ニ別段ノ定ナキトキハ其ノ設定アリタルトキヨリ三年間存続ス  
第二十八條ノ五 出版權者ハ出版權ノ設定アリタルトキヨリ三月以内ニ著作物ヲ出版スルノ義務ヲ負フ但シ設定行爲ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ  
出版權者ガ前項ノ義務ニ違反シタルトキハ著作権者ハ出版權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得

第二十八條ノ六 出版權者ハ著作物ヲ繼續シテ出版スルノ義務ヲ負フ但シ設定行爲ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第七 脚本又ハ樂譜ヲ收益ヲ目的トセズ且出演者ガ報酬ヲ受ケザル興行ノ用ニ供シ又ハ其ノ興行ヲ放送スルコト

第八 音ヲ機械的ニ複製スルノ用ニ供スル機器ニ著作物ノ適法ニ寫調セラレタルモノヲ興行又ハ放送ノ用ニ供スルコト

第九 専ラ官廳ノ用ニ供スル爲複製スルコト

第三十二條ノ二及第三十二條ノ三ヲ削ル

第三十五條ニ左ノ一項ヲ加フ

第三十五條第三項ノ規定ニ依リ著作年月日ノ登録ヲ受ケタル著作物ニ在リテハ其ノ年月日ヲ以テ著作ノ年月日ト推定ス

第三十六條ノ二 ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第三十六條ノ三 本法ノ規定ニ依ル登録、第二十二條ノ五第二項若ハ第二十七條第二項ノ規定ニ依ル償金ノ額又ハ著作ニ關スル一般的事項ニ付主務大臣ノ諮問ニ應ジ又ハ此等ノ事項ニ付調査審議スル爲著作權審議會ヲ置ク  
著作權審議會ノ組織ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
「第三章」ヲ「第四章」ニ、「第四章」ヲ「第五章」ニ改ム

附 則

本法施行ノ期日ハ各條ノ規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

登録稅法 第十條第四號ノ二ノ次ニ左ノ四號ヲ加フ

改正出版法、改正著作権法

出版權者ガ前項ノ義務ニ違反シタルトキハ著作権者ハ三月以上ノ期間ヲ定メテ其ノ履行ヲ催告シ其ノ期間内ニ履行ナキトキハ出版權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得

第二十八條ノ七 著作物ハ出版權者ガ著作物ノ各版ノ複製ヲ完了スルニ至ル迄其ノ著作物ニ正當ノ範圍内ニ於テ修正増減ヲ加フルコトヲ得  
出版權者ガ著作物ヲ再版スル場合ニ於テハ其ノ都度著作者ニ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス

第二十八條ノ八 著作権者ハ其ノ著作物ノ出版ヲ廢絶スル爲何時ニテモ損害ヲ賠償シテ出版權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得  
第二十八條ノ九 出版權ハ著作権者ノ同意ヲ得テ其ノ讓渡又ハ質入ヲ爲スコトヲ得

第二十八條ノ十 出版權ノ得喪、變更及質入ハ其ノ登録ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ  
第十六條ノ規定ハ出版權ノ登録ニ付之ヲ準用ス

第二十八條ノ十一 出版權ノ侵害ニ付テハ本法中第三十四條及第三十六條ノ二ノ規定ヲ除クノ外僞作ニ關スル規定ヲ準用ス  
「第二章」ヲ「第三章」ニ改ム  
第三十條 第一項ニ左ノ三號ヲ加フ

四ノ三 滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號及第二號ノ權利ノ處分ノ制限 債權金額 千分ノ四

四ノ四 著作年月日ノ登録 每一件 金一圓

四ノ五 抹消シタル登録ノ回復 每一件 金五十錢

四ノ六 假登録 每一件 金五十錢

同法ニ左ノ一條ヲ加フ

第十條ノ二 出版權ニ關シ登録ヲ受クルトキハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムベシ

一、出版權ノ設定 每一件 金十圓

二、出版權ノ移轉 相續 每一件 金一圓

相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金五圓

三、出版權ヲ目的トスル質權ノ設定 債權金額ノ千分ノ五、五

四、前號ノ權利ノ移轉 相續 每一件 金五十錢

相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 金一圓

五、信託ノ登録 每一件 金一圓

六、滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號乃至第三號ノ權利ノ處分ノ制限 債權金額 千分ノ四

七、抹消シタル登録ノ回復 每一件 金五十錢

八、假登録 每一件 金五十錢

九、登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 金二十錢



# 全國主要圖書館

藏書三千册以上ノモノ

○ 官府縣立  
△ 市立  
□ 私立  
× 町村立

## 東京府

- 帝國圖書館 東京市
- △日比谷圖書館 同
- △駿河臺圖書館 同
- △深川圖書館 同
- △京橋圖書館 同
- △本郷圖書館 同
- △小石川圖書館 同
- △三田圖書館 同
- △兩國圖書館 同
- △四谷圖書館 同
- △淺草圖書館 同
- △麻布圖書館 同
- △牛込圖書館 同

## 京都府

- △本所圖書館 東京市
- △麴町圖書館 同
- △日本橋圖書館 同
- △東駒形圖書館 同
- △下谷圖書館 同
- △外神田圖書館 同
- △月島圖書館 同
- △氷川圖書館 同
- △大橋圖書館 同
- 藤山工業圖書館 同
- 羽田圖書館 東京府羽田町
- 六行會經營品川圖書館 同 品川町
- 八王子圖書館 八王子市

## 大阪府

- 京都圖書館 京都市
- ×舞鶴圖書館 京都府舞鶴町
- 伏見圖書館 京都市
- 昭和圖書館 同
- 大阪府立圖書館 大阪市
- △清水谷圖書館 同
- △城東圖書館 同
- △阿波座圖書館 同
- △御藏跡圖書館 同
- △西野田圖書館 同
- △今宮圖書館 同
- △堺市立圖書館 堺市
- △岸和田市立圖書館 岸和田市

## 神奈川縣

- 長柄通俗圖書館 大阪市
- 開藏寮圖書館 大阪府三島郡如是村
- 金澤文庫 神奈川縣金澤町
- △橫濱市圖書館 橫濱市
- 弘明寺圖書館 同

## 新潟縣

- 長崎圖書館 長崎市
- 故沖禎介記念圖書館 長崎縣平戶町
- 明治新潟縣立圖書館 新潟市
- △沼垂圖書館 同
- △大正記念長岡市立圖書館 長岡市
- △高田圖書館 高田市
- △三條圖書館 新潟縣三條町
- ×新發田町立圖書館 同 新發田町
- ×白根圖書館 同 白根町
- ×新井町圖書館 同 新井町
- ×新穂圖書館 同 新佐渡郡新穂村
- ×圖書館 同 同北蒲原郡黒川
- 卷三光圖書館 同 卷町
- 刈羽圖書館 同 柏崎町
- 間瀬佛教圖書館 同 同西蒲原郡間瀬
- 村松町教育會圖書館 同 村松町
- 養徳文庫 同 加茂町
- 聖明佛教圖書館 同 燕町

## 埼玉縣

- 寺泊通俗圖書館 新潟縣寺泊町
- 中頸城郡津有村圖書館 同 中頸城郡津有村
- 戶野目通俗圖書館 同
- 埼玉圖書館 埼玉縣浦和町
- △川越圖書館 川越市
- ×熊谷町立圖書館 埼玉縣熊谷町
- ×入間川町立圖書館 同 入間川町
- ×簡易圖書館 同
- ×安行村立圖書館 同 同北足立郡安行村

## 兵庫縣

- △神戸市立圖書館 神戸市
- △西宮市立圖書館 西宮市
- △尼崎市立圖書館 尼崎市
- ×洲本町立圖書館 兵庫縣洲本町
- ×龍野町立圖書館 同 龍野町
- 姫路圖書館 姫路市
- 有馬會附屬圖書館 兵庫縣三田町
- 松栢圖書館 同 栢原町
- 多紀郡教育會圖書館 同 篠山町
- 正福寺圖書館 同 溫泉町

## 群馬縣

- △前橋市立圖書館 前橋市
- △高崎圖書館 高崎市
- ×伊勢崎圖書館 群馬縣伊勢崎町
- ×太田町立金山圖書館 同 太田町
- 秋元文庫 同 館林町

## 千葉縣

- 御成婚千葉縣圖書館 千葉市
- 記念千葉縣圖書館 千葉市
- ×大多喜圖書館 千葉縣大多喜町
- ×天賞文庫 千葉縣大多喜町

## 長崎縣

全國主要圖書館

本 二四五



×八生村圖書館 千葉縣印旛郡八生村  
 □成田圖書館 同 成田町  
 □米本圖書館 同 香取郡久賀村  
 □公正圖書館 同 銚子町  
 □養德文庫 同 東金町  
 □克復圖書館 同 府馬町

茨城縣

○茨城縣立圖書館 水戸市

栃木縣

△足利學校遺蹟圖書館 足利市  
 ×鹿沼町圖書館 栃木縣鹿沼町  
 ×葛生圖書館 同 葛生町  
 □下野教育會附設圖書館 宇都宮市  
 □記念圖書館 栃木縣栃木町

奈良縣

○奈良圖書館 奈良市  
 ×三輪町立圖書館 奈良縣三輪町

□天理外國語學校附屬圖書館 奈良縣丹波市町  
 □東大寺圖書館 奈良市

三重縣

△四日市市立圖書館 四日市市  
 △神都圖書館 宇治山田市  
 ×村立鶴方圖書館 三重縣志摩郡鶴方村  
 □上野圖書館 同 上野町  
 □松阪町記念館圖書部 同 松阪町  
 □河曲同窓會附屬圖書部 同 神戸町  
 □天白村教育會附屬圖書部 同 一志郡天白村  
 □一志郡教育會附屬圖書部 同 久居町  
 □白鳳圖書館 同 上野町  
 □昭和圖書館 同 菟野町  
 □韮田私立教育會附屬圖書部 同 阿山郡韮田村

愛知縣

△名古屋圖書館 名古屋市  
 △豐橋市立圖書館 豐橋市  
 △岡崎圖書館 岡崎市

×津島町圖書館 愛知縣津島町  
 ×半田圖書館 同 半田町  
 ×新川文庫 同 新川町  
 ×橫須賀圖書館 同 橫須賀町  
 ×名古屋公衆圖書館 名古屋市  
 □葵簡易圖書館 同  
 □八重簡易圖書館 同  
 □瀧文庫 愛知縣古知野町

靜岡縣

○靜岡縣立葵文庫 靜岡市  
 △濱松市立圖書館 濱松市  
 △沼津文庫 沼津市

山梨縣

○山梨縣立圖書館 甲府市  
 □南塘文庫 同  
 □甲府通俗圖書館 同

滋賀縣

×彥根圖書館 滋賀縣彥根町

岩手縣

○岩手縣立圖書館 盛岡市  
 ×一關町立圖書館 岩手縣一關町  
 □水澤圖書館 同 水澤町

青森縣

○青森縣立圖書館 青森市  
 △八戶市立圖書館 八戶市  
 △弘前圖書館 弘前市  
 ×七戶町立圖書館 青森縣七戶町  
 □行啓青森通俗圖書館 青森市  
 □新渡戶文庫 青森縣三本木町

山形縣

○行啓山形縣立圖書館 山形市  
 △鶴岡市立圖書館 鶴岡市  
 ×新庄圖書館 山形縣新庄町  
 ×大禮記念谷地圖書館 同 谷地町  
 ×上山町立圖書館 同 上山町  
 ×荒砥圖書館 同 荒砥町  
 □光丘文庫 同 酒田町

岐阜縣

×水口圖書館 滋賀縣水口町  
 ×金田村圖書館 同 蒲生郡金田村  
 ×大津市教育會附屬私立大津圖書館 大津市  
 □私立大津圖書館 滋賀縣滋賀郡坂本村  
 □叡山文庫 同 長濱町  
 □下鄉共濟會文庫 同 伊香郡七郷村  
 □淡海圖書館 同 八幡町  
 □蒲生郡教育會圖書館 同 八幡町  
 □豐鄉濟美會圖書館 同 犬上郡豐郷村

△大垣市圖書館 大垣市

□岐阜縣教育會圖書館 岐阜市  
 □岐阜簡易圖書館 岐阜市外加納町  
 □岐阜簡易圖書館分館 岐阜市

長野縣

○長野圖書館 長野市  
 △松本圖書館 松本市  
 △上田市立圖書館 上田市  
 ×飯田圖書館 長野縣飯田町

宮城縣

×小布施記念圖書館 長野縣上高井郡小布施村  
 ×千代圖書館 同 下伊那郡千代村  
 ×朝日圖書館 同 東筑摩郡朝日村  
 ×高遠進德圖書館 同 高遠町  
 ×瑞穂圖書館 同 下高井郡瑞穂村  
 □須坂町青年會圖書館 同 須坂町  
 □生坂圖書館 同 東筑摩郡生坂村

福島縣

○宮城縣圖書館 仙台市  
 ×石卷圖書館 宮城縣石卷町  
 □石越記念圖書館 同 登米郡石越村  
 ○福島縣立圖書館 福島市  
 △會津圖書館 福島縣若松市  
 ×須賀川圖書館 同 須賀川町  
 ×喜多方通俗圖書館 同 喜多方町  
 □郡山金透圖書館 郡山市  
 □波邊圖書館 福島縣田村郡大越村  
 □星野圖書館 同 若松市



○喜早圖書館 山形縣楯岡町  
 □西置賜郡教育會館 同 長井町  
 □御即位記念西村山郡館 同 寒河江町

秋田縣

○秋田圖書館 秋田市  
 ○秋田圖書館大曲分館 秋田縣大曲町  
 ○秋田圖書館橫手分館 同 橫手町  
 ○秋田圖書館能代分館 同 能代港町  
 ○秋田圖書館土崎分館 同 土崎港町  
 ○秋田圖書館花輪分館 同 花輪町  
 ○秋田圖書館本莊分館 同 本莊町  
 ×湯澤圖書館 同 湯澤町  
 ×角館圖書館 同 角館町  
 □立山文庫 同 毛馬内町

福井縣

△福井圖書館 福井市  
 □敦賀圖書館 福井縣敦賀町  
 □小濱圖書館 同 小濱町

○石川縣立圖書館 金澤市  
 △大禮金澤市立圖書館 同  
 ×大聖寺町立圖書館 石川縣大聖寺町  
 □鳳至圖書館 同 輪島町  
 □鹿島郡自治會圖書館 同 七尾町  
 □石川郡自治協會館 同 松任町  
 □河北郡自治會圖書館 同 津幡町

富山縣

△富山市立圖書館 富山市  
 △高岡圖書館 高岡市  
 ×魚津圖書館 富山縣魚津町  
 ×伏木圖書館 同 伏木町  
 ×御慶事記念出町館 同 出町  
 ×福光圖書館 同 福光町  
 □授眼藏佛教圖書館 同 福野町  
 □新湊圖書館 同 新湊町  
 □肩文庫 同 高岡市

鳥取縣

○鳥取圖書館 鳥取市  
 □東伯郡圖書館 鳥取縣倉吉町

島根縣

△松江市圖書館 松江市  
 ×濱田町立圖書館 島根縣濱田町  
 ×津和野圖書館 同 津和野町  
 □美濃郡圖書館 同 益田町  
 □安濃郡教育會圖書館 同 大田町

岡山縣

○岡山縣立圖書館 岡山市  
 △岡山圖書館 同  
 △二宮圖書館 津山市  
 △笠岡圖書館 岡山縣笠岡町  
 □眞庭圖書館 同 勝山町  
 □中津圖書館 同 湯瀨村  
 □岡山縣高梁中學校 同 高梁町  
 □倉敷圖書館 倉敷市  
 □津山基督教圖書館 津山市

廣島縣

△吳市立圖書館 吳市  
 △尾道圖書館 尾道市  
 ×圖書館竹原書院 廣島縣竹原町  
 ×三良坂町立圖書館 同 三良坂町  
 ×松永圖書館 同 松永町  
 □淺野圖書館 廣島市  
 □義倉圖書館 福山市  
 □和庄圖書館 吳市

山口縣

○山口圖書館 山口市  
 ○萩圖書館 山口縣萩町  
 △良城文庫 山口市  
 ×萩町立明倫圖書館 山口縣萩町  
 ×岩國圖書館 同 岩國町  
 ×華南圖書館 同 中關町  
 ×長府圖書館 同 長府町  
 ×上關圖書館 同 熊毛郡上關村  
 ×平川圖書館 同 吉敷郡平川村

全國主要圖書館

×明木圖書館 山口縣阿武郡明木村  
 ×三丘圖書館 同 熊毛郡三丘村  
 ×福川圖書館 同 福川町  
 ×小野圖書館 同 佐波郡小野村  
 □兒玉文庫 同 德山町  
 □總本家大塚親輔館 同 岩國町  
 □岡村文庫 同 豐浦郡神玉村  
 □含章婦人文庫 山口市  
 □縣社松崎神社附屬文庫 山口縣防府町

和歌山縣

○和歌山縣立圖書館 和歌山市  
 ×田邊町立圖書館 和歌山縣田邊町  
 ×御坊圖書館 同 御坊町  
 ×湯淺町立圖書館 同 湯淺町

德島縣

○光慶圖書館 德島市  
 □吳郷文庫 德島縣麻植郡西尾村  
 □德島縣立三好高等女學校內婦人圖書館 同 辻町

○愛日文庫 德島市

香川縣

×明德會圖書館 香川縣多度津町  
 □香川縣教育會圖書館 高松市  
 □鎌田共濟會圖書館 香川縣坂出町  
 □金刀比羅宮圖書館 同 琴平町  
 □藤村圖書館 同 豐濱町  
 □丸龜市圖書館 丸龜市

愛媛縣

△明德圖書館 今治市  
 ×三津濱圖書館 愛媛縣三津濱町  
 ×新居濱圖書館 同 新居濱町  
 □愛媛縣教育會圖書館 松山市  
 □伊達圖書館 宇和島市  
 □御成婚記念宇摩圖書館 愛媛縣三島町

高知縣

○高知縣立圖書館 高知市  
 ×大典須崎町立圖書館 高知縣須崎町



青 山 文 庫 高知縣佐川町

福岡縣

- 福岡縣立圖書館 福岡市
- △八幡市立圖書館 八幡市
- △門司市立圖書館 門司市
- △小倉市立記念圖書館 小倉市
- △直方市圖書館 福岡縣直方市
- △若松市立圖書館 同 若松市
- ×三毛門村立圖書館 同 築上郡三毛門村
- 久留米圖書館 久留米市

大分縣

- 大分圖書館 大分市
- △別府市立圖書館 別府市
- 白杵圖書館 大分縣白杵町
- 梅園文庫 同 杵築町
- 淡窓圖書館 同 日田町
- 大分縣南海部郡教育會附屬南海圖書館 同 佐伯町
- 岩田女學校松採文庫 大分市
- 小幡記念中津圖書館 中津市

佐賀縣

- 縣立佐賀圖書館 佐賀市
- △佐世保圖書館 佐世保市
- ×唐津圖書館 佐賀縣唐津町

熊本縣

- 熊本圖書館 熊本市
- 清浦文庫 熊本縣來民町
- 御即位菊池圖書館 同 隈府町
- 北里文庫 同 阿蘇郡北小國村
- 熊本縣教育會下益城郡支會圖書館 同 松橋町
- 鹿本圖書館 同 山鹿町
- 阿蘇圖書館 同 內牧町

宮崎縣

- 宮崎圖書館 宮崎市
- 都城圖書館 都城市
- 延岡圖書館 宮崎縣延岡町
- ×小林圖書館 同 小林町

鹿兒島縣

- 鹿兒島縣立圖書館 鹿兒島市

沖繩縣

- 沖繩圖書館 那霸市

北海道

- 行啓北海道廳立圖書館 札幌市
- 函館圖書館 函館市
- △釧路市簡易圖書館 釧路市
- △小樽圖書館 小樽市
- △室蘭市圖書館 室蘭市
- ×網走圖書館 北海道網走町
- 下村育英財團圖書館 旭川市
- 札幌市教育會附屬札幌市圖書館 札幌市

臺北州

- 臺灣總督府圖書館 臺北市

埔里青年會文庫 能高郡埔里街

臺南州

- 臺南圖書館 臺南市
- 嘉義市圖書館 嘉義市
- 歸仁圖書館 新豐郡歸仁庄
- 關廟圖書館 同 關廟庄
- 新化街新化圖書館 臺南州新化街
- 善化圖書館 新化郡善化庄
- 麻豆圖書館 曾文郡麻豆街
- 下營圖書館 同 下營庄
- 六甲圖書館 同 六甲庄
- 官田圖書館 同 官田庄
- 佳里圖書館 北門郡佳里庄
- 鹽水圖書館 新營郡鹽水街
- 公立柳營圖書館 同 柳營庄
- 新巷庄圖書館 嘉義郡新巷庄
- 斗六街立斗六圖書館 斗六郡斗六街
- 虎尾圖書館 虎尾郡虎尾庄
- 海口庄圖書館 同 海口庄

- 士林圖書館 七星郡士林庄
- 松山圖書館 同 松山庄
- 淡水圖書館 淡水郡淡水街
- 三芝圖書館 同 三芝庄
- 公立宜蘭圖書館 宜蘭郡宜蘭街
- 羅東圖書館 羅東郡羅東街
- 蘇澳圖書館 蘇澳郡蘇澳庄
- 新店圖書館 文山郡新店庄
- 海山圖書館 海山郡板橋街
- 中和庄圖書館 同 中和庄
- 三峽圖書館 同 三峽庄
- 新莊圖書館 新莊郡新莊街

新竹州

- 新竹州立新竹圖書館 新竹市
- 桃園街立圖書館 桃園郡桃園街
- 大溪街圖書館 大溪郡大溪街
- 竹南圖書館 竹南郡竹南庄
- 苗栗街立圖書館 苗栗郡苗栗街

臺中州

- 臺中州立圖書館 臺中市
- 大里庄立圖書館 大屯郡大里庄
- 御大典北屯庄文庫 同 北屯庄
- 西屯庄圖書館 同 西屯庄
- 南屯庄立圖書館 同 南屯庄
- 御大典烏日庄圖書館 同 烏日庄
- 豐原文庫 豐原郡豐原街
- 內埔庄文庫 同 內埔庄
- 大雅庄簡易圖書館 同 大雅庄
- 公立東勢圖書館 東勢郡東勢庄
- 鹿港街立圖書館 彰化郡鹿港街
- 員林文庫 員林郡員林街
- 溪湖庄文庫 同 溪湖庄
- 坡心庄文庫 同 坡心庄
- 田中庄圖書館 同 田中庄
- 二林庄圖書文庫 北斗郡二林庄
- 溪竹庄圖書室 同 溪竹庄
- 南投圖書館 南投郡南投街
- 草屯庄立草屯圖書館 同 草屯庄
- 集文庄文庫 新高郡集文庄







# 滿洲研究圖書

(出版月報御申越次第無代呈上)

## 第一 次 滿洲國年報 普及版

滿洲國國務院御編纂

送定四六料價版一六七〇錢頁

總地	行政	外交	司法	法產	貿易
地籍	軍政	軍事	警務	水產	度量
地籍	教育	宗教	衛生	鑛業	金融
地籍	社會	事業	農林	商業	交通
地籍	社會	事業	畜產	工業	及通
地籍	社會	事業	木業	物價	通信

滿洲讀本 (八年版)	送價一、〇〇	滿洲の鑛業	送價二、八〇
滿洲國地 (滿鐵版)	送價一、八〇	滿洲の纖維工業	送價一、九〇
滿洲國地名便覽	送價一、〇〇	北滿洲概觀	送價一、五〇
滿洲民族變遷史	送價一、〇〇	滿洲國幣制と大連銀市場	送價一、八〇

大連市紀伊町九一 東京神田小川町二丁目  
 滿洲文化協會 (東京代理店) 海文堂書店  
 (振替大連—2850) (振替東京—80993)  
 (電話大連—3805) (電話神田—2702)

廣一九

文學士 祥雲 確悟著 拾新らしき 論語講義 定價金壹圓四角 送料十二錢

弘前高等學校教授 三浦 桂三著 徒然草要解 定價金九拾錢 送料十錢

觀學園同人 森本 吉治著 兒童劇 (曲目二十) 曲譜、振付 定價金壹圓參拾錢 送料十錢

藤井勝三郎 最新 エリミネーター配線集 定價金壹圓 送料十錢

阪井末雄 新々日滿語會話 定價金八拾錢 送料十錢

福田實逸先生著 新註平家物語 定價金壹圓貳拾錢 送料十錢

畑 米吉著 新註平家物語 定價金壹圓 送料十錢

太宰衛門著 新譯源氏物語 定價金壹圓參拾錢 送料十錢

藤原時代女流文學家の中に清水納言と共に世に開いたる紫式部の名を昭和時代の今日一層高く傳へたるは源氏物語である其の文の如何に優雅にして情緒感奮をしのほしむるかを口語體に筆を取り知らず知らず古の名文を知る事を得る、源氏を知らず國文を味う事はあらじと學生諸氏にも一讀あれ。

本書は中等學校特に初等學校各種受驗者諸氏のために短時間に要領を理解して其の目的を達し得るやうと立案され從來の解釋上如何はしいと思ふところは圓熟な著者の考のもとに筆をふるわれ管見を一般通説と誤解なきやう區別されて居る。

廣一八

大坂市西區阿波通 小島文開堂 電話新町四二一五番  
 大坂市西區阿波通 小島文開堂 電話新町四二一五番



# 經濟學書之最

猪谷善一著 山中篤太郎著 沖中恒幸著 森泰吉郎著 岡野鑑記著 山中篤太郎著 森田優三著 三宅喜二郎著 馬場敬治著 白杵春水譯 江口行雄著 白井規矩稚譯 手塚壽郎著

世界經濟學要論 日本社會經濟の研究 經濟思想發展史 蠶絲業資本主義史 賠償及戰債問題 米價政策の研究 統計概論 我國に於ける貨銀及び物價の統計的研究 經營學研究 海運賃率論 投資信託業概論 獨逸信託業概論 國際貿易政策思想史研究

◇正價二圓五十錢 送料二圓二十錢  
◇正價二圓八十錢 送料二圓二十錢  
◇正價三圓二十錢 送料三圓十錢  
◇正價三圓三十錢 送料三圓十錢  
◇正價三圓五十錢 送料三圓十錢  
◇正價三圓八十錢 送料三圓十錢  
◇正價四圓 送料四圓  
◇正價三圓三十錢 送料三圓十錢  
◇正價三圓五十錢 送料三圓十錢  
◇正價三圓八十錢 送料三圓十錢  
◇正價九圓十錢 送料八圓  
◇正價二圓二十錢 送料二圓十錢  
◇正價三圓八十錢 送料三圓十錢  
◇正價三圓三十錢 送料三圓十錢  
◇正價三圓五十錢 送料三圓十錢  
◇正價一圓五十錢 送料十錢  
◇正價二圓二十錢 送料二圓十錢  
◇正價三圓八十錢 送料三圓十錢  
◇正價三圓三十錢 送料三圓十錢

東京 小川町 神田 森山書店 振替 東京三田 電話 三〇八〇番

廣二一

# 全廿六册 (菊判) (和裝)

定價 各册 錢十五圓一

既刊十五册  
第一編 韓非子講義 全  
第四編 三體詩唐詩選講義 全  
第六編 增訂 十八史略講義 上下  
第七編 增訂 唐宋八家文講義 四册  
第十二編 增訂 正文軌範講義 全  
第十三編 增訂 續文章軌範講義 全  
第十四編 增訂 史記列傳講義 四册  
第十五編 增訂 日本外史講義 一

以下逐次刊行  
第二編 易經書經講義 全  
第三編 詩經講義 全  
第五編 增訂 老子莊子講義 全  
第十四編 增訂 四書講義 全  
第十五編 增訂 春秋左氏傳講義 四册  
第十六編 增訂 日本外史講義 三册

# 株式會社 興文社

振替 東京 日本橋區馬喰町 一八四四番

廣二〇

興文社

# 漢文學子叢書



富山房

# 國民百科

# 大辭典

全十二卷



## 四つ、の分拂

◇詳細内容見本進呈◇

寄稿家二一、〇〇〇餘名  
全十二卷二總一、〇〇〇頁・各卷  
本文二段組横書八百餘頁・挿圖百餘面  
體裁華裝天金・堅牢莊麗な装  
幀(整八寸三分・横五寸九分)用紙は新  
流す

建國の紀元の佳節に當り、わが  
富山房五十周年の一大記念出版と  
して「國民百科大辭典」全十二卷  
を發表いたしましたことは出版者  
として最大の光榮であります。  
この「國民百科」こそ富山房が  
五十年來、「大日本地名辭書、日本  
家庭大百科事彙、佛教大辭彙、大  
日本國語辭典、詳解漢和字典、  
大英和辭典、大言海」の三十餘種

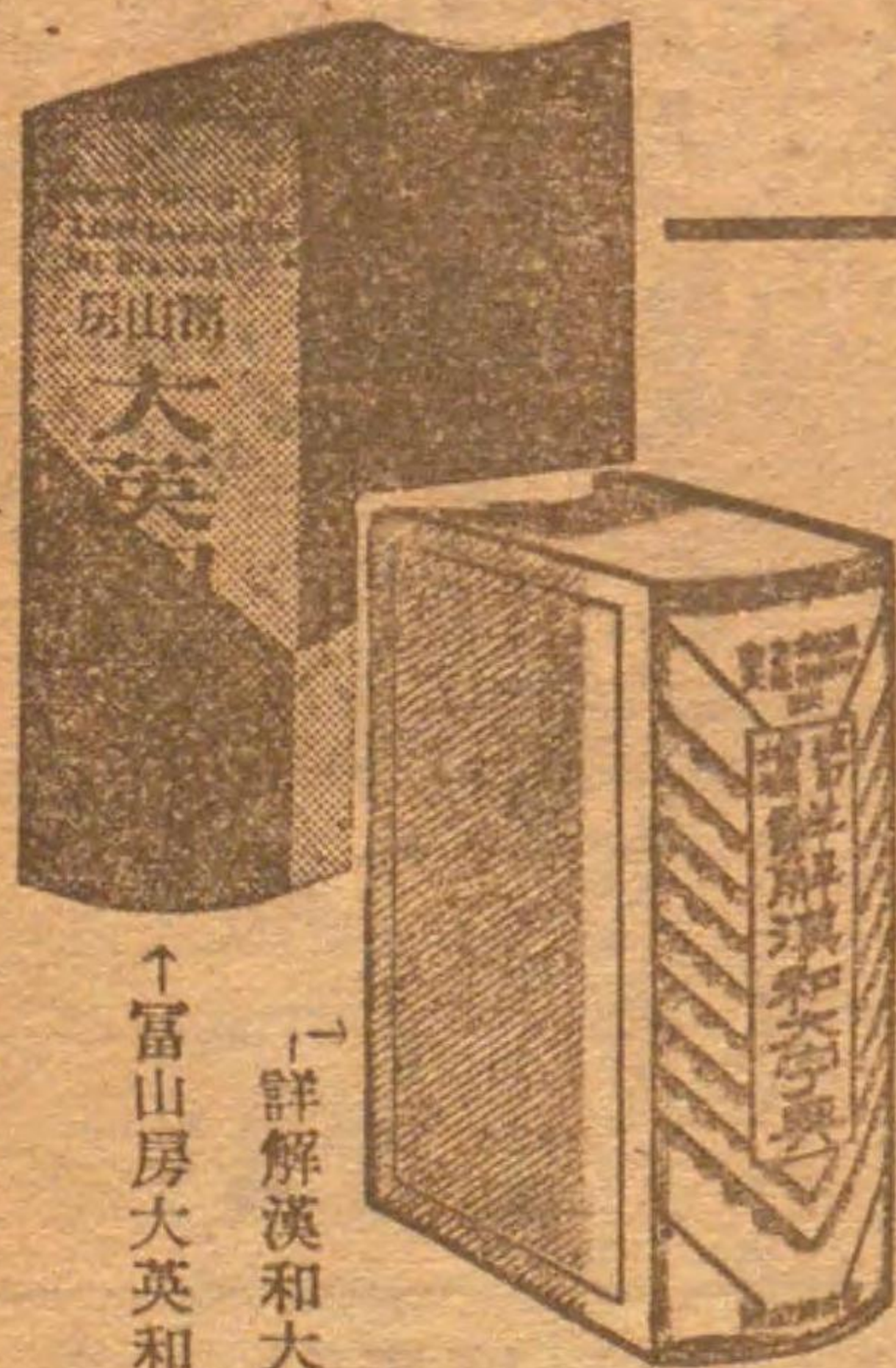


富山房  
振替東京五〇一  
電話神田二一七一番

の辭典出版によつて得た多年の經  
験と研究と、學界・文界・藝界の  
耆宿新銳一千餘家に及ぶ權威者諸  
先生の總智により大成したもの  
で、圖版・組方・用紙・印刷・装  
幀に、我國在來の百科辭典が望ん  
で及ばなかつた新創意、新機軸を  
盛つた萬有知識の無盡藏の寶庫で  
あり、廣範な社會文化のため、自  
由に安易に惜しみなく開かれた一  
大民衆圖書館である。  
特 價 (全十二卷) 六十圓  
各 卷 五圓  
定價(全十二卷)八十四圓・各卷七圓  
送料各卷市内・一二内地・四五領土・七五

東京神田

## 冊一ひせ



↑富山房大英和辭典  
「詳解漢和字典」

全國學校指定辭書  
教育界一致推薦  
服部・小柳兩博士 共著  
「詳解漢和字典」  
特價二圓五十錢  
送料内地・三三  
市河博士・畔柳・飯島 共著  
富山房 大英和辭典  
特價五圓五十錢  
送料内地・四五

## 學生諸君は

素晴しく氣の利いた  
學生型です。  
教室にポケットに!!  
通學の車内に!!  
皆様の辭書として  
ぜひ一冊!!  
特價一圓八十錢  
(定價三圓三十錢)  
送料・二二



縮刷版  
「詳解漢和字典」







東京文理科大學助教問谷力先生序  
陸軍教授理學士宮田正彦先生著

(上卷三版  
下卷三月十五日出來)

內容見本進呈

# 受驗 代數のちから 補習

東京文理科大學助教問谷先生は本書に序して『著者宮田氏は受驗界の新人である。其の内容豊潤・充實、各例題の選擇、新傾向問題の挿入、解法の平明にして嚴密、印刷の鮮明、裝幀の新味等の點に於いて申分なく、確に本書は新時代の受驗書として滿天下の受驗生に薦め得る。』と述べてゐる一事に徴しても本書は受驗界の王座を占むべきものと信ずる。

四六版上下各四〇餘頁

新刊 上下全貳冊  
定價各壹圓五拾錢  
送料各八錢

東京市神田區鍛冶町一丁目四番地  
文盛堂出版部

電話(25)神田四二六一番  
振替口座東京三〇九〇番

## 年鑑

# ソヴェート現勢資料

新刊一九三三四年版發賣

菊版背革函入 定價金五圓  
本文千百餘頁 送料二十二錢  
既刊一九三三二一年版

日本とソヴェート聯邦との關係は、今全世界の深甚なる注視の焦點となつてゐる。それは兩國内においてその危機を叫ばれてゐるやうに遂に戦争の破局に行くか、或は兩國内の大勢を尙決定してゐるやうに、國交の持續と協調の發展に進むか、重大なる十字街に立つてゐる。故に我真正なる對ソ政策樹立の絶對條件をなすものは、之が發動の對象たるソ聯邦の現實を、その内政と對外政策と、その政治、經濟、軍事、思想、文化の全部局にわたつて一切の偏見を去り、正しく且つ鋭く調査把握して全國民に認識せしむることである。本年鑑は日ソ國交が重大化した一九三三年から三四年にかけてのソヴェート事情並に兩國關係の一切の動向が細大洩らさず總決算され、記述されてゐる。

限定出版につき殘部僅  
少至急御申込みを乞ふ

發行所

東京市丸ビル

露西亞通信社出版部

振替東京六一五〇八番



# !! 社究研に典辭語英

岡倉由三郎先生編

## 研究社新英和大辭典

最新・最大・最廉!

大英和名實共に英和の大御所!  
 諸學和名實共に英和の大御所!  
 諸學和名實共に英和の大御所!  
 諸學和名實共に英和の大御所!

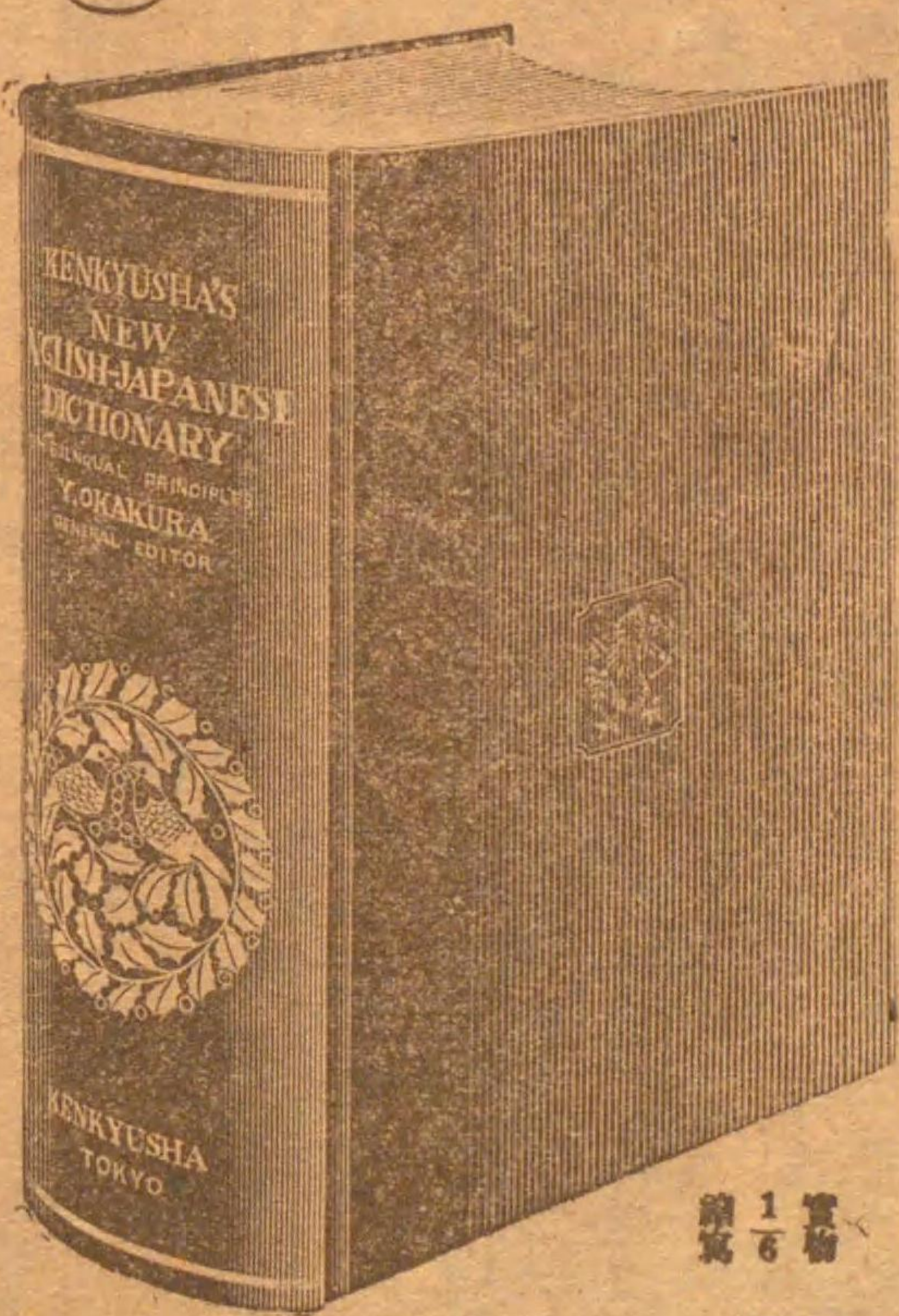
!! 版補增大訂改

價特 (並製) 金五圓 五圓 (郵送) 三圓  
 (特製) 金五圓八十錢

## 研究社新和英大辭典

武信由太郎先生編

四六判二段組 並製特價 金五圓五十錢  
 總二千三百頁 特製正價 金七圓  
 (送料 金三十三錢)



增 新語と米語 七十三頁  
 補 固有名詞辭典 六十二頁

廣二八

# !! トッケポは小架書は大

## 研究社 多一ル英和新辭典

岡倉由三郎先生編  
 四六判二段組・レザ一裝 特價 二・八〇  
 插畫二千・總一・二〇頁 (送料 三三)

## 研究社 多一ル和英新辭典

岡倉由三郎先生編  
 四六判二段組・レザ一裝 特價 三・〇〇  
 學習附錄三〇〇頁總二〇〇頁 (送料 三三)

## 研究社新英和小辭典

市河三喜先生編  
 袖珍判・總革裝 特價 一・二〇  
 三方金・四百頁 (送料 二錢)

## 研究社新和英小辭典

研究社編輯部編  
 袖珍判・總革裝 特價 一・二〇  
 三方金・四百頁 (送料 二錢)

## 僕の英語辭典

岡倉由三郎先生編  
 新四六判・レザ一裝 特價 一・七〇  
 總八百頁美本 (送料 二二)

## 研究社 英和商業經濟辭典

中島藤田先生共編  
 四六判・レザ一裝 特價 三・八〇  
 總千二百二十二頁 (送料 三三)

京東替振 區町麴市京東 目丁一町見士富  
 一〇六八二 社究研

廣二九



# 書叢民國

(一) 新しき修養	(二) 宗教早わかり	(三) 立志より成功への近道	(四) 國民としての常識	(五) 新聞を読む基礎の知識	(六) 經濟學の知識	(七) 日常科學の知識	(八) 偉人の修養	(九) 哲學早わかり	(一〇) 新しき年中行事	(一一) 藝術の善導	(一二) 思想の善導	(一三) 文化生活の基調	(一四) 青年の進むべき道	(一五) 論理學早わかり	(一六) 野球の知識	(一七) 斯の如き人は成功する	(一八) 心理學の知識	(一九) 婦人の進むべき道	(二〇) 理想の家庭	(二一) 教育學の知識	(二二) 倫理學の知識	(二三) 平凡道徳
(二四) 精神修養	(二五) 向上發展の基礎	(二六) 佛陀の福音	(二七) 基督の福音	(二八) 無線電話早わかり	(二九) 無線電話の知識	(三〇) 世界の格言と警句	(三一) 家庭科學の知識	(三二) 普通選舉の知識	(三三) 政黨早わかり	(三四) 音樂の知識	(三五) 貯金の知識	(三六) 公民としての心得	(三七) 成人教育の基礎	(三八) 農村發展の基礎	(三九) 日本地理の知識	(四〇) 全國名所のめぐり	(四一) 萬有科學の知識	(四二) 自然科學の進化	(四三) 科學萬能の世界	(四四) 宇宙の秘密	(四五) 陸軍の知識	(四六) 日本歴史の知識
(四七) 東洋歴史の知識	(四八) 西洋歴史の知識	(四九) 日本歴史の年表	(五〇) 明治大正の事蹟	(五一) 今日の歴史	(五二) 國文學概論	(五三) 國文學史概要	(五四) 國文學史概要	(五五) 實業簿記	(五六) メートル法の知識	(五七) 憲法早わかり	(五八) 法律の知識	(五九) 陪審法早わかり	(六〇) 佛敎入門	(六一) 國文法の知識	(六二) 國文法の要領	(六三) 國語學の知識	(六四) 現代文學の輪廓	(六五) 教育勅語の解説	(六六) 社會問題早わかり	(六七) 金解禁早わかり	(六八) 日本美術の知識	(六九) 劇と映畫の知識

▲文部省認定 ▲茗溪會推薦 ▲文献賞受領

▲常識の源泉 ▲知識の寶庫

新時代國民の要求する學理の通俗化、専門知識の常識化を主眼とせる空前の新企て各家庭必備の國民常識百科辭典！民衆大學講座！！

廣三一

東京市牛込區 文藝社 東京市牛込區 文藝社

# 文藝社好評圖書

文章 春秋 定價 一・二〇	文章 三百六十五日 一・二〇	文章 報國 一・二〇	鷺里 隨筆 一・二〇	警鐘の亂打 一・二〇	鈴蘭の歌へる 一・二〇	若人の胸へ 一・二〇	運命に従ふ者 一・二〇	出版の實際知識 一・八〇	出版法規總覽 三・二〇	世界出版美術史 四・〇〇	出版關係法規 一・五〇	短歌は如何して作るか 一・二〇
新しい詩は如何して作るか 一・二〇	俳句は如何して作るか 一・二〇	川柳の社會觀 一・二〇	俳趣情景 一・二〇	新興詩人選集 一・〇〇	新撰書簡文 一・六〇	口語體書簡文 一・六〇	美文精選 一・六〇	文章組立法 一・六〇	新時代の論文 一・六〇	新しき日記文 一・六〇	釋迦の生涯 一・五〇	基督の一生 一・二〇
日蓮の生涯 定價 一・二〇	大楠公 一・二〇	新田義貞 一・二〇	曾我兄弟 一・二〇	豐臣秀吉 一・三〇	武田信玄 一・二〇	眞田の智謀 一・二〇	赤穂義士 一・二〇	高山彦九郎 一・〇〇	梵鐘・燈籠輯録 和紙和裝 三・〇〇 遠く文武天皇時代よりの梵鐘・鋳口・燈籠・其の他各種の金石物、木製物等を輯録したるもの、神社、寺院、史家、考古學者、學校、圖書館等の參考資料			

廣三〇

東京市牛込區 文藝社 東京市牛込區 文藝社



文學博士 金澤庄三郎編

◇全國各學校御指定辭書◇

# 廣辭林 新訂版

四六判三段組二千頁  
總クローニ裝函入

特價三圓九十錢

(定價四圓八十錢)

廿送四

學習に  
實務に

内容  
見本  
進呈



天地五分五  
右左五分四  
一冊

○本書の七大特色○

- ◇四六判三段組にして見よく引よきこと
- ◇發音的假名遣により檢出が容易なこと
- ◇語源は絶對正確にて學的價值高きこと
- ◇譯語は洗練され説明は平易懇切なこと
- ◇常用語を増し新語辭典をも兼ねたこと
- ◇別漉の最優良紙を用ひ印刷鮮明なこと
- ◇内容の充實にも拘らず價格低廉なこと

東京市神田區神保町一丁目 三省堂 振替東京一三五五番  
大阪市西區阿波座下通 振替大阪八一三番

## 圖書類別目錄

昭和八年 自一月 至十二月

符號

○菊判  
△菊判以上の大型  
×四六判以下の小型

### 〔一〕 皇室

書名	著譯者	定價	形體 頁數	發行所
皇陵圖誌	大阪佐藤郷土地圖研究所	○	三	大阪佐藤郷土地圖研究所 大阪
澄宮殿下齋藤謙藏	齋藤謙藏	非○	三	佐藤ライ 大阪
教育勅語謹解	深作安文	非○	三	法木徳兵衛 日本
勅諭集、勅語集	齋藤市平	二×	三	兵書刊行會 牛込
大日本之國體と御大禮	平澤樂齋	非×	三	平澤樂齋 新宿
教育勅語謹解	小林鷺里	四○	三	文藝社 牛込
御大禮 淡路之誇下卷	片山嘉一郎	五○	四	實業之淡路社 兵庫
〔二〕 月				
良子女王殿下御染筆紙鑑之圖	河口由次	非○	三	箱入掛軸 小石川高等女學校出版部 浅草
日本皇室と我等の宮殿下 皇室御代篇	楠山君平	非○	三	日本皇室會 浅草
袖珍明治天皇御集	酒井英一	一〇〇×	六	國民精神會 振替 神田
昭憲皇太后御歌讀本	木村大四郎	非○	三	木村大四郎 京都
少年北白川宮 能久親王	古谷義徳	三〇〇	三	大同館書店 神田
皇室皇族聖鑑	神田豐穂	三〇〇△	三	聖鑑刊行會 日本
明治天皇御製讀本 御聖徳篇	吉江石之助	二〇〇	三	聖書房 神田
昭和七年度陸軍特別大演習記念 奉迎記録	榎本宗太郎	三〇〇	三	天理教道友社 奈良
同	同	同	同	同
〔四〕 月				
御歴代皇陵誌	吉村長雄	三〇〇×	三	古堂 奈良
宮城寫真帖	大日本國民教育會	非○	三	大日本國民教育會 町

皇室



書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
皇室略歴 昭和七年十二月三十一日調	宮内省圖書寮	〇四〇	四〇	圖書寮 齋野町	明治天皇聖蹟・大坂行幸東京行幸之卷	井上 清純	一五〇	一〇〇	明治天皇聖蹟保存會 齋野町
皇室御撰之研究 別冊	和田英松	三〇〇	一〇四	明治書院 神田	教育勅語繪解	大日本皇道奉踐會	三〇〇	三〇	大日本皇道奉踐會 大阪
同	同	〇一〇〇	一〇〇	同	明治聖德欽仰大歌集	三木祝之助	二五〇	五〇	國民詠進會 神田
【五月】					皇道に就いて	内田 良平	〇三〇	三〇	黒龍會出版部 齋野町
聖徳太子の御事蹟並に十七條憲法に就て	清明會	非〇	〇	清明文庫 大森	天皇の御本質に就て	今泉 定助	〇二〇	二〇	今泉 定助 小石
皇 陵	京都府教育會	〇五〇	〇	京都府教育會 京都	皇道に就いて	石井 秀雄	〇六〇	六〇	高原書店 京都
永 遠 循 行	和野忠次郎	〇七〇	〇	武揚社書店 同	同第七輯 軍事的發展過程と皇室	同	〇三〇	〇三〇	同
皇室皇族聖鑑 大正篇	神田 豊穂	五〇〇	△	聖鑑刊行會 日本橋	同第五輯 政治的發展過程と皇室	同	〇六〇	〇六〇	同
天皇國日本の顯現	瀬尾 素治	〇三〇	〇	平 凡 社 同	展過程と皇室	神田 豊穂	五〇〇	△	聖鑑刊行會 日本橋
東洋平和聖詔集	陸軍省	〇三〇	〇	陸軍省 齋野町	皇室皇族聖鑑 (明治編)	同	〇一五	〇一五	同
靜 寛 院 宮	寺門 咲平	一八〇	〇	院宮刊行會 京都	至上寶典	河合 省鑑	〇三〇	△	四恩奉讚會 埼玉
忠勇列傳滿洲上海事變之部 第二卷	入江 寅次	非〇	〇	忠勇顯彰會 齋野町	參 陵 錄	南野 正一	〇三〇	〇	松 林 堂 京都
御 製 帖	北田井元子	二〇〇	△	書學院後援會 同	懺仁親王行實	高松宮藏版	〇三六	〇	高松宮藏版 東京
【六月】					明治天皇御聖召五	三條比古之	〇四〇	〇	神宮奉贊會 四谷
威仁親王妃慰子殿下を偲び奉つて	武田 勝藏	〇六〇	〇	武田 勝藏 齋野町					
明治天皇御一代御聖徳	青木 横遊	非〇	〇	德 謙 會 川					

珍本出現

ニツケル箔を紙の代用とするニツケル本の出版が最近チエツコスロヴァキアの文化協會應用化學研究所で計畫されてゐる。エヂソンは一九一一年に「コスモポリタン・マガジン」誌上でニツケル本は來世紀を待たずして出版界に革命をもたらすであらうと看破したが、その豫言が近く實現される譯である。

理想的には、一萬分の一センチメートルの薄さのニツケル箔を得るならば普通の印刷紙より安價になり、もちろん紙よりも丈夫で折屈が利くし耐久性にも富む。一冊五センチメートルの部厚の書籍とすると、四萬ペーヂを包含し得て重量は僅に四百六十グラムに過ぎず、然も一ドル半以下の費用で済むといふ。尙好都合なのはニツケルは印刷紙同様にインキの吸収がよいことである。今度のニツケル本は果してどの程度までかは薄くされるか。興味を中心はそこにつながる。

さてニツケル本が世に廣く行はれた時、いざ戦争といふ場合には、政府が書類を徵發して戦具の原料とするに都合がよからうなどといふ意見さへ早くも飛びだして來た。

皇室の御紋章	佐野 恵作	一〇〇	〇	三省 堂 神田
御 詔 勅 集	金子 要人	一〇〇	〇	立 興 社 同
【十月】				
聖上陛下の御盛徳	聖徳欽仰會	二〇〇	〇	聖徳欽仰會 齋野町
明治十一年御巡幸録	田中 唯重	非〇	〇	中野財團 新潟
大日本天皇紀	朝倉 尙綱	三〇〇	〇	大日本皇風會 齋野町
皇 宮	田中 方逸	非△	一〇	大日本皇道奉贊會 齋野町
【十一月】				
有栖川宮家 御由緒 照臨院誌	林 照順	非〇	〇	照 臨 院 京都
崇神天皇の御	太田 眞一	非〇	〇	崇神天皇會 齋野町
聖徳に就いて	渡邊幾次郎	三〇〇	〇	聖徳奉贊會 齋野町
明治、大正、今上	飯田 豊二	二五〇	〇	愛之事業社 齋野町
三 帝 聖 徳 錄				
昭憲皇太后御歌讀本				
【十二月】				
孝明天皇聖徳記	遠藤友四郎	六〇〇	〇	錦旗會本部 牛込
明治天皇行幸年表	井上 清純	一八〇	〇	龍 報 社 本郷



最古の聖書寫本

勿驚百七十萬圓

レニングラードの露國國立博物館に保存されてゐた世界最古の聖書寫本 (Codex Sinaiticus) は勞農政府から大英博物館へ價格十萬ポンド (約百七十萬圓) で賣られ、このほど警官、私服探偵の物々しい警戒のうちに大英博物館に手渡された。右は西曆三四〇年即ち今から千五百九十四年前シナイ山における僧院の修道士がギリシヤ語で書いた稀書でインキの文字がところ／＼消えて肉眼では讀めない部分がいふぶある赤外光線を使へば讀める、専門家の鑑定によると右寫本は今まで全然知られなかつた秘密を藏してゐると考へられるので研究の曉は從來の聖書または世界の歴史は一大改訂を要するかもしれないとのことである。

寫本は約四百ページよりなり大きさは英國の家庭に古くから使はれてゐるものと大差なく、黒インキで書かれたところ／＼赤インキで修補されてゐる、この寫本は十九世紀の初頭シナイ山上僧院の紙屑籠にブチこまれたまま危く捨てられるところをドイツの學者チシエンデルフ氏が發見し、それが轉々して露國帝國博物館の手に渡つたといはれてゐる勞農政府は最初五十萬ポンドでなければ賣らないと頑張つたのを交渉の結果廿萬ポンドにさらに十萬ポンドに値切つたのである。

十萬圓の天平經

◆上段に掲げた世界最古の聖書を大英博物館が大枚十萬ポンド (百七十萬圓) でソヴィエト・ロシアから買取つたといふ話とは桁違ひでだが日本でも十萬圓の古本が買手がなくて轉がつてゐる話がある (もつとも大きい話では四、五年前、西本願寺の三十六人集を一冊一萬圓で分賣したなどといふこともある)。

◆その十萬圓の古本といふのは (天平經) — 天平時代に寫した一切經六百卷で大和の宇陀村のある舊家が持つてゐる、千二百餘年前の本が六百卷完全に揃つて残つてゐるといふのであるから大したものには違ひないが淋しいことに日本の大學でも圖書館でも金持ちでも古いお經の本に十萬圓投出すなど夢にも考へられないことなので残念ながらいまだに手が出せない。

◆千六百年前ギリシヤ文で書いた古い聖書と千二百年前漢文で書いた一切經とその貴重さにおいてどれだけの違ひがあるか貧乏な日本の古本屋ではその僅か十萬圓 (百七十萬圓のバイブルに比べて) の古本一つ賣りこなせないのだからわびしい。

◆やはり古本はなんといつても英國でオークションなどでハムレットの初版本が出たら目をむくような高値を呼ぶといふのはともかくとしてラスキンやテニスやキプリングの初版本に萬金を吝まないといふのは羨ましい限り、ことに近代まれなスタイリストとして名聲の高かつた詩人ロバート・ブリヂスの初版本の相場が定價の數十倍の高値で賣買された。

〔二〕 神書

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
〔二月〕 筆記併用式神社 祭式衣紋調度要解	後藤 正利	非◎	卅	後藤 正利	愛媛 含瀬谷
神社正解 第二補遺	尾島 眞治	吾×	一九	信 賴	含瀬谷
五 鈴 清 音	近藤 正一	非◎	吾	近藤 正一	品川
椿 乃 舍 集	金鑽 宮守	非◎	卅	金鑽 宮守	埼玉 埼玉
教派神道の發生過程	中山 慶一	〇	一五	森山 書店	神田
神の道の根本研究	原 正男	〇	三六	吉田 書店	深川
〔二月〕 神の國日本の啓明	三浦 葦彦	〇	一五	平 凡	日本 橋
神界の經綸と 天行居の出現	友清 歡眞	〇	五七	神道天行居	山口
〔三月〕 祖神乃御教	中川敏之祐	〇	三〇	祖神の御教	奈良 奈良

神書

書

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
參宮之葉	葛生仁三郎	非×	卅	奉仕會	神 神
香取神宮小史	香取神宮社	×	卅	香取神宮社	千葉 千葉
紀要別冊三十卷	明治聖德	〇	卅	明治聖德	神 神
琉球神道記	記念學會	〇	卅	記念學會	神 神
皇陵巡拜案内記	江崎 政忠	非〇	三三	皇陵巡拜會	大阪 大阪
鹿島神宮誌	岡 泰雄	〇	四六	鹿島神宮社	茨城 茨城
〔四月〕 神典 附夜見 第七	玉井孝三郎	非◎	吾	玉井孝三郎	神 神
祝詞宣命新釋	御巫 清男	〇	四六	右文書院	本郷 本郷
大日本神社誌	波多腰與一	△	一八	大日本神社	本郷 本郷
金刀比羅宮ニ	井上 功	〇	一〇	井上 功	琴平 琴平
於ケル宸翰	井上 功	〇	一〇	井上 功	琴平 琴平
六國史神祇索引	神宮皇學館	非◎	五九	神宮皇學館	神 神
〔五月〕 我が民族生命の本質	遠藤友四郎	〇	三〇	錦旗會本部	牛込 牛込
日々拜神祝詞撮要	新井 由郎	〇	四〇	白井書店	神田 神田
天津祝詞	高島 康明	非〇	三〇	世界大祖國	小石 小石
祝詞之出典と其義	高島 康明	非〇	三〇	世界大祖國	小石 小石
增惟神の出新解	山本 信哉	非△	四〇	廣野三郎	豊島 豊島

五



書名	著譯者	定價	頁形體 數	發行所	書名	著譯者	定價	頁形體 數	發行所
海外の神社	小笠原省三	非〇四	四	神道評論社 東京橋	神道學概論	溝口 駒造	三〇〇	三	會通社 小石川
多賀神社史	多賀神社社務所	〇一三	三	多賀神社社務所 滋賀	神宮司廳	神宮司廳	一〇〇	一	神宮司廳 京都
神威護國論	高鍋 日統	二〇〇	二〇	國民明治會 神戸	神道講話	金澤 第二中學校	非〇〇	〇	金澤第二中學校 石川
神社問題の再検討	加藤 玄智	二〇〇	二〇	雄山閣 麹町	神道聖典 第二輯	山本 齊三	非〇〇	〇	山本齊三 三重
皇國祭祀の本源及祝祭日の本義	三條比古之	〇〇	〇	神寶奉贊會 四谷	神代御系圖大觀	高橋 庄治	一〇〇	一〇	改造社 芝
大祓詞講義	河合 裕俊	〇〇	〇	空眞社 宮崎	神社讀本	曾根 朝起	〇〇	〇	平凡社 日本橋
七福神と人生	渡邊 龍聖	非〇〇	〇	渡邊龍聖 豊島	敦賀郡神社誌	石井 左近	非〇〇	〇	福井縣神職會 福井
惟神教々憲	水戸部 常次	非〇〇	〇	忠文館書店 大阪	神祇古正傳 第一卷	石井 廣夫	〇〇	〇	建設社 牛込
趣味の神様の新研究	秋田 足穂	〇〇	〇	忠文館書店 大阪	神理指針	河合 太三郎	非〇〇	〇	神理修道會 川崎
星座神話	野尻 抱影	〇〇	〇	研究社 麹町	神理指針	古川 日海	〇〇	〇	神宮司廳 京都
かむながらの神道の研究	田中 義能	一〇〇	一〇	日本學術會 神田	神理指針	山口又兵衛	非〇〇	〇	神宮司廳 京都
榛名神社々記	小山 守輔	〇〇	〇	青木堂 群馬	神理指針	山口又兵衛	非〇〇	〇	神宮司廳 京都
北豊島郡神社誌	北豊島會	非〇〇	〇	青木堂 群馬	神理指針	山口又兵衛	非〇〇	〇	神宮司廳 京都

シヨウの新著

バーナード・シヨウ翁の最近の著作「神を求むるある黒人娘の冒険」は翁が五週間アフリカ滞在中に書きあげた小篇で、キリスト教に歸依したあるアフリカ土人の娘が森林内をさまよつて神を発見することに努めたが、何處にも満足な神はなく、最後に一人の老哲學者から「私達は神の目的を達成して自分自身が神になるまでは神の全貌を見ることができない。またそれでよいのだ。私の田園を一緒に耕して、それ以上は神にまかせなさい」とをしへられ、老哲學者の助手と結婚して子を産み、それを愛育するといふ筋である。これに對してオヴザーヴァー誌は「シヨウ翁の著作中恐らく最も重要なものだ」と推稱し、ブリチツシュ・ウィークリー誌のハットン博士は「シヨウ氏の盲目はカウモリにひとしい。その地位と名望を以てしてこんな本を書くために時間を浪費しようとは」と慨歎してゐる

【十二月】

皇政の根本	伊勢大神	四宮憲章	〇〇	七	皇明會 豊島
百神遷宮記	木野戸勝隆	非〇〇	〇	三	大岡山書店 麻布
神宮遷宮記	神宮司廳	〇〇	〇	三	表現社 京都
録繪卷物解説			〇	三	表現社 京都



百億弗の量

ルーズヴェルト大統領の百億ドル豫算案がはしなくもアメリカの統計家をしてこんな勘定をさせた。

◇若し銀貨なら……これを積み重ねると延長一七、五〇〇哩の高さとなり、その重さ二九四、一一七噸となる。

これを全米國民に分配するとすれば一人當り五封度の地銀を貰へることとなり、これだけ全部の銀貨を運搬するためには積載量十封度の荷車一萬六百三十一臺を必要とする。

◇若し紙幣なら……これをつなぎ合せるとその延長は地球から月までの距離の約四倍となる。これだけの紙幣があれば紐育から桑港まで三、三八四哩の間、平均三十呎の幅の一大街道をすつかり埋めつくすことが出来る。

〔三〕 宗教

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所			
愚禿親鸞	木村善之	一〇〇〇	三五	森江書店本郷	雪の夜の法話	曉鳥敏	二〇〇	香草舎石川
淨土眞宗開祖	廣住祐哲	〇〇〇	〇〇	兵林堂書店福山	信の花	關山光次郎	二〇〇	法喜社名古屋
親鸞聖人年譜	一宮政吉	〇〇〇	〇〇	ホーリネス出版部淀橋	パウロ傳引照	松永徳次郎	二五〇	一粒社愛知
祈禱の萬能力	落田健二	二〇〇	二四	教會出版部	佛教大綱	村上專精	二〇〇	三三金尾文淵堂神田
我に從へ	尾島眞治	〇五〇	〇〇	日本傳道隊兵庫	宗教行政法要論	新田邦達	二〇〇	三三敬文堂書店牛込
基督案内	藤原大和	非〇	〇〇	聖書學舎兵庫	壬申日記	櫻井重雄	一〇〇	五〇櫻井重雄京都
地上天國の建設	渡部一馬	二〇〇	〇〇	富の輪仁思兵庫	聖書より見たる日本	中田重治	〇五〇	一四一東洋宣教會ホ
クリスチャン神の唯物論證のため法の解釋	神奈川縣大和講本部	〇〇〇	〇〇	基督教と社會神奈川	新約聖書に現はれたる神の國	熊谷政喜	〇五〇	二六二教育出版部
詠歌和讃要集	岡田徹玄	〇〇〇	〇〇	問題研究會川	日本宗敎史	土屋詮教	六〇〇	〇〇敬文堂書店牛込
各宗讚佛歌集	高松孝治	〇〇〇	〇〇	大和講本部同	日本國民と基督敎	海老名彈正	二〇〇	〇〇北文館津橋
教會の教育機關	出版社	〇〇〇	〇〇	小島源五郎店山形	日蓮聖人御遺分講義第四卷	鹽田義遜	〇五〇	〇〇龍吟社赤坂
科學全盛時代の神	高松孝治	〇五〇	〇〇	基督教出版社神田	日本佛敎々學史	島地大等	三〇〇	〇〇明治書院神田
				聖公會出版社麻布	十字架の十字架性	麻生隆義譯	〇四〇	〇〇三長崎書店牛込
					國語法華三部經全	野澤大愚	〇五〇	〇〇六七文化協會芝
					信仰雜話	出口日出磨	一〇〇	〇〇二天聲社京都



書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
國譯秘密儀軌	高井觀海	非	〇	二五	佛敎珍籍行深川	眞宗相承の系譜	梅原眞隆	〇	〇	〇	顯眞學苑
宗教體驗實話 第二輯	宇宙社	〇	〇	三五	宇宙社	基督との合一	御牧碩太郎	〇	〇	〇	日本傳道隊
支那回教文獻の解説	佐久間	〇	〇	三〇	東亞研究會	蓮如上人御一代記	大家隆雄	〇	〇	〇	聖書學會
社會的基督教	大井蝶五郎	〇	〇	〇	聖座建設社	藥師如來勤行儀	秦光享	〇	〇	〇	大家隆雄
社會變革途上の新興佛敎	妹尾義郎	〇	〇	〇	佛旗社	說教集	梅木兵藏	〇	〇	〇	長崎カトリック報社
我がガラテヤ書	原田美實	〇	〇	〇	一粒社	私の信念	高橋常雄	〇	〇	〇	長崎カトリック報社
イエスの生活原理	帆足理一郎	〇	〇	〇	新生堂	無碍道	北畠治夫	〇	〇	〇	顯眞學苑
本化祈禱妙典	鷲谷日賢	〇	〇	〇	雲閣	靈音之響	天志會	〇	〇	〇	顯眞學苑
佛敎思想 佛敎神話	小野玄妙	〇	〇	〇	大東出版社	日蓮信徒信仰常識	河原智岐	〇	〇	〇	天理教同志會
大系三四 所觀音順禮	菊地紫水	〇	〇	〇	菊地紫水	明惠上人夢之記	奧田正造	〇	〇	〇	河原智岐
日蓮聖人御遺文講義第七卷	鈴木一成	〇	〇	〇	龍吟社	宗敎其他	高道正信	〇	〇	〇	河原智岐
觀音經	松本善助	〇	〇	〇	松本善助	人生淨化の要道	高橋竹迷	〇	〇	〇	淨土之建設社
造化三神考	石田正五	〇	〇	〇	石田正吾	立敎學院宗敎運動の過去及現在	前島潔	〇	〇	〇	聖公會出版社
正しき信仰に	宇惠勢太夫	〇	〇	〇	神道敎會本部	西國、阪東、秩父、十三所御詠歌集	島鮮堂	〇	〇	〇	聖公會出版社
大磬若理趣分	服部如實	〇	〇	〇	藤井佐兵衛	眞宗勤行聖典	松下觀雅	〇	〇	〇	法蘭社
轉讀加持法	梁瀬齊聖	〇	〇	〇	眞念佛部						

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
大齋節	大野敏之	〇	〇	〇	諸魂會	イエスの垂訓	村尾昇一	〇	〇	〇	叢書刊行會
朝夕法華經勤行式	長江日徳	〇	〇	〇	明經社	亡國本門佛立講	龍池令宣	〇	〇	〇	龍池令宣
聖典(一部拔萃)	山口眞一	非	〇	〇	鐘紡人會	選擇本願念佛集	土川勸學	〇	〇	〇	土川勸學
大衆經批判	横地祥原	〇	〇	〇	婦人會	普勸坐禪儀一葦草	飯田權隱	〇	〇	〇	宗學興隆會
定數異鈔	曉鳥敏	〇	〇	〇	香草社	抄尾張國大谷	廣瀬大船	〇	〇	〇	少林窟道場
聖書の敎理(小兒敎課)	末世之福音社	〇	〇	〇	末世之福音社	罪	稻垣陽一郎	〇	〇	〇	名古屋敎務所
改正正信偈	木村雅亮	〇	〇	〇	超勝寺	大正大藏經圖像	木村省吾	〇	〇	〇	大藏出版
改謚正信偈和讃行草	西野秋助	〇	〇	〇	渡邊書店	現代新約聖書詳解全書第四卷	千葉勇五郎	〇	〇	〇	現代新約聖書詳解全書
佛敎の本質と其價值	本多日生	〇	〇	〇	正信會	新しき神の世界	金澤常雄	〇	〇	〇	向山堂書店
正信念佛講演集	梁瀬齊聖	〇	〇	〇	正信會	國譯聖 東密部	菊地雄一	〇	〇	〇	佛敎珍書
眞宗佛光寺派	澤田友五郎	〇	〇	〇	法文館	國譯一切經經集部二	伊豆宥法	〇	〇	〇	佛敎珍書
在家勤行寶典	梅原眞隆	〇	〇	〇	一生堂書店	同 瑜伽部八	岩野眞雄	〇	〇	〇	大東出版社
女性群像	梅原眞隆	〇	〇	〇	一生堂書店	同	同	〇	〇	〇	大東出版社
母性の種々相	足利淨圓	〇	〇	〇	足利淨圓	主 イエス	八代斌助	〇	〇	〇	聖公會出版部
眞理の研究	平瀬春吉	〇	〇	〇	平瀬春吉	新時代の信仰	長谷川行生	〇	〇	〇	實業之日本社
福音之可と否	福音ルテ	〇	〇	〇	福音ルテ	大乘院寺社雜記事記	辻善之助	〇	〇	〇	三敎書院
改宗者の手記	吉田李谷	〇	〇	〇	吉田李谷	時宗宗典 第二卷	鎌田良傳	〇	〇	〇	平凡社
傳道方針の再吟味	海老澤亮	〇	〇	〇	海老澤亮						



書名	著譯者	定價	頁數	發行所
宗教的反省	山邊 習學	一〇〇〇	三〇〇	大雄閣
日本社寺大觀神社篇	藤本弘三郎	五〇〇	△八〇〇	日出新聞社
日蓮上人御遺文	井上 惠宏	〇	〇	龍吟社
講義第十八卷	河地 昇	一〇〇〇	〇	基督教思想叢書刊行會
基督教の根本問題	ヘレン・ケラー	一〇〇〇	〇	東京新教會出版部
我 宗 教	土居 米造	一〇〇〇	〇	出版部
惡徒より神の使へ	佐藤源三郎	一〇〇〇	〇	ホーリネス教會
聖書の世界觀	黒崎 幸吉	二〇〇	〇	一粒社
改譜 正信偈和讃	永田文昌堂	×	〇	永田文昌堂
通釋心道聖義	永杜 鷹一	一〇〇〇	×	五聖閣出版局
カトリック的社會觀	ヨハンネス ラウレス	三〇〇	〇	上智大學
秘事法門の研究	大原 性實	五〇〇	〇	顯眞學苑
坊 守 教 本	朝倉 慶友	四〇〇	〇	法藏館
三願轉入の大意	本城 徹心	一〇〇〇	〇	福井信徳舎
基督者の信仰	矢内原忠雄	一〇〇〇	〇	こひつじ社
いのちの泉	推尾 辨匡	三〇〇	×	共生會出版部
蓮如上人御祥月説教	濱口 惠璋	三〇〇	〇	興教書院
信仰と人生	中里 介山	五〇〇	〇	隣人之友社
私の觀た佛教	村瀬 隆藏	五〇〇	〇	白帝書房
浄土高僧和讃講話	服部 恭壽	五〇〇	〇	よるこび舎
往生禮讃偈	本願寺 奉仕局	×	〇	本願寺奉仕局
他力眞實の信心	住田 智見	一〇〇〇	〇	丁字屋書店
御凌御文法話	爲 法館	五〇〇	〇	爲 法館
慈光のあと	福島 政雄	五〇〇	〇	渾 池 社
社會的の中心と	山崎 精華	〇	〇	本派本願寺
曉の待望	小島 伊助	二〇〇	〇	日本傳道隊
聖母の潔き聖心	エム・シエ ルド・ン	四〇〇	〇	聖書學舎
イ エ ス 傳	今井新太郎	一〇〇〇	〇	三光出版社
宗教大觀 一四	南 茂	一〇〇〇	〇	北陸之教壇社
舊約聖書講解	柴田甚五郎	一五〇〇	〇	讀賣新聞社
現代布 佛凡一體	西村七兵衛	一〇〇〇	〇	ホーリネス教會出版部
基督教倫理序説	オースティン	一〇〇〇	〇	教會出版部
	鶴山第三郎	一〇〇〇	〇	法藏館

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
國寶錢春莊 阿彌陀 如來之研究	八橋植次郎	一〇〇〇	〇	岡 書 院
西山全書 觀經秘訣集	田中源太郎	四〇〇	〇	文榮堂書店
舊約史 要(中)	浦川和三郎	六〇〇	〇	天主堂
北野元峰禪師 說法集	細川 道契	四〇〇	〇	永平寺出張所
大正新修大藏經 圖像第六卷	木村 省吾	非	△	大藏出版會社
昭和眞宗七祖聖教 校訂	可西 大秀	一六〇〇	〇	破塵閣
亡身本尊論	澁谷 文美	一六〇〇	〇	立正大學
鳴沙餘韻解説	矢吹 慶輝	一六〇〇	〇	出版部
正信偈講話	柏原 祐義	一三〇〇	〇	岩波書店
聲 明 集	近藤 亮成	五册	〇	法藏館
提 婆 達 多	中 勘助	一八〇〇	〇	奉仕局
一訓佛陀のをしへ	小瀧 淳	二〇〇〇	〇	岩波書店
國譯一切經集部三	岩野 眞雄	三〇〇〇	〇	雄山閣
同 律部二十	同	三〇〇〇	〇	大東出版社
和 睦	朴 吹濤	〇	〇	同
本 化 の 信	田中 智學	〇	〇	萬國聖書會
日蓮聖人御遺文 講義第十四卷	渡邊 泰道	〇	〇	天業民報社
		〇	〇	龍吟社
天台四教儀並集註	龍谷大學 深浦正文	三〇〇	〇	龍谷大學
國譯本草綱目 第十四册	鈴木 眞海	非	〇	春 陽 堂
宗學小論 攻	足利 宣正	〇	〇	石井喜太郎
日本文化と佛教	清明 會	非	〇	石井喜太郎
念佛の信心要文集	梁瀨 齊聖	非	〇	石井喜太郎
奥義なる教會	御牧 守一	一五〇〇	〇	日本傳道隊
改譜正信偈和讃	阿部 珀琳	〇	〇	日本傳道隊
浄土和讃	同	〇	〇	日本傳道隊
高僧和讃	同	〇	〇	日本傳道隊
正像末和讃	同	〇	〇	日本傳道隊
正信念佛偈	同	〇	〇	日本傳道隊
新約と舊約の意義	小寺 徳	二〇〇	〇	松村九兵衛
法 喜 集	松村九兵衛	非	〇	松村九兵衛
散 華 樂	玉置 鎔晃	五〇〇	〇	顯眞學苑
英和マルコ福音書 對照	米國聖書協會	〇	〇	米國聖書協會
眞の明朗	右衛門 利	三〇〇	〇	工業教育會



書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
子供の舊約物語	浦川和三郎	二〇	二〇	カトリック	樂之私録	今村義平	非〇	一七	近八書房
天使中校ケート	山室軍平	六〇	三六	救世軍出版部	阿彌陀經解説	西島研英	三〇	三〇	丁字屋書店
鏡	三浦一郎	非〇	四	心王教學園	よるこびの發見と	竹内浦次	三〇	三〇	壺修養園
シンシユウゴン	蜂屋賢喜代	非〇	二六	成同社	創造境遇の王者	愛樂輪	非〇	三〇	充愛樂輪
懺謝躍動の風光	藤井巖	三〇	一五	近江求道會	通眞宗要義	岩澤敬全	六〇	二五	岩澤敬全
妙行正軌	田中邑之助	三〇	一五	師子王文庫	録水流通	曉鳥敏一	一〇〇	三三	顯眞學苑
久遠への仰愁	迎田俊雄	三〇	二四	和光社	宿業の超越	小谷徳水	三〇	二二	顯眞學苑
勝如上人傳	永田宗太郎	〇	〇	永田文昌堂	佛青組織論	小林是恭	〇	三三	大森閣
ヘブル書講解説教	平松實馬	三〇	一〇	一粒社	日蓮聖人遺文	J.W. ジュ	六〇	一七	後の雨社
道華集	原田祖岳	三〇	一〇	正信同愛會	集講義第五卷	田中義能	一〇〇	二七	日本學術會
ブラジル在住同胞の教育と宗教	小笠原省三	非〇	一〇	神道評論社	聖書に何と言へるか	華房義温	〇	六二	大谷派宗務所
毘沙門天禮法次第	小原孝澄	〇	〇	六大院佛性寺	大谷派達令類纂	和合恒男	〇	一〇〇	瑞穂精舎
アミーバより	松井謙吉	〇	〇	興教書院	日本民族の生活信仰	稲田龍省	〇	二五	興教書院
在家勤行集	永田文昌堂	〇	〇	永田文昌堂	青年と信仰	藤原曉三	三〇	三三	少年禁酒軍
日蓮宗勤行式	泰久社	〇	〇	泰久社	佛教と酒	松井了穂	三〇	二七	顯眞學苑
我國に於ける基督教に對する説教	松原英一	三〇	六	教文館	宗教心の社會的起源	外高橋一男	三〇	四七	顯眞學苑

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
佛敎思想佛敎倫理學	宇井伯壽	〇	四八	大東出版社	廻向之義講話	舜臺遺稿	八〇	一七	近八書房
宗敎革命讀本	口田康信	三〇	二四	東方書院	孝子聖徳太子	曉鳥敏一	三〇	三三	アタナシオ會
本大乘起信論	龍谷大學	三〇	三	龍谷大學	牛津運動と其指導者	稲垣陽一郎	六〇	二二	アタナシオ會
基督教會の起	江村寛一	三〇	三三	新生堂	新興佛敎と	佛旗社	三〇	三〇	佛旗社
國譯一切經論集部七	岩野眞雄	〇	二五	大東出版社	はどんな佛敎か?	米國聖書協會	〇	五	米國聖書協會
同	同	〇	三三	同	福祭日の説教集	梅木兵藏	〇	二	長崎カトリック
改革主義の信仰	鈴木傳助	一四〇	二四	長崎書店	祈禱と默想	鈴木二郎	六〇	一〇	一粒社
安慧造唯識	寺本婉雅	六〇〇	四〇	聖典語學會	冠註關策進	飯塚哲英	三〇	三〇	中央佛敎社
佛敎概論	江靜鴨村	一五〇	三三	大雄閣	和譯禪關策進	上田經藏	三〇	三〇	鐵道修養會
御指圖	瀧川幸一郎	非〇	一六	瀧川幸一郎	大欲生活と佛敎	田名綱甲藏	三〇	一〇	神靈會
利末記註釋	近藤良薫	一〇〇	一五	傳文社	今日の福音	龍谷大學	六〇	一〇	龍谷大學
蠶神考	村島渚	六〇	一四	明文堂	構本正信偈釋	富永徳磨	三〇	一〇	天新堂
日蓮聖人御遺文講義第二卷	石川海典	〇	四〇	龍吟社	聖書を讀む前に	徳永道崇	六〇	二四	洗心書房
【六月】					正信念佛偈講話	境野黄洋	三〇	一〇	中央佛敎社
忘恩物語	渡邊龍聖	三〇	三	南光社	十七憲法講話	米國聖書協會	〇	一〇	米國聖書協會
龍靈瑞和尚語錄	岩山眞定	非〇	〇	語録刊行會	英和ルカ傳福音書	ルペトロ・マ	三〇	四三	カトリック
道を求めて	朝日融溪	三〇	二〇	顯眞學苑	對照ルカ傳福音書	クレドー我は信ず	三〇	四三	カトリック



書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
舊約聖書綱目	黒田 惟信	一・五〇	二四〇	一	一粒社 大阪
宗教的神秘主義	増谷 文雄	一・六〇	一〇〇	一	森山書店 神田
ロシア宗教社會史	佐木 秋夫	一・〇〇	三〇〇	一	同
山上の基督	スタンレー ジョーンズ	一・五〇	一〇〇	一	教文館出版部 京都
慎上法話	磯村 野風	二・〇〇	四〇〇	一	日蓮宗名著會 芝
改訂法華經行者日蓮	姉崎 正治	五・〇〇	三〇〇	一	博文館 日本
新約の聖潔	トマス・クック 大江邦治	一・二〇	二五〇	一	基督教會社 京都
禪の眞理	笹岡 清泉	一・五〇	三〇〇	一	近代文藝社 大阪
大國聖日蓮上人	田中 智學	一・二〇	三〇〇	一	春秋社 日本
初期之本願寺	上原芳太郎	二・〇〇	三〇〇	一	眞宗學研究所 京都
佛教徒は貴し	渡邊 浩堂	一・〇〇	一〇〇	一	名張聖書社 三重
新修大藏經圖像第五卷	木村 省吾	非	△七〇	一	株式會社 本郷
佛教思想大系第十七卷 法然上人の思想と宗教	前田 聽瑞	四・〇〇	四〇〇	一	大東出版社 芝
黒衣之聖者	山田 文昭	〇	一〇〇	一	信道會館 屋名古
神に憬動する心	小野寺林藏	一・五〇	三〇〇	一	長崎書店 牛込
國譯部一切三經	岩野 眞雄	〇	四六六	一	大東出版社 芝

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
法華經要品並本	本多 日生	三・〇〇	二六〇	一	統一閣 小石
日本人の基督教	塚本 虎二	三・〇〇	二六〇	一	獨立堂書房 淀橋
妙法蓮華經要品	田中 謙周	〇	×	一	日蓮宗布芝
改訂正訓點	淺野伊勢吉	〇	一	一	教助成會 芝
般若理趣經普門品入	花澤 秀夫	〇	一	一	淺野伊勢吉 徳島
上行菩薩和讃	大谷 大學	非	〇一八	一	白雲洞 愛媛
唯信鈔文意講要	同	同	〇一三	一	同
佛說阿彌陀經講義抄	同	同	〇一三	一	同
御文摘	日下 無倫	一・五〇	〇一〇	一	法藏館 同
三大秘法概説	山川 智應	一・五〇	〇一〇	一	信人社 日本
神聖なる黙示	永井 直治	一・五〇	〇一〇	一	株式會社 淀橋
勝因勝行段	青森 徳英	一・五〇	〇一〇	一	株式會社 福岡
思想對策と眞宗	武内 了温	〇	〇	一	大谷派宗務所 京都
光明への道	小山田士郎	〇	〇	一	僕會出版部 世田
阿毘達磨俱舍論	大谷 大學	非	〇一八	一	安居事務所 京都
世間品抄解上下	賀川 豊彦	一・八〇	〇三〇	一	警醒社 京都
主義の勃興	鎌田 研一	一・八〇	〇三〇	一	同
大和民族の使命	青木 茂三	一・九〇	〇三〇	一	同
神祕と信仰	杉田英一郎	二・五〇	〇五八	一	同
ニューマン宗教體系	同	〇	〇	一	同







書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
日本佛教繪第一冊	内藤藤一郎	二〇〇	〇	〇	古代文化會社
順禮記行誌	富永 勇	非〇	〇	〇	富永 勇
本願の佛地	曾我 量深	一〇〇	〇	〇	大東出版社
日本社寺大觀寺院篇	鈴木弘三郎	五〇〇	〇	〇	日出新聞社
我を救へる教祖	高橋 正雄	一〇〇	〇	〇	篠山書房
マカベ前後書註解	守屋 與雄	六〇	〇	〇	カトリック思想研究所
おたすけ實要第五輯	上川米太郎	〇	〇	〇	天理學研究所
十二禮講話	大原 性實	五〇	〇	〇	顯眞學苑
金光教大要	小林 鎮	〇	〇	〇	金光教本部
修道者の心得	浦川和二郎	〇	〇	〇	天理學研究所
大傳道者ム	石井越次郎	〇	〇	〇	鐵道ミツシヨ出版所
日蓮聖人繪傳詞書	田中 謙周	〇	〇	〇	日蓮宗會
澤田教正五講錄	水野 泰三	非〇	〇	〇	水野泰三
躍進の人々	中澤 準人	〇	〇	〇	天理教々所
大聖釋迦に歸れ	近藤 隆晃	三〇〇	〇	〇	善光寺の新一研究
新約觀音靈驗記	若麻緒信契	〇	〇	〇	新約觀音靈驗記
神に導るゝ秘訣	峰岸大周海	一〇〇	〇	〇	一粒社
現代日本と基督教	塚本 虎二	三〇〇	〇	〇	一粒社
トマスの懷疑	金澤 常雄	二〇〇	〇	〇	一粒社
祈禱の精神	苑原 八郎	六〇	〇	〇	青森 德英
親鸞聖人御傳鈔	青森 德英	三〇〇	〇	〇	神學研究會
親鸞聖人の宗教	神學研究會	五〇	〇	〇	秋山 不二
天理教の研究	秋山 不二	二〇〇	〇	〇	田中 義能
日蓮聖人御遺教	田中 義能	〇	〇	〇	石川 海典
教祖さま	石川 海典	〇	〇	〇	青木 茂
百萬塔陀羅尼考證	青木 茂	〇	〇	〇	秀市 慶輝
思想の動向と佛教	秀市 慶輝	〇	〇	〇	矢吹 秀市
世界のキリスト教徒に與ふ	野依 秀市	〇	〇	〇	野依 秀市

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
國體と基督教	山田 益	〇	〇	〇	基督教會
テロテスタム	岸 千	〇	〇	〇	新 生
眞理を語る説話	江部 鴨村	一〇〇	〇	〇	石丸 梧平
子供の爲めの基督教	高瀬 嘉男	一〇〇	〇	〇	新 生
我が宗教觀	下村孝太郎	一〇〇	〇	〇	北 文
眞言宗全書	和 田 性海	非〇	〇	〇	全書刊行會
密宗要訣	岩野 眞雄	〇	〇	〇	大東出版社
國譯一切經論集第三	同	〇	〇	〇	同
毗曇部十六	同	〇	〇	〇	同
おたすけ實要第六輯	上川米太郎	〇	〇	〇	同
ルツターの根本思想	佐藤 繁彦	〇	〇	〇	天理學研究所
安慧造唯識三十論疏	寺本 婉雅	〇	〇	〇	原町文庫
全譯基督教の本質	フオイエ	〇	〇	〇	ルツタ
日蓮聖人御遺文	木暮 浪夫	〇	〇	〇	聖典語學會
講義第十七卷	鹽田 義遜	〇	〇	〇	南天堂出版部
國譯聖教大系	塚本 賢曉	非〇	〇	〇	龍 吟
東密部第四卷	高井 觀海	〇	〇	〇	佛 教
國譯秘法	外 三	〇	〇	〇	刊 行
諸經部	伊豆 碧山	〇	〇	〇	同
續圖像部第四輯	同	〇	〇	〇	同
圖像大衆成第四輯	同	〇	〇	〇	同
本化開導法	田中 智學	〇	〇	〇	同
瀧谷寺道雅	山田 秋甫	非〇	〇	〇	同
歎異鈔二十講	大山 俊健	二〇〇	〇	〇	同
新約聖書新譯と解釋	山谷 省吾	二〇〇	〇	〇	同
【十一月】	安谷 量衡	五〇	〇	〇	同
宗教とは？	山口 正則	二〇	〇	〇	同
非常時の日蓮聖人	大野 敏之	〇	〇	〇	同
使徒 信經	葛卷 星淵	〇	〇	〇	同
信仰詩集いさゝばし	玉置 賴晃	〇	〇	〇	同
聖徳太子憲章講讚	光 靜枝	〇	〇	〇	同
何故祈るか	間山 秀磨	〇	〇	〇	同
實際の基督教大節	前田 慧雲	〇	〇	〇	同
指導の教育	遠藤 浩三	〇	〇	〇	同
十方三世觀	安藤 國重	〇	〇	〇	同
信仰の船出	曉鳥 敏	〇	〇	〇	同
神佛爭計誌上	中山 文化	〇	〇	〇	同
聖徳太子の淨土觀	中山 文化	〇	〇	〇	同
釋尊の教	中山 文化	〇	〇	〇	同
大乗佛敎	大乗佛敎	〇	〇	〇	同
研究會	研究會	〇	〇	〇	同
公友新報社	公友新報社	〇	〇	〇	同
山喜房佛書林	山喜房佛書林	〇	〇	〇	同
向山堂書店	向山堂書店	〇	〇	〇	同
黒門書店	黒門書店	〇	〇	〇	同
福音舎書店	福音舎書店	〇	〇	〇	同
中山文化	中山文化	〇	〇	〇	同
日本學	日本學	〇	〇	〇	同
龍 吟	龍 吟	〇	〇	〇	同
金光教徒社	金光教徒社	〇	〇	〇	同
西村九郎右衛門	西村九郎右衛門	〇	〇	〇	同
門 雄	門 雄	〇	〇	〇	同
大 雄	大 雄	〇	〇	〇	同
秀 文	秀 文	〇	〇	〇	同
關 芝	關 芝	〇	〇	〇	同



書名	著譯者	定價	頁數	發行所
悦びに満つる生涯	岸田 軒造	七〇	二四〇	修養園代理部 鎌谷
精神修養道を求めて	蓮沼 門三	五〇	三四〇	忠文館 大阪
マリヤへのお告げ	ポール・ク 長谷川善雄	五〇	三五〇	立命館 京都
稿渥美勝日本之生命	渥美 勝	五〇	三五〇	稿渥美勝遺稿出版所 芝
往生浄土論註概説全	千葉 良導	六〇	一六〇	近江屋書店 京都
現代人の佛教概論	友松 圓諦	六〇	一五〇	第一書房 麹町
法華經大意	布施 日健	一〇〇	一四〇	忠文館 大阪
觀音經和談圖繪	中川 日史	六〇	一八〇	同 同
報恩鈔	磯村 野風	一〇〇	一六〇	同 同
日蓮をめぐる人々	岩野 眞雄	一〇〇	一六〇	同 同
國譯一切經、毗曇部	別所梅之助	一〇〇	一六〇	同 同
二十八、瑜伽部	角田 桂樹	一〇〇	一六〇	同 同
聖書民俗考	櫻井 重雄	非	一〇〇	同 同
基督教とは何ぞや	赤松 翠陰	五〇	一四〇	同 同
靈界天祥地瑞子之巻	雲華上人	五〇	一四〇	同 同
大師の生涯と其宗教	杉山 眞恭	五〇	一四〇	同 同
日本の宗教學	姉崎 正治	五〇	三六〇	大東出版社 芝
國譯一切經	岩野 眞雄	四〇	四〇〇	同 同
律部二十三密教部	高木 貞衛	五〇	一六〇	同 同
パウロ書翰概説	野依 秀市	六〇	一五〇	同 同
佛教の現代生活	山本 晋	五〇	一五〇	同 同
道を求めて	宮川 眞	五〇	一五〇	同 同
先生説教集後篇	神ながら	五〇	一五〇	同 同
神の國建設者	眞言宗	五〇	一五〇	同 同
眞言宗全書	神への饑渴説教集	五〇	一五〇	同 同
妙法蓮華經象解	大乗院寺社雜事記	五〇	一五〇	同 同
日蓮聖人御遺	文講義第九卷	五〇	一五〇	同 同
天律本教	日本基督教史	五〇	一五〇	同 同
宗教的信仰と教育	宗敎的信仰と教育	五〇	一五〇	同 同

【十二月】

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
豫言者の御臨終に侍して其他	川合 幸信	非	一三〇	中村有樂神田
聖書の宗教	高倉徳太郎	一〇〇	一五〇	長崎書店 牛込
日蓮聖人御遺文講義	望月 歡厚	一〇〇	一五〇	龍吟社 赤坂
菩提心論	玉置 頼晃	五〇	一五〇	顯眞學苑 京都
求道と人生	福島 政雄	五〇	一五〇	同 同
ルイテル小教	山内 六郎	五〇	一五〇	同 同
理問答書講解	岸澤 惟安	五〇	一五〇	同 同
禪的生	上原 寛成	五〇	一五〇	同 同
本派法規類纂	矢島 隣三	五〇	一五〇	同 同
金剛經撰註	田中龜之助	五〇	一五〇	同 同
回心物語	後藤 信教	五〇	一五〇	同 同
眞言宗諸經典、乾、坤、眞言宗在家勤行經典	中田 重治	五〇	一五〇	同 同
神の祈	落合 寅平	五〇	一五〇	同 同
東萊獨語	高田 惠忍	五〇	一五〇	同 同
蓮聖人御遺	柳瀬 直彌	五〇	一五〇	同 同
文全集講義13	小林 眞	五〇	一五〇	同 同
神社参拜問題の真相	カトリック	五〇	一五〇	同 同
カトリック哲學	研究	五〇	一五〇	同 同



書名の讀ならはし

書名の讀ならはし

續日本記、續日本後記、續世繼の續はシヨク	舊事記	クジキ			
	姓氏錄	シヨウジロク			
	令義解	リヤウノギゲ			
	令集解	リヤウノシフゲ			
	江家次第	ゴウケシダイ			
	類聚三代格	ルイジュサンダイキヤク			
	十訓集	シツクンシフ			
	庭訓往來	テイキンオウライ			
	古今和歌集	コキンワカシウ			
	古今著聞集	ココンチヨブンシウ			

禮記	周禮	儀禮	淮南子	舊唐書	說苑	通鑑	文選	說文	參同契
ライキ	シユライ	ギライ	エナンジ	クタウシヨ	ゼイエン	ツガン	モンゼン	セツモン	サンドウカイ

此三書を總稱する時はサンライ

(但地名の時はワイナン)

〔四〕哲學

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
人相運命改造法	福原 六嶺	一・五〇	一八五	武俠社
鑑定新王道主義	原 重治	一・〇〇	一八六	日社
論理學提要第二卷	櫻田 總三	二・〇〇	二六四	向山堂書店
辯證法的唯物論 第一卷	ザウエル	二・〇〇	三三〇	白揚社
同 第二卷	西雅雄外一	一・〇〇	三六六	同
史的唯物論教程上卷	オリアソン、ガロツク、プロレタリヤ科學研究所	一・〇〇	三三三	同
一般哲學史B	井上 哲治	二・五〇	四六六	第一書房
フロイド精神分析大系	菊地 榮一	一・八〇	二九〇	アール
戰爭と死の精神分析	前川眞二郎	一・八〇	二六〇	一粒
有神論	諸橋 轍次	二・五〇	三三〇	關書院
經史八論	諸橋 轍次	二・五〇	三三〇	關書院

哲學

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
實踐解釋學考	垣内 松三	二・〇〇	三三三	不老閣書房
倫理學概論	長尾 喜一	一・五〇	一七二	大明堂書店
ゲンタルト心理學	佐久間 鼎三	二・〇〇	三六四	内田老鶴園
佛敎人間學	高神 覺昇	一・〇〇	一四四	甲子社
形而上的なるもの認識	河瀬 憲次	一・五〇	三三三	藤井書店
史的唯物論教上卷	永田 廣志	一・〇〇	三三三	白揚社
辯證法的・史的唯物論 第一分册	村田 春雄	一・〇〇	二六四	白揚社
辯證法的・史的唯物論 第二分册	佐久間 鼎三	一・〇〇	二六四	白揚社
支那古典叢函論語上	五十澤 二郎	非	〇	支那古典叢刊
現代藝術の哲學	町野 靜雄	一・五〇	三三三	金星堂
唯物史觀世界史教程 第五分册	ボチャコフ、アニシニ共著、早川 二郎譯	一・三〇	三六〇	白揚社
校孟子集註	池 亮吉	一・七〇	二六六	池善書店
昭和易學	桂川 唯菽	三・五〇	七二	松雲堂書店
綴方心理學	西山 庸平	二・八〇	三三三	厚生閣
易と哲學	桂川 唯菽	二・〇〇	三三三	松雲堂書店



書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
經濟國策研究會パンフレット第十一輯 變革過程に於ける皇室と人民社會變革過程の研究 日本歴史の部 第六卷	石井 秀雄	七〇	六三	石井秀雄 澁谷	孝道振興會	飯田 登	非〇	三〇	孝道振興會 京都
易とは何ぞ	桂川 畦菽	一〇〇	六〇	松雲堂書店 神田	氣質と修養	光明 社	非〇	二六	光明 社 札幌
現代の爲の哲學	戸坂 潤	三〇〇	四三	大畑書店 同	死及び死後	莊司 文	非〇	六九	莊司 文 本郷
English-Japanese 老子大學中庸	清水 起正	一〇〇	一七三	三子堂書店 同	The Way to Hegel's Philosophy	陶山 務	二〇〇	四八	章華 社 目黒
街頭の哲學	松原 寛	一〇〇	三三	モナ ス 小石	文化心理學的研究	下澤 瑞世	三〇〇	四六	輝文堂書店 小石
史的唯物論	直井 武夫	一〇〇	五二	同人 社 神田	禪の眞髓	鈴木貞太郎	一〇〇	二六	大雄 閣 同
哲學 第十輯	三田 哲學會	一〇〇	三三	丸善株式會社 日本橋	史的唯物論(第一分冊)	大島 正徳	一〇〇	二四	白揚 社 神田
家相の科學	小林 澄兄	一〇〇	二二	春 秋 社 同	訂倫理學概論	ラリツ エ	一〇〇	三三	共 生 閣 神田
コムアカデミア編輯 教科書叢書三 史的唯物論(日本版)	廣井 定吉	一〇〇	二四	ナウカ 社 神田	辯證法的神學	永田 秀延	二〇〇	四四	基督教思想叢書刊行會 同
論 事 下卷	林 五郎	一〇〇	五〇	破塵閣書房 名古屋	哲學 概論	得能 文	一〇〇	一七	第一書房 神田
心理學入門	ウイリアム・グロウヴス	一〇〇	二四	金星 堂 神田	ヘーゲル宗教哲學	江塚 幸夫	一〇〇	四四	モナ ス 小石
心靈作用の研究	鈴木忠治郎	非〇	五〇	鈴木忠治郎 目黒	ハーゲル第二哲學	廣島 定吉	一〇〇	四四	白揚 社 神田
永久公活の表現	一乘立憲會	非〇	六〇	一乘立憲會 川瀨野	哲學 概論	森 信三	一〇〇	三六	星 館 同
姓名學秘錄(天)	深田 勝彦	非〇	六〇	日本純正姓名學會本部 本郷	訂倫理學概論	梅澤 敬三	一〇〇	二六	大明堂書店 同

【四月】

書名	著譯者	定價	頁數	發行所	書名	著譯者	定價	頁數	發行所
ウエルズ生命の科學 儒教道德の特質と其の學說の變遷	小野 俊一	一〇〇	二二	平 凡 社 日本橋	論理學概論	會田 範治	一〇〇	四三	文 精 社 神田
宇 宙 論 衡	磯部 榮一	一〇〇	六三	東亞研究會 豊島	ヘーゲル哲學物語	松原 寛	一〇〇	二四	同 文 館 同
熊崎式姓名學	熊崎 健翁	一〇〇	一五	五聖閣出版局 神田	論理學綱 改訂版	中桐 確太郎	一〇〇	三七	大觀堂書店 澁谷
新科學モラロジー	廣池千九郎	非〇	一六	廣池千九郎 澁谷	實蹟倫理概論	蜷川 龍夫	一〇〇	三九	大倉廣文堂 京都
及最高道德の特質	松村 光庸	同〇	一〇	哲學會本部 浅草	家庭道德概論	武山 魁芳	一〇〇	二九	大倉廣文堂 同
數理之神秘	柴田甚五郎	二〇〇	三三	天地書房 牛込	ハルトマン倫理學第一部 道德現象論	長谷 喜一	一〇〇	四九	三省 堂 神田
倫理學通論	大森義太郎	一〇〇	三四	中央公論社 麹町	姓名學秘錄 地卷	深田 勝彦	非〇	六〇	日本純正姓名學會本部 本郷
唯物辯證法讀本	深作 安文	一〇〇	一六	文 光 社 四谷	神理哲學掌中紋 線鑑定秘訣	梶田 雲龍	一〇〇	三三	名學中紋線學院 大阪
日本道德要義	大島 巒	一〇〇	四三	第一書房 麹町	增補孔子讀本第三編	藤井 周一	一〇〇	三三	向井式會社 松山
現代哲學史	阪本 勝	一〇〇	三八	同人 社 神田	心理學圖說	見尾 勝馬	一〇〇	三三	同 文 社 神田
ハウゼンスタイン 藝術と唯物史觀	永井 潛	一〇〇	四六	人文書院 京都	我道徳要素	辻村 勝	一〇〇	三三	辻村 勝 大阪
自然觀より人生觀へ	高橋 宮二	一〇〇	三三	同 同	孝經 衍義	孝導振興會	一〇〇	三三	孝導振興會 本郷
千里眼問題の真相	關 昌	一〇〇	三三	同 同	生命を見し人の手記	青木 澄十郎	一〇〇	四四	新 生 堂 神田
現代心靈現象の研究	大槻 憲二	一〇〇	三三	春 陽 堂 日本橋	現代教育の心理學要領	榑崎淺太郎	一〇〇	三三	寶 文 館 日本橋
フロイド精神分析學	榑崎淺太郎	一〇〇	三三	同 同	家相眞法	戸田 景明	一〇〇	三三	泰 文 館 神田
精神分析總論					方法性の哲學	兒山 敬一	一〇〇	二六	表 現 社 牛込
日本教育的心理學									



書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
論理の本質	染村 貴鶴	一・五〇	二七〇	自	自強社 神田
プラトンのメノン	白根 孝之	一・三〇	一四〇	アテネ	アテネ書院 同
論理學概論	二宮 源兵	三・〇〇	四三〇	二宮源	兵京都
三位一體論	黒田 惟信	一・〇〇	三三〇	アソリ	社 牛込
近論理學概論	大岡 將一	三・〇〇	三六〇	建文	社 牛込
世論理學概論	田中幸一郎	七・五〇	△二五〇	第一書	房 駒町
ヘルデル歴史哲學	篠田 英雄	一・八〇	三三〇	ア	ス 神田
フロイド精神分析大系	小原 國芳	三・五〇	〇	出玉川	部 東京
VOL. X 藝術の分析	櫻田 總	三・〇〇	〇	出山堂	房 駒町
教育の根本問題	カール・カ	三・〇〇	〇	日本評論	社 京橋
論理學提要第一卷	ウツキ	一・五〇	〇	大衆書	房 神田
唯物史觀	野島忠太郎	一・五〇	〇	三九	院 同
綱要心理學發達史	石川三四郎	二・〇〇	〇	三九	院 同
歴史哲學序論	西田幾多郎	一・〇〇	〇	三九	院 同
現代に於ける理想主義の哲學	廣島定吉	一・〇〇	〇	三九	院 同
史的唯物論	熊崎 健翁	一・五〇	〇	三九	院 同
唯物辯證法教程	熊崎 健翁	一・五〇	〇	三九	院 同
倫理學精義	熊崎 健翁	一・五〇	〇	三九	院 同

書名	著譯者	定價	頁數	形體	發行所
【六月】					
論語全解	板橋 暹牛	一・五〇	一六〇	一	板橋 暹牛 神田
姓名哲學普通科講義	高橋 成允	非	〇	二	中央 姓 神田
姓名學秘錄人卷	深田 勝彦	同	〇	三	日本 純 神田
姓名學秘錄人卷	松村 光庸	同	〇	三	日本 純 神田
選名自在哲理之神秘	福島久良三	一・五〇	〇	五	名 會 本 神田
繪畫思索斷片	武内 省三	〇	〇	五	研 究 會 神田
哲學概論	兼坂 晋	〇	〇	五	新 星 堂 出 版 部 京 都
易學概觀	竹田浩一郎	一・八〇	〇	四	東 學 社 神田
青年期の心理研究	谷口 武	一・五〇	〇	一	出 玉 川 學 部 同
靈の人は語る	竹下 直之	一・八〇	〇	三	理 想 社 出 版 部 駒 町
辯證法の理論と歴史	大伴 龍子	二・八〇	〇	三	培 風 館 神田
英才兒と鈍才兒	加藤 一夫	一・〇〇	〇	三	院 神田
その心理と教育	松原 寛	一・八〇	〇	三	日 本 公 論 社 神田
農本社會哲學	井上 忻治	二・五〇	〇	四	第 一 書 房 駒 町
生活の哲學	蘆田 正喜	二・五〇	〇	四	駿 々 堂 書 店 大 阪
グインデルバンド					
一般哲學史					
日本精神の哲學					
【八月】					
生の經濟哲學	高木友三郎	四・三〇	〇	五〇	森 山 書 店 神田
唯識論解説 上卷	深浦 正文	二・〇〇	〇	二七〇	出 龍 谷 大 學 部 京 都
明らか	根本 圓通	一・六〇	〇	二六	神 國 靈 理 學 院 本 館
よく判る實用姓名學	佐野 隆海	一・五〇	〇	〇	新 佛 教 社 高 知
生命の原理と	谷口 雅春	非	〇	三	出 生 長 の 家 部 兵 庫
心身改造論	中山 龍次	〇	〇	〇	中 山 龍 次 駒 町
運命を改造する道	吉田 幸正	非	〇	〇	泉 福 寺 役 寮 大 分
源 心 禪 話	伊達乙一郎	一・〇〇	〇	一四	伊 達 乙 一 郎 大 阪
正しく生きる道	廣池千九郎	非	〇	〇	廣 池 千 九 郎 大 阪
自他精神衛生	中村 貴俊	同	〇	三	東 洋 哲 理 學 會 本 館
最新科學モラロヂー及	相馬春雄	一・三〇	〇	二五	白 揚 社 神田
最高道德の根本原理	日下 承二	一・三〇	〇	二〇	三 元 社 同
秘録 姓名學	神山 五黄	非	〇	〇	神 山 易 學 會 本 館
自然科學概論	成田 衡夫	△	〇	〇	成 田 衡 夫 青 森
人間は二也	杉原 夷山	二・〇〇	〇	〇	近 代 文 藝 社 大 阪
實占 易學講義錄 第七卷	王 陽 明	〇	〇	〇	〇
朱紫陽哲學研究	八木 林	二・六〇	〇	〇	〇
王 陽 明					
【七月】					
日本精神思想概説	田制 佐重	四・五〇	〇	〇	〇
構想の研究	金原 省吾	三・八〇	〇	〇	〇
季刊藝術學研究 參輯	川口 浩	一・五〇	〇	〇	〇
史的唯物論改訂版二	廣島 定吉	一・八〇	〇	〇	〇
勸 究	黒田 亮三	一・〇〇	〇	〇	〇
宇宙と平均第一卷	大森 茂	一・八〇	〇	〇	〇
生命辯證法	森 清人	一・〇〇	〇	〇	〇
夢判断と夢の研究	谷村 黄石	五・〇〇	〇	〇	〇
易學の研究	上野 清三	五・〇〇	〇	〇	〇



書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
美學問題史	佐藤 明	一・三〇	一六二	立命館出版部	京都
無一物主義第一卷	小原 登	一・六〇	二九〇	小原 登	京都
【九月】					
哲學導論	小林 澄兄	一・五〇	三三三	三田哲學會	京都
教導	大河内秀雄	一・八〇	四三三	山喜房佛書林	本郷
證法的唯物論	廣島 定吉	一・八〇	三三三	ナウカ社	本郷
高文各科倫理學精義	平原 北堂	三・〇〇	三三七	眞教大學出版部	本郷
學生編考	小野島 左右雄	二・七〇	二六〇	中文館書店	牛込
性心理學	渡邊 吉治	三・〇〇	二七一	第一書房	麹町
美相方鑑大全	飯田 天涯	五・五〇	四四四	浩文社	日本橋
西洋倫理學史	市川 一郎	二・八〇	五七〇	育趣の會	本郷
郷土心理學	西山 庸平	三・〇〇	二八八	東光書院	牛込
廣告心理學 上卷	下地 一秋	一・五〇	二二二	廣告研究部	京橋
哲人セネカの書翰	前田 越嶺	一・八〇	一三〇	高原書店	同
終末論と歴史哲學	熊野 義孝	二・八〇	三九七	新生堂	神田
兒童圖畫心理學	關 衛	二・七〇	四四五	南光社	同

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
倫理學概論	木村伊勢雄	三・五〇	三三〇	寶文館	日本橋
教育思潮研究 第七卷第三輯	教育思潮會	一・五〇	三四〇	目黒書店	神田
觀相科學	觀水 學人	一・五〇	四〇〇	千倉書房	京橋
實驗心理學	增田 惟茂	一・六〇	三三七	岩波書店	神田
思想遠近	谷川 徹三	三・三〇	四三三	小山書店	小石川
最新心理學概説下卷	小野島 右左雄	三・五〇	四八八	中文館書店	牛込
哲學讀本	山崎 謙一	一・五〇	三三七	厚生閣	麹町
イデオロギーの系譜學第一部	新明 正道	一・五〇	三三三	大畑書店	神田
物心の研究	木村 秀吉	三・五〇	五八八	建設社	牛込
改訂實踐倫理要義	深作 安文	二・八〇	二七〇	アテネ書院	神田
ブルジョア哲學入門	安田 正剛	一・八〇	二二四	高原書店	京橋
臨床醫學と辯論	新館 正一	一・八〇	二二五	ナウカ社	神田
證法的唯物論	新關 良三	二・〇〇	二九〇	アルス同	同
夢判斷下卷	恒 藤 恭	二・〇〇	三三九	岩波書店	同
カント著作集	ウエキル 外	一・八〇	三六一	東光書院	同
宗教哲學	白根 幸三	一・八〇	一八〇	同	同
歴史哲學	同	一・八〇	一八〇	同	同
ユーベルゴク大哲學史各國現代篇上	磯部 忠正	三・八〇	四六〇	學藝社	麹町

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
希臘倫理史	木下 一雄	三・〇〇	三三二	目黒書店	神田
西周哲學著作集	麻生 義輝	四・〇〇	四四五	岩波書店	同
【十一月】					
卦象占斷法 上卷	神山 五黃	非	一〇九	神山易學會	本郷
西洋倫理學史 下卷	小笠原秀實	〇	三三三	小笠原秀實	京都
無我愛の哲學	伊藤 證信	一・三〇	一五五	栗田書店	神田
哲人の森林生活	トロロ 一郎	一・五〇	四九	南天堂	同
唯物論辯證法講話	永田 廣志	一・三〇	三四	白揚社	同
心理學要論	小野島 右左雄	二・〇〇	二六四	中文館書店	牛込
作業による心理學	北澤 種一	一・五〇	二二二	目黒書店	神田
讀方心理學原論	西山 康平	一・五〇	二二二	東光書院	小石川
坐禪用心記提耳錄	西有 穆山	一・三〇	一五九	鴻盟社	芝
四柱推命奧義秘傳錄	松本 義亮	一・〇〇	六冊	大祥館出版部	大阪
日本精神體現の教育	大石喜三郎	一・八〇	三七六	文泉堂書房	神田
アロイズミューラア	寺田 彌吉	二・〇〇	二二七	第一書房	麹町
最新哲學講話	編纂部	一・八〇	三三	第一出版協會	神田
藝術上のレアリズム	森山 啓	一・〇〇	三〇	文化集團社	同

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
邪魔にならぬ人間	高橋 正雄	〇	二九	笠岡求信會	岡山
人格的生活をめぐりて	子安講本部	〇	二二	子安講本部	愛媛
生命 日本哲學	山岡 瑞圓	〇	二二	文榮堂書店	京都
原理 日本哲學	寺本 婉雅	〇	四一	大日本學生會	兵庫
正則姓名鑑定法	山本 晃造	〇	九	大日本學生會	兵庫
靈覺易術占人の巻	久保田眞種	〇	六六	教本館	小石川
辯證法讀本	徳 永 直	一・〇〇	二七	ナウカ社	神田
教育心理學	丸山 良二	四・五〇	五三三	建文館	牛込
最新心理學概論	末廣 時彦	五・八〇	五三三	大同館書店	神田
化學思考の原理	竹村 貞二	三・五〇	三三三	中文館書店	牛込
現代唯物論の諸問題	福田 久道	二・三〇	六三	隆章閣	神田
心理學論文集 四	城戸幡太郎	二・八〇	四〇	大倉廣文堂	京橋







生きた知識のデパート 家庭必備の顧問

# 家庭百科重宝辞典

四六判・一千五百頁  
収録項數・約一萬項  
挿畫密畫・千三百個

衣服、裁縫、手藝、編物、洗滌、料理、家政、衛生、育児、美容、社交禮法、園藝等一切の家庭知識から、新聞雜誌常用のモダン語、文藝美術映畫演劇スポーツの専門語まで、一切を、ごく平易親切の詳解した、現代人必備の生活顧問です。

▼鳩山薫子夫人は「これ一冊あれば、家庭顧問を何人も持ったと同じだ」激賞。

永久の保存に堪へるやう、紙質も特に吟味し、印刷は鮮明無比のオフセットです

特製一圓八十錢

普及版一圓

婦女界社 發行

(背革總クロス箱入金文字美本)  
送料内地二十二錢 神太臺灣：四十四錢 朝鮮滿洲：六十二錢

(布製箱入上製美本) (送料は特製と同じ)

東京九ビル三五五五  
振替東京二九三七

法學博士 高窪喜八郎監修 法律評論社編

## 法律年鑑

每年一回 發行

第一卷	價 九 圓	第五卷	價 拾 圓
第二卷	價 八圓五拾錢	第六卷	價 九 圓
第三卷	價 拾 圓	第七卷	價 九 圓
第四卷	價 拾 貳 圓	第八卷	價 九 圓
		第九卷	價 九圓五十錢

送料各一冊  
内地卅六錢  
屬領七拾五錢

各最近一箇年間雜誌及新聞紙上に發表せられたる學說●判例●決議●訓令●回答の要旨全部著書●雜誌●諸統計●諸法令●裁判所職員●在野法曹●學校職員等法律に關する事項及純學理に涉るもの並に補助科學に屬する事項をも集録し之を民法商法刑法以下十部門に分ち精密なる目次及イロハ索引を附したるを以て最近一箇年間の法律學說判例を一目して知り得べき良書なり。

高窪博士監修 法律評論社編

## 法律學說判例要旨集

第一卷	價 八 圓	送料	内地 卅七錢
第二卷	價 八 圓	送料	内地 卅七錢
第三卷	價 拾 參 圓	送料	内地 卅七錢
第四卷	價 六 圓	送料	内地 卅七錢

法學博士 高窪喜八郎編

法律學說判例總覽(正編) 民法商法 全十八冊  
價八十七圓四十錢 送料三圓九十六錢

法律學說判例總覽續編 民法五冊 既刊  
商法四冊 各册分賣  
價八十六圓 送料三圓廿四錢

法學博士 高窪喜八郎著  
商法總論 全一冊  
價四圓五十錢 送料卅六錢

發行所 法律評論社  
東京神田區小川町三丁目二十八番地ノ二  
振替東京一六二六七・電話神田二七三二







生動物學研究及採集品整理の必備書

<p><b>植物名彙</b></p> <p>植物學上に於ては和名漢字を使用せぬことを原則としてゐるが、和歌俳句等文學上に於てはこの漢字を必要とする場合が尠くない。本名彙は志田義秀氏田中徹翁氏が日本植物圖鑑(定價十圓)に掲げられた標準和名に準據して文學上の立場から調査編纂した植物和名漢字彙。四六判紙裝一三〇頁。頒布費十七圓。</p>	<p><b>昆虫採集便覽</b></p> <p>日本昆虫圖鑑(定價十五圓)の別冊附録として刊行せるもの。執筆者は日本昆虫圖鑑の著者。圖版五十五個を挿入して昆虫の採集保存法、雌雄鑑別法等について詳説してある。四六判紙裝七十頁。頒布費二十二圓。</p>	<p><b>動物採集便覽</b></p> <p>日本動物圖鑑の著者が昆虫以外の動物各類の採集保存法等について積年の體験を寄附せられ、日本動物圖鑑(定價十五圓)の別冊附録として刊行せるもの。四六判紙裝七十頁。日本動物圖鑑の讀者以外頒布費廿二圓。</p>	<p><b>學生版動物圖鑑</b></p> <p>三ツケ本 定價五十料 五ツケ本 定價五十料 六ツケ本 定價五十料</p> <p>學生諸氏・狩獵・飼鳥・釣魚・採集趣味家の野外携帶用たらしむべく、日本動物圖鑑を底本として編纂せるもの。鳥・獸・魚・貝・蟲其他の動物二七五〇種の姿態と名稱が一目瞭然。一般家庭の教育資料としても快適。(内容見本進呈)</p>	<p><b>應用動物圖鑑</b></p> <p>四八頁 定價五十料 六〇頁 定價五十料 八〇頁 定價五十料</p> <p>卵・乳内・羽毛・皮革・生絲・蠶甲・眞珠・珊瑚・蜂蜜・海綿などを供給されてゐる。一面また小さな蟲ケラと侮りつゝ吾が體内に寄生されて生命を蝕まれたり或は農作物を荒されて年々多額の損害を蒙つてゐる。本書は或は農作物と鮮明な挿圖六十五種十個を掲げて之を等人生と密接な交渉をもつ各種動物の生態習性並に現在の利害關係と之に對する適策を詳説してある。</p>	<p><b>日本動物圖鑑</b></p> <p>四六頁 定價五十料 五〇頁 定價五十料 五五頁 定價五十料</p> <p>原色圖廿一葉。形態圖四千一百個を掲げて鳥・獸・魚・介・蟲その他凡ゆる動物と其の幼生を一種毎に圖解せるもの。巨大な鯨・肉見で見るアミ・イバ・人體内に寄生する虫までも動物相並んで本邦動物學界の代表的二大文獻。(内容見本進呈)</p>	<p><b>日本植物圖鑑</b></p> <p>四六頁 定價五十料 五〇頁 定價五十料 五五頁 定價五十料</p> <p>植物と云へば牧野・牧野(地衣類)岡村金太郎博士(藻類)川村清一博士(菌類)岡村周輔博士(蕨類)の協力執筆を得て圖解せる邦産植物二五五〇種の規範的圖説書。日本動物圖鑑と相並んで生物圖鑑の双璧。(内容見本進呈)</p>	<p><b>日本昆虫圖鑑</b></p> <p>四六頁 定價五十料 五〇頁 定價五十料 五五頁 定價五十料</p> <p>昆虫學界の權威者二十六名が積年の體験を凝縮して圖解せるもの。挿圖の正確・凡ゆる昆虫とその幼生を一種毎に圖解せるもの。於て断然類書に冠絶す。(内容見本進呈)</p>	<p><b>家庭蔬菜園</b></p> <p>永田治郎一著 年中採れるバナラマ式</p> <p>從來の類書と異り、大阪府立園藝學校教諭永田氏の發案想的家庭園藝書である。</p>	<p><b>猫の微笑</b></p> <p>薄田泣菫著 版帶携</p> <p>著者の自然と藝術に對する思慕、人生の諸相に下した皮肉は何人も微笑なくして讀過出來ない。</p>	<p><b>艸木虫魚</b></p> <p>薄田泣菫著 版帶携</p> <p>自然と共に生長し、自然と神交靈感深き著者の深き自然觀賞と透徹せる心境を見よ。</p>	<p><b>茶話全集</b></p> <p>薄田泣菫著 下上</p> <p>東西古今の逸話を材とし、諷刺皮肉ユーモアの多分に盛り込まれた好讀物、是程多くの人に讀まれ、多くの人に感銘を與へた書はない。(二十版)</p>	<p><b>遍路と巡禮</b></p> <p>荻原井泉水著</p> <p>著者が雲水に身を委せて靈場に心を澄し、山川に詩眼を放ちつゝ巡禮の旅を続けられた遍路紀行。紀行隨筆として興味あるばかりではななく、「西國三十三所道しるべ」を附して遍路する人の便利にもなる。</p>	<p><b>近畿景觀</b></p> <p>北尾鏢之助著 (第四編 紀伊伊賀)</p> <p>北尾鏢之助の著者恒富畫伯氏の挿圖を加へて、別瀬雁皮紙に印刷し、一々著者が署名されて五百部を限り頒つ豪華圖譜に富む稀觀本。(但し殘部尠少)</p>	<p><b>春琴抄</b></p> <p>谷崎潤一郎著 限定版</p> <p>昭和文壇隨一の傑作春琴抄を始め、名作蘆刈及び戯曲「顔」殊に表紙に墨漆塗板を用ひたことは非常に好評を受けたもの。谷崎氏會心の神品「蘆刈」を自ら淨書されたものをオフセット印刷し、一々著者が署名されて五百部を限り頒つ豪華圖譜に富む稀觀本。(但し殘部尠少)</p>	<p><b>蘆刈</b></p> <p>谷崎潤一郎著 限定版</p> <p>北尾鏢之助の著者恒富畫伯氏の挿圖を加へて、別瀬雁皮紙に印刷し、一々著者が署名されて五百部を限り頒つ豪華圖譜に富む稀觀本。(但し殘部尠少)</p>
--	--	---	---	---	---	--	--	--	--	---	--	--	---	---	--

廣三九

東京東橋銀座西五 北 隆 館 電話一八八七・一八七九  
東京東橋銀座西五 番〇五七 東京東橋

(内容見本進呈) 請求の際の手勝は送料封入の上申み下(い)

創元新社新刊書目抄

<p><b>家庭蔬菜園</b></p> <p>永田治郎一著 年中採れるバナラマ式</p> <p>定價四圓 送料一圓 八十五頁</p>	<p><b>猫の微笑</b></p> <p>薄田泣菫著 版帶携</p> <p>定價四圓 送料一圓 八十五頁</p>	<p><b>艸木虫魚</b></p> <p>薄田泣菫著 版帶携</p> <p>定價四圓 送料一圓 八十五頁</p>	<p><b>茶話全集</b></p> <p>薄田泣菫著 下上</p> <p>定價各五圓 送料各七圓 八十五頁</p>	<p><b>遍路と巡禮</b></p> <p>荻原井泉水著</p> <p>定價五圓 送料九圓 八十五頁</p>	<p><b>近畿景觀</b></p> <p>北尾鏢之助著 (第四編 紀伊伊賀)</p> <p>定價四圓 送料三圓 八十五頁</p>	<p><b>蘆刈</b></p> <p>谷崎潤一郎著 限定版</p> <p>定價四圓 送料三圓 八十五頁</p>	<p><b>春琴抄</b></p> <p>谷崎潤一郎著 限定版</p> <p>定價四圓 送料三圓 八十五頁</p>
--	---	---	--	---	---	--	---

廣三八

東京東橋銀座西五 創元社 電話一八八七・一八七九  
東京東橋銀座西五 番〇五七 東京東橋



東京高等師範學校  
前教授

北垣恭次郎先生著(全九冊愈完成)

第三十版

# 地理文庫 日本の誇

著名全九冊		關東	東	中國・四國	九州	北海道・樺太	臺灣・南洋	朝鮮・關東州	近畿
卷一	卷二	卷三	卷四	卷五	卷六	卷七	卷八	卷九	卷十
定價一圓二十錢	定價一圓二十錢	定價一圓七十錢	定價一圓八十錢	定價一圓七十錢	定價一圓八十錢	定價一圓八十錢	定價一圓八十錢	定價一圓七十錢	定價一圓七十錢
滿鐵沿線 滿洲問題		研究八年實地踏査の上 執筆せられた權威書							

明治圖書株式會社 發行  
東京市橋區入船町 三五一八

## 陸軍省制定學校教練教科書

陸軍省徵募課編纂

### 學校教練必携

中等學校 各實業學校 師範學校 用	術科之部(前篇) 軍事講話(前篇)	金六拾錢 金壹圓廿錢
高等學校 專門學校 大學 用	術科之部(後篇) 軍事講話(後篇)	金四拾錢 金壹圓廿錢

一、本教科書は幹部候補生採用制度の改正に伴ひ全國統一的使用せしめん爲め陸軍省徵募課に於て編纂せられたり

一、新入學生は勿論全校之を採用せしむることは陸軍省の方針なり

帝國在郷軍人會指定大賣捌元

陸軍省編纂學校教練必携發賣所

東京市麴町區三宅坂(陸軍省前)

### 發賣所

兵用圖書株式會社  
川流堂 小林又七

電話九段(33) 二九九一番 四一九番  
八五〇番  
振替東京 一八〇八八番



▼本邦キリスト教界最古の權威ある専門書▼

聖書民俗考	社會主義と 基督教の 經濟理倫	著名刊新	版重評好	資本主義の勃	基督教大辭典					
		母の典型	石を積む			人類への宣言	伏屋の曙	創造的禮拜	舊約物語	
竹中勝男譯	皆田篤實著	谷津直秀著	別所梅之助著	賀川豐彦著	賀川豐彦譯	高木壬太郎著				
2.00	1.50	.60	1.30	1.80	1.00	2.20	.70	.80	1.50	1.80
.14	.12	.6	.10	.12	.12	.6	.8	.12	.14	.54
求安錄	宗教教育 教授法要領	歌美讚		天路歷程	對註新譯聖書					
		四六クロ	一皮金緣			1.00	} .12			
内村鑑三著	海老澤亮一著	總折皮	折皮インデ	2.30	} .06					
		折皮	折皮ヤン紙	2.50						
.8	.8	四六半載	袖珍クロス	2.80	} .06					
		總折皮	折皮インデ	.60						
.8	.8	總折皮	折皮ヤン紙	1.30	} .06					
		折皮	折皮ヤン紙	1.50						
.8	.8	總折皮	折皮ヤン紙	1.70	} .06					
		折皮	折皮ヤン紙	1.70						
.8	.8	譜無	一四六紙表紙	20	} .06					
		無	半載クロス	30						
.8	.8	.8	.8	.8	.8	.8	.8	.8	.8	.8

東京橋本區橋本 警 社 電・銀座 1587 振替東京 553

廣四三

發行所

東京市神田區神保町三ノ四  
振替東京二〇六六番  
大阪市南區安堂寺橋通三  
振替大阪二九八一番

株式積善會社

鳩山文部大臣曰く  
我國現下の難局打破には大なる道徳的基礎を要すと。大楠の事烈は其の道徳的基礎の一ではなにか琅々とし響をば何處にか聴かん。大楠遺稿をばこれに「楠氏研究」の一讀に問へ。

國民必讀の快著は遂に大成す!!  
著者は楠氏の研究を以て令名あり其の倦まざる努力は實に數十年に及び煩を厭はず勞を嫌はず偏く實地を踏査し古文書舊記録の類は殆んど涉獵し盡し本書の大成は全く其の至誠の結晶である。學界の權威者が擧つて此の大成を祝福し楠氏研究としては殆んど到着すべき頂點に達したるものとして絶讃を惜まざることが、良く内容の權威を物語つてゐる。本書は行文極めて流暢此の種の著書に見る嚙蠟の弊なく俗に墮せず専門に局せず修史家の資料として一般の教訓書として絶對的の權威書である。

楠氏研究

序文  
文學博士 三上參次先生  
文學博士 幣原坦先生  
文學士 藤田精一先生  
文學士 藤田精一先生

菊六洋裝箱  
百數十餘  
眞金五圓  
定價六十五圓

全一冊

廣四二



日本學園長 高須芳次郎編

菊判極上製約四八〇頁  
定價各冊二圓送二二錢

# 水戸學全集

卷六全

○誰にも讀める昭和維新の指導原理!!  
○大義名分の精神を史實に依つて論證す!!

内容見本  
無代進呈

- 第一編 藤田東湖集  
弘道館遺稿・回天詩史・常陸帶見聞録  
第二編 會澤正志集  
新編下學遺言・通經論・讀史見聞  
第三編 安積澹泊集  
大日本史論贊・史論・史傳  
第四編 水戸義公・烈公集  
常山文集・西山園華・海里先生碑銘・弘道館記・告志篇・景山文集・勳業或問  
第五編 三宅觀瀾・栗山潛峰集  
保建大記中興經天朝正學國體發輝  
第六編 青山延光・延于集  
六雄八將論・赤穂四十七士傳・皇朝史略  
文苑遺談抄・三才究理(二百五十二韻)

本邦洋樂變遷史 三浦俊三郎 特價五・〇〇

アメリカ大財閥の暴露 唐島基智三 價一・五〇

日本繪畫史 關四・〇〇 特價四・〇〇

スバイは躍る 中島武 價一・八〇

大日本史の研究 横井春野 價四・〇〇

開けゆく滿洲 白井龜雄 價一・五〇

日本人の宗教 溝口駒造 價二・五〇

滿洲事變實誌 關東軍參謀部 價一・八〇

日本死刑史 布施彌平治 價二・五〇

日本文化の再建 澤田牛麿 價一・〇〇

地理教育の綜合的研究 佐藤左内 價四・八〇

廣告の心理學 有田二郎 價一・八〇

文學博士 小柳司氣太著

東京市日本橋區本町  
株式會社 博文館  
振替東京三四〇番

本書は十數年前詳解漢和字典を編纂してその名譽を惹に  
されたる小柳博士が、日進月歩の時勢に鑑み徒らに奮發に  
満足すべからずと爲し、より完全にして、より實用的なる  
最も普遍的にして最も専門的なる大字典を完成し、有終の  
美を爲さんとして、爾來多年、信と熱とを以て博士自ら編纂  
の業に携はられ漸く完成を見たるもの、眞に之れ同博士の  
心血の結晶と言はざるべからず。されば本邦に於ける唯一  
の權威字典として全國中等學校二千餘校の指定辭書に推舉  
せられ學生界の人氣を獨占したる所以なり。

學界教育界一致推薦の大字典

## 新漢和 修大字典

特價期間  
五月十日  
(期限後は直ちに  
定價に復します)



豊富な内容

總紙數	二、〇三二頁
總字數	一、〇七三、〇〇〇字
檢字	一、〇七三、〇〇〇字
成句	一、〇七三、〇〇〇字
俗語	一、〇七三、〇〇〇字
常用漢字表	一、〇七三、〇〇〇字
常用略字表	一、〇七三、〇〇〇字
音訓索引	一、〇七三、〇〇〇字

斗四六判綿布裝天錫色函入 (綿紙敷)  
 半背模倣漆押文字古色金箔押 二千三十二頁  
 定價三圓八十錢 特價二圓五十錢  
 (綿皮裝飾本) 定價五圓五十錢 特價四圓五十錢

東京市日本橋區本町三丁目三番地 株式會社 博文館 電話九段一三九八















書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
手紙日記と綴方教育	武藤 要三〇〇〇	三〇〇	厚生閣	東京 麹町
地理教育原論	富士徳治郎一三〇〇	五〇〇	株式會社	東京 橋本
用器畫の學習	坂本 豐三三〇〇	四〇〇	同	同
高等商業數學 上卷	寛 敦良二八〇〇	三〇〇	大 明 堂	東京 神田
註考教育勅語圖繪	北澤 時重三三〇〇	二七〇	株式會社	東京 同
實踐勞作教育	小關 良次一五〇〇	五〇〇	大地書院	東京 府
生活學習小學國語讀本の指導尋常科用卷一	山崎 博二四〇〇	三〇〇	教育實際社	東京 橋本
科學的綴り方	佐藤 末吉二七〇〇	五〇〇	株式會社	東京 同
生活化郷土作業化小學國語讀本精選第一	佐々 秀結二〇〇〇	三〇〇	厚生閣	東京 麹町
新商業簿記教材	水戸 健二二〇〇	三〇〇	文 録 社	東京 橋本
兒童の生活に即する	久保 良英四四〇〇	四〇〇	東京開成館	東京 小石川
私生活に於ける日本	千ヶ崎 敬三三〇〇	三〇〇	文 教 書 院	東京 神田
精神の開展	井村金三郎三〇〇〇	二七〇	教育書館	東京 同
商業及金融問題研究	山崎 宗直一〇〇〇	二九〇	丸善株式會社	東京 橋本

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
小學國語讀本卷一	垣内 松三二二〇〇	三〇〇	文 學 社	東京 神田
最新商業簿記教材	片岡 義雄一七〇〇	三〇〇	明 文 堂	東京 芝
宗教的開	海老澤 亮二二〇〇	二四〇	文 書 堂	東京 本郷
民族思想的開展	奈良 靖規三〇〇〇	四〇〇	同	東京 神田
各科學習指導の秘訣	水木 梢一三〇〇	八〇〇	高 踏 社	東京 橋本
地理模式教材の教へ方	宇野 誠一二〇〇	八〇〇	同	東京 同
高等小學算術教育の精神と新指導法第一學年	高木佐加枝三〇〇〇	二五〇	賢 文 堂	東京 神田
高等小學算術教育の精神と新指導法第二學年	高木佐加枝三〇〇〇	二五〇	賢 文 堂	東京 神田
小學校教育より見たる地理教材の吟味	齋藤 英夫二六〇〇	二七〇	株式會社	東京 橋本
六の國史教育	飛松 正三三〇〇	四九〇	同	東京 同
人間學と國民教育	近藤 壽治三〇〇〇	二五〇	寶 文 館	東京 橋本
性讀本性教育の實際	兼子常四郎一〇〇〇	二七〇	郁 文 書 院	東京 小石川
國史教授の實際 上卷	初等教育研究部	三〇〇	同	東京 同
國史教授の實際 下卷	二階 源市一五〇〇	二四〇	培 風 館	東京 神田
精神と算術の取扱	渡邊 信治一五〇〇	二七〇	寶 文 館	東京 橋本
有用の教育	河野伊三郎二五〇〇	三〇〇	株式會社	東京 神田
會神の讀方指導實錄	同	同	同	東京 同

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
商業及金融問題研究	山崎 宗直一〇〇〇	二九〇	丸善株式會社	東京 橋本
新撰タイムス	同	同	同	同
新撰タイムス(英)	同	同	同	同
新撰タイムス(英)	同	同	同	同
算術年具體案	岩下 吉衛四四〇〇	五三〇	株式會社	東京 神田
小學國語讀本新指導法	小林佐源治三〇〇〇	四六〇	三 省 堂	東京 同
中心綴方教育學	鹽見 慎一一二〇〇	三三〇	瓊 池 會 社	東京 大阪
精神科學的心理學	三木英太郎四四〇〇	三九〇	株式會社	東京 橋本
新理科學教育	二階 源市一四〇〇	七四〇	同	東京 同
文化新教育原論	越川 彌榮四四〇〇	六六〇	同	東京 同
教育學 校 園	川村 秀雄一六〇〇	二四〇	二松堂書店	東京 神田
改正教授要目	佐藤良一郎三〇〇〇	四〇〇	同	東京 同
第七卷第二輯	同上	三五〇	同	東京 同
教授の結合中心とし	牧口常三郎三三〇〇	四一〇	城 文 堂	東京 品川
勞作生活の算術	藤原安治郎二五〇〇	五五〇	教育研究會	東京 麹町
遊戯生活の算術	山内 俊次五〇〇〇	六九〇	出版會社	東京 同
生活と現代教育	外山 福男一〇〇〇	二六〇	行 政 學 會 社	東京 同

書名	著譯者	定價	頁形 數體	發行所
日本精神の把握と教育維新の實相	中野八十八三〇〇	五九〇	株式會社	東京 橋本
小學國語讀本卷一	西原 慶一三〇〇	二八〇	株式會社	東京 同
滿蒙學校講義第三卷	蘭井 秀男二〇〇〇	三〇〇	滿 蒙 學 校 會 社	東京 神田
實用高等數學 上卷	堀 乙次郎三〇〇〇	三六〇	海 事 學 校 會 社	東京 神田
近代學校の理想	コフエレル一〇〇〇	一五〇	振 興 文 社	東京 同
若き訓導校長の道	水野 末治二五〇〇	五〇〇	三 成 社	東京 神田
辯證法的地理教育	永澤 義憲一五〇〇	三三〇	文 泉 堂 書 房	東京 本郷
辯證法的算術教育	同	同	同	東京 同
生活教育の實際	宮川 造六一〇〇	三六〇	文 泉 堂 書 房	東京 神田
地理教育の實際	齋藤 英夫三〇〇〇	六八〇	株式會社	東京 橋本
現代教育思潮	大日本學 會	三〇〇	同	東京 同
郷土に立脚したる綴方指導書	術 協 會	三〇〇	同	東京 同
國語教育原論	鈴木 敏也二四〇〇	二九〇	同	東京 同



書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
兒童生活と社會化に基く算術教授の考察	關根 忠三	三〇〇	四〇	單行本	目黒書店
女子教育・家事教育	林 勇記	一〇〇	三〇	單行本	大同館書店
教科作業教育の實際	堀 七藏	一〇〇	三〇	單行本	明式會社
國語話方と學藝會の新組織	岸 一敏	一〇〇	三〇	單行本	同
手工指導系統と其實	三苦 正雄	一〇〇	三〇	單行本	賢文館
新教育の形態	大谷 恒郎	一〇〇	三〇	單行本	華文社
指導の形態	山本 松七	一〇〇	三〇	單行本	目黒書店
數表 算術教材要覽	田澤 義輔	一〇〇	三〇	單行本	日本評論社
農村更生青年教育	鍋島信太郎	一〇〇	三〇	單行本	目黒書店
數學教育の諸斷面	三苦 正雄	一〇〇	三〇	單行本	明式會社
寫生畫指導體	廣瀬 嘉雄	一〇〇	三〇	單行本	同
系と其實踐	渡部 政盛	一〇〇	三〇	單行本	南光社
小學補習中等學校教育資料大成	二之宮英雄	一〇〇	三〇	單行本	同
現代教育學の形態と其動向	關根 忠三	一〇〇	三〇	單行本	同
評註現代實用文要諦	郷土聯盟	一〇〇	三〇	單行本	同
教育新景觀	山崎 延吉	一〇〇	三〇	單行本	同
若き人々へ	海老澤 匡	一〇〇	三〇	單行本	同
思想と實際經營	同	一〇〇	三〇	單行本	同

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
生活學校と學習統制の實際(尋三・四・五年)	野村芳兵衛	一〇〇	四〇	單行本	厚生閣
郷土教育原論	熊郷緒三	一〇〇	三〇	單行本	章華社
讀方教育の實際	長谷川 藤太郎	一〇〇	三〇	單行本	目黒書店
尋常小學圖書の解法と其取扱	田中豐太郎	一〇〇	三〇	單行本	同
音韻學と教育	三苦 正雄	一〇〇	三〇	單行本	同
國語の原理と實際	田村虎藏	一〇〇	三〇	單行本	同
國本に培ふ生活社會教育の原理と實際	先生記念會	一〇〇	三〇	單行本	同
國本に培ふ生活社會教育の原理と實際	石崎恒次郎	一〇〇	三〇	單行本	同
國本に培ふ生活社會教育の原理と實際	阪田 風谷	一〇〇	三〇	單行本	同
國本に培ふ生活社會教育の原理と實際	蘭井 秀男	一〇〇	三〇	單行本	同
國本に培ふ生活社會教育の原理と實際	竹田津永安	一〇〇	三〇	單行本	同
國本に培ふ生活社會教育の原理と實際	板倉 贊治	一〇〇	三〇	單行本	同
國本に培ふ生活社會教育の原理と實際	藤田 一男	一〇〇	三〇	單行本	同
國本に培ふ生活社會教育の原理と實際	北海道農業教育研究會	一〇〇	三〇	單行本	同
國本に培ふ生活社會教育の原理と實際	長田 新一	一〇〇	三〇	單行本	同
國本に培ふ生活社會教育の原理と實際	長田 博壽	一〇〇	三〇	單行本	同

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
新家事指導	山本 香	一〇〇	四〇	單行本	明治會社
高等小學新指導	岡田 香	一〇〇	四〇	單行本	同
教育の仕方	守谷 英次	一〇〇	四〇	單行本	同
郷土教育講演集	文部省	一〇〇	四〇	單行本	同
高一新地理指導精説	通學務局	一〇〇	四〇	單行本	同
研究現代米國讀本	佐藤保太郎	一〇〇	四〇	單行本	同
資料	百々 正雄	一〇〇	四〇	單行本	同
修養道徳の味	西川光二郎	一〇〇	四〇	單行本	同
公民科の眞精	長倉 矯介	一〇〇	四〇	單行本	同
神と其の實際	大森 輝喜	一〇〇	四〇	單行本	同
禮拜と教育	佐々木丑夫	一〇〇	四〇	單行本	同
巡査看守受驗教科書	大森松次郎	一〇〇	四〇	單行本	同
青年と公民智識	石澤 吉磨	一〇〇	四〇	單行本	同
高等小學家事新指導法第一學年用	同	一〇〇	四〇	單行本	同
非常時日本の教育	社會協會	一〇〇	四〇	單行本	同
人間生活の教育	山榎 儀重	一〇〇	四〇	單行本	同
教授法に立脚せる	高橋 明夫	一〇〇	四〇	單行本	同
珠算講話	川上 みね	一〇〇	四〇	單行本	同
第一學園と指導精神	岡島 ハルエ	一〇〇	四〇	單行本	同
滿蒙學校講義第五卷	蘭井 秀男	一〇〇	四〇	單行本	同



書名	著譯者	定價	頁數	發行所
教材解説高等小學用 修身書精義第三學年用	松井 藤市	三・五〇	四六	東京出版社
すく應用出来る 現代英文の作り方	木村 小舟	二・〇〇	六五	忠文館
現代日本の教育 をどう考へる	渡部 政盛	一・五〇	二九	啓文社書店
道徳教育の實際	巨理章三郎	三・五〇	七三	中文館書店
滿蒙學校講義 第六卷	蘭井 秀男	一・二〇	三四	滿蒙學校
小學國語讀本新指導書 尋常科第一學年後期用	小林佐源治	二・〇〇	四〇	三省堂
史的國語教育實踐學	齋藤 榮治	五・五〇	七〇	創文社
兒童の詩文教育	大澤 雅林	二・五〇	四七	日本綴方教育研究會
高意地理書挿繪中心 景觀的取扱	森 信美	一・八〇	二四	南洋圖書
高等小學國史新 指導書下卷	大松庄太郎	二・八〇	三九	東洋圖書
價値観へ止揚せる高等小學 國史教授の實際下卷	初等教育 研究聯盟	二・五〇	三三	株式合資會社
修養日日訓	國民道德會	一・二〇	三七	研究聯盟出版部
世界格言全集	同	一・二〇	三五	同
實際活用を主とした る新手工業科作業科 木工科教材大成	永原 與藏	六・五〇	七三	文書堂
思惟は育くむ	小島政一郎	三・三〇	五九	圖書研究社

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
系統的的教育概説 下卷	大日本 學術協會	三・〇〇	三四	スナ
史的觀點に立つ 日滿關係と地理教育	鶴居 滋	一・三〇	五六	目黒書店
公民科實際研究	鎌田 四丁	一・八〇	三七	香川縣教育會
滿蒙學校講義 第七卷	蘭井 秀男	〇・九〇	一九	滿蒙學校
現代國語思潮 續編	日下部 重太郎	三・〇〇	三〇	中文館書店
常識を基本とせる 警察官の教養	穴原 信吉	〇・九〇	二四	松華堂
乃木夫妻の生活	菊池 又祐	一・八〇	三六	厚生閣
宗教教育教授法要領	海老澤 亮	一・〇〇	一七	警醒社
ソヴェト教育の全貌	大竹 博吉	一・〇〇	二七	ナウカ社
日本精神と教育	清水 敬治	一・二〇	二五	章華社
革新的修身教育原論	河野 清丸	二・五〇	三九	南光社
小學國語讀本の指導 とその理論卷二	千葉 春雄	二・〇〇	二七	厚生閣
教育診斷學 下卷	大伴 茂七	〇・八〇	一六	培風館
生かすための公 民科教授上卷	千葉 敬止	三・五〇	六四	三元堂書店
實業新修身教授資料	大瀬甚太郎	非〇	四三	東京開成館
高一新教材精説教 科書教材要目準據	石澤 吉磨	二・五〇	三三	南光社
系統的的要目準據 公民科要義	大日本 學術協會	三・〇〇	五四	スナ

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
小學國語讀本解説尋 常科用卷二	宮川 菊芳	二・六〇	五〇	明治會社
實力成長小學國語 讀本の教授尋常科用卷二	坂本 豊	二・六〇	四九	同
新訂尋常小學唱歌の 解説と其取扱尋常科用卷二	井上 武士	二・九〇	四〇	同
導法精神尋常科用卷二 生活の指導尋常科用卷二	友納友次郎	二・九〇	四四	同
人物陶冶の指導尋常科用 根據と其の實際研究	佐藤 末吉	二・八〇	六八	同
愛國勤勞讀本	櫻原 信二	二・〇〇	三七	北海出版社
神崎 信一	一・八〇	二七	春秋社	
增補國民小訓	德富猪一郎	一・〇〇	一五	明治書院
小學國語讀本指導書 尋常科用卷三	佐藤 徳市	二・三〇	三六	賢文館
算術教育の歸結	香取 良範	二・五〇	四〇	同
新制高一地理教育	鶴居 滋	一・二〇	四七	同
尋常小學圖畫の解説 と其の取扱尋常科用卷四	三苦 正雄	二・八〇	四四	同
改正國語讀本解説 小學説教授書(二)	土屋 敏雄	一・八〇	四九	同
讀方教育原論	西山 庸平	一・五〇	二九	東光書院
系統的的教育概説上卷	大日本 學術協會	三・〇〇	三四	スナ

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
鑑賞兒童自由詩集成 指導高檢高資獨學受 驗合格の新研究	北原 白秋	三・五〇	五六	アール
公民科教本教授資料 新制朝鮮普通學校 國史教授書(卷二)	大瀬甚太郎	非〇	四〇	東京開成館
生活中心新教育 の建設過程	西山 哲治	一・八〇	三〇	新生閣書店
民族主義宗教 的教育	及川 智雄	三・八〇	五〇	啓文社書店
教育を打診する	寺田喜治郎	八・五〇	三六	目黒書店
【十一月】				
敬と愛の學級教育 新書一書方の新指導	井上正記	一・八〇	三六	啓文社
數學教授法 新史營上卷	鍋島信太郎	三・五〇	四六	目黒書店
國史營上卷	村瀬 仁市	三・九〇	四〇	文泉堂書房
綜合地理新教育精義 世界的偉人野口英 世博士の教育思想	菊地勝之助	三・四〇	四四	厚生閣
全體觀に立つ生活教 育の理論と實際	大木 夏代之進	二・二〇	一六	教育實際社
幼稚園教育の實際 話し方指導の實際	津田 萬夫	三・四〇	五五	同
理論と實際	永澤 義憲	一・八〇	二九	厚生閣
	川口信量	一・八〇	三六	同



書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
現代生活算術	三本 重長	三・五〇	四二	厚	玉川學園 東京府東京市神田区
教育原論	岡部 爲吉	三・〇〇	三三	出	玉川學園 東京府東京市神田区
全人陶治勞作	宮小學校	三・八〇	五三	株	明式會社 東京府東京市神田区
國語教育國語生活	新井順一郎	二・八〇	二五	大	同館書店 神田
地理の研究授業	香川 幹一	二・〇〇	三〇	古	今書院 同
農村教育原論	佐藤 隆徳	三・五〇	二五	南	光社 同
小學校に於ける經濟思想の涵養	神田左武郎	非	一七	神	田 左武郎 北海
人物陶治郷土教育の根據と其實際研究	櫻原 信三	三・〇〇	三七	北	海出版社 神田
兒童生徒校外生活指導に關する研究	島田 牛稚	三・六〇	三三	寶	文館 大阪
新職業指導と進學補助法	松田 友吉	三・〇〇	二五	大	同館書店 神田
量論の上に立つ低學年算術の新建設	藤原安治郎	三・五〇	四九	同	文社 同
小學國語讀本卷二	西原 慶一	二・〇〇	三三	同	同 同
解釋と實踐	廣濱 喜雄	一・三〇	三三	高	陽書院 同
公民教育研究第一輯	尾形 正彌	〇・三〇	三冊	大	日本明道會 小石
國體教育の奨励と其事蹟	下地 惠常	二・五〇	三九	大	同館書店 神田
修身科精講	蘭井 秀男	〇・二〇	二〇	出	滿蒙學部 同
滿蒙學校講義第九號					

書籍の名稱

古來書籍の名稱は大體左の如くである

- △大本△中本△小木、豆本△三切本△半紙本△美濃板△菊判
- △四六判△三五判△菊倍判△菊半截△四六半載△四六倍判△ポケット△折本△切付本△横本△枕本△地本△赤本△青本△黒本△五行本△六行本△床本△小説本△講談本△軍談本△音曲本△巷談本△草双紙△黄表紙本△物語本△藟本△西鶴本△合卷本△金平本△光悅本△京傳本△奈良繪本△智恩院本△讀本△八文字屋本△浮世草紙△洒落本△小泉本△唐本△朝鮮本△字典△石刻△石摺△和刻△畫帖△淨瑠璃本△畫譜△原稿本△院本△人情本△手入本△シラミ本△手摺本△抄本△嵯峨本△元本△古渡り本△角倉本△初版本△創刊本△節用△初摺本△卷物△官碑△複製本△寫本△丹冊△書き本△繪本△錦繪△唐刻△卷子本△古文書△草稿本△書入本△初印本△再版本△改版本

書名	著譯者	定價	頁數	形態	發行所
中等各科教授の理論と實際の綴り方教科の經營	滋賀縣立八日市中學校	三・三〇	四四	文	泉堂書房 神田
綴方設計圖	奥村 利一	三・三〇	五四	同	同 同
少年愛國讀本	野瀬 寛顯	二・〇〇	二四	同	同 同
祖國の歴史	山本 孫一	二・九〇	二六	目	黒書店 神田
國定便法暗算の系統と其指導	上田正三郎	三・〇〇	三九	厚	生閣 同
新應能教育の實際	早瀬 松藏	一・五〇	二四	育	英書院 澁谷
劣等兒童の實際指導	中村彌四郎	五・〇〇	一三〇	同	同 同
方勞教育の實際	平戸喜太郎	七・五〇	二八	同	同 同
教育と實際	前田 若尾	一・五〇	二五	向	山堂書店 同
小學國語讀本卷二學習指導文と繪の焦點	垣内 松三	三・〇〇	三三	同	同 同
増訂文章軌範講義	石川 寅松	一・五〇	二〇	興	文社 日本
實際的勞作教育原論	三浦 喜雄	三・〇〇	三三	新	生閣書店 神田
現代の訓育	香川縣初等教育聯合會	非	五四	育	川縣初等教育聯合會 香川
小學校修身科教授法	草場 弘	一・三〇	二三	三	生書房 東京府



九ポイント系統の活字の大きさ

# 號數活字

は種々の点

に短所を有す

乍然ポイント式

活字は大きに一

定の基準を與へて

其の數的關係を表は

した所に長所がある。ポ

イント式に依れば十ポイント

一つの知識さへあれば二十ポイントは

六ポイント

其二倍、九ポイントは一割小さいといふ關係を簡單に知る。

## 〔六〕 教育資料

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
〔二月〕 尋二學校劇集成	長谷山峻彦	一・三〇	一〇	大正書院
實業補習教育二十年の體験を語る	大山 綱志	一・〇〇	三九	文光社
日本國民の經典	河崎 松一	一・〇〇	二〇	國光社
現地で見つけた	國際聯盟協	二・〇〇	二五	國際聯盟協
日支事變在滿支邦	會兒童部	二・〇〇	二五	會兒童部
孝經の感想	新樂 金橋	一・六〇	一六	伊川堂書房
お話の仕方	中西 芳郎	一・〇〇	二二	伊川堂書房
生徒兒童體力標準表	吉田 章信	一・三〇	〇	右文館
尋三算術教授案の新	稻次 靜一	一・三〇	二册	モナス
熊本縣女子中等學校	熊本縣立第一	非〇	〇	熊本縣立第一
家事科主任會要覽	女第一高等	非〇	〇	高等女學校
生活科の研究	松坂富之助	一・〇〇	三册	松坂富之助
各科の郷土の	近開 學助	非〇	二册	福川尋常高
實際の學校經營	近開 學助	非〇	二册	等小學校
文例少女模範文	友納友次郎	一・〇〇	三九	大日本雄辯會
國語教育新論	河野伊三郎	二・八〇	四五	講談社
想畫による教育	中西 良男	二・八〇	五三	東洋圖書出版
子供の教育	稻富榮次郎	二・六〇	三六	株式合資會社
プラトンの教育學	金子彦二郎	一・八〇	三七	文化書房
女子國文英華	潮研究會	一・五〇	三〇	目黒書店
教育思潮研究	潮研究會	一・五〇	三〇	目黒書店
第七卷第一輯	緒方 清一	一・六〇	二五	至文堂
簡明新商事項	園 正造	二・五〇	三〇	同
高等教育代數學	山口 達郎	一・九〇	二九	文泉堂書房
教育課程の新構成	盛 清幸	非〇	〇	株式會社
郷土教育資料第一輯	文部省普通	一・六〇	〇〇	啓明會社
公民教育大系	學務局外一	一・八〇	〇〇	啓明會社
我等の教科經營	研究會	一・八〇	〇〇	啓明會社
就職本位受驗	本間 晴一	一・五〇	〇〇	啓明會社
百科科精義	大瀨甚太郎	非〇	〇	講義刊行會
公民科教本教授	野口米次郎	一・三〇	〇〇	東京開成館
近代生活讀本	松村 翠鳳	一・〇〇	〇〇	金星堂
趣味の文様中	松村 翠鳳	一・〇〇	〇〇	金星堂
文例少女模範文	友納友次郎	一・〇〇	三九	大日本雄辯會
國語教育新論	河野伊三郎	二・八〇	四五	講談社
想畫による教育	中西 良男	二・八〇	五三	東洋圖書出版
子供の教育	稻富榮次郎	二・六〇	三六	株式合資會社
プラトンの教育學	金子彦二郎	一・八〇	三七	文化書房
女子國文英華	潮研究會	一・五〇	三〇	目黒書店
教育思潮研究	潮研究會	一・五〇	三〇	目黒書店
第七卷第一輯	緒方 清一	一・六〇	二五	至文堂
簡明新商事項	園 正造	二・五〇	三〇	同
高等教育代數學	山口 達郎	一・九〇	二九	文泉堂書房
教育課程の新構成	盛 清幸	非〇	〇	株式會社
郷土教育資料第一輯	文部省普通	一・六〇	〇〇	啓明會社
公民教育大系	學務局外一	一・八〇	〇〇	啓明會社
我等の教科經營	研究會	一・八〇	〇〇	啓明會社
就職本位受驗	本間 晴一	一・五〇	〇〇	啓明會社
百科科精義	大瀨甚太郎	非〇	〇	講義刊行會
公民科教本教授	野口米次郎	一・三〇	〇〇	東京開成館
近代生活讀本	松村 翠鳳	一・〇〇	〇〇	金星堂
趣味の文様中	松村 翠鳳	一・〇〇	〇〇	金星堂

教育資料

四五

四四



書名	著譯者	定價	頁形數	發行所
生活開發の綴方教育	川口 半平	三〇〇	一六四	厚生 開野町
生活現實文學の綴方教育	西原 慶一	二〇〇	三四	教育研究會同
新形態五、六篇	河崎 なつ	一〇〇	三三	文藝春秋社同
微笑の人生讀本	野口米次郎	二〇〇	一五九	金星 堂神田
生活への兒童詩教育	稻村 謙一	三〇〇	四四	厚生 開野町
農民讀本	横尾惣三郎	四〇〇	二六	農村研究會 蓮谷
國史教授法研究	岩井 精造	二〇〇	一七	高 踏 社 淀橋
の着眼と指導	朝日 文彦	一〇〇	四	同
低學年學級擔任學	水木 梢	三〇〇	二〇	同
勞作教育學研究	生井 貢	一〇〇	二六	國民教育 本郷
非常時日本	井村金三郎	非〇	二七	出版 部 本郷
青年の教育方針	栗原 登三	三〇〇	二七	文化書房 本郷
日本精神の涵養を基礎とする小學校經營の實際	加藤 因三	一〇〇	六六	文 錄 社 京橋
兒童劇選集	櫻井 美三	三〇〇	四六	教育書院 神田
綴方指導の案式	藤谷 保三	二〇〇	二七	啓文社書店 本郷
小學國語讀本教育書				
受驗準備の指導				
中學生の讀方指導	佐藤 末吉	三〇〇	五四	明治圖書 京橋
榮養學校給食の研究	本圖晴之助	二〇〇	三六	株式會社 神田
改訂教科書を中心とした教育者のための教授要諦	宮瀨 陸夫	一〇〇	三五	株式會社 神田
修身教育論	小原 國芳	一〇〇	四九	玉川學 部 東京
學校教育と郷土教育	尾高 豐作	一〇〇	四三	刀江書院 神田
移植民と教育問題	大塚 好一	一〇〇	三九	同
子供の教養を語る	上野 陽一	二〇〇	三二	教育實際社 京橋
吉田松陰之殉國教育	福本 義亮	五〇〇	一〇六	誠 文 堂 神田
實際的小學校の公民教育	岩瀬 六郎	三〇〇	四九	東洋圖書株式 同
各別的小學校の公民教育	ドラツセル	一〇〇	二七	合資會社 同
教育と現代世相	橋源太郎	二〇〇	二六	高瀬書房 京橋
性格教育の實際	佛性誠太郎	二〇〇	二二	文泉堂書房 神田
生命進歩と實際	三木英太郎	二〇〇	四〇	教育實際社 京橋
復式小學國語讀本	淺黄俊次郎	二〇〇	三三	南洋圖書株式 同
新小學國語讀本	堀 七藏	二〇〇	三七	合資會社 同
指導演導精說	石田 利作	二〇〇	四四	同
作業教育の諸相	高橋 俊乘	二〇〇	三〇	玉川學 部 東京
勞作に據る實際				
土前千期の精神				
明治とその精神				
百貨店と學生の救済	大坂府中等學校教 大坂	非〇	二册	大阪府中等學校教 大坂
に就て中等學生の救済	山口縣教育 山口	一〇〇	二四	山口出版社 山口
け遊びに關する調査	櫻井 春芳	一〇〇	三〇	安 心 堂 麻布
學級經營の實際	三角 隆二	非〇	三三	信濃教育會 長野
ての郷土研究	下高井部會 下高井部	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第五	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第六	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第七	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第八	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第九	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十一	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十二	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十三	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十四	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十五	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十六	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十七	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十八	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十九	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第二十	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込

書名	著譯者	定價	頁形數	發行所
五大聖訓物語	國民思想會	一〇〇	二〇	日本名 會 芝
農村教育原論	善導	一〇〇	七四	同文書院 四谷
各科教育の批判	千葉 敬止	一〇〇	七四	同文書院 四谷
鳥瞰と批判	水木 梢	一〇〇	二〇	高 踏 社 淀橋
各科教授案の立て方	田中 武郎	一〇〇	一八	同
修身郷土の例話	富山縣女子師範學校附屬小學	〇〇	〇〇	同
國史教育の再檢討	大石喜三郎	〇〇	〇〇	同
新訂尋常小學唱歌の解説と其取扱	井上 武士	二〇〇	四六	同
國史教育の再檢討	江藤 惣六	非〇	〇〇	同
國旗作文集	川邊喜一郎	五〇	二六	實 文 館 日本橋
中 等 學 校	内山祐三郎	〇〇	〇〇	同
郷土の歴史上下	石津谷 千賀二	二〇〇	一六	同
甦生への文字教育	大分郡鶴崎部教育會	〇〇	〇〇	同
學校經營の實際	原田 克孝	非〇	〇〇	同
歐米教育の趨勢と我國今後の教育	野田 清壽	六〇	二六	同
文部省小學國史教師用書挿繪解説	小林佐源治	五〇	四二	同
複式教育尋五、六の學級	緒方 清	三〇	〇〇	同
新時代に於ける商業要項の使命と其體系				
中學生の讀方指導	佐藤 末吉	三〇〇	五四	明治圖書 京橋
榮養學校給食の研究	本圖晴之助	二〇〇	三六	株式會社 神田
改訂教科書を中心とした教育者のための教授要諦	宮瀨 陸夫	一〇〇	三五	株式會社 神田
修身教育論	小原 國芳	一〇〇	四九	玉川學 部 東京
學校教育と郷土教育	尾高 豐作	一〇〇	四三	刀江書院 神田
移植民と教育問題	大塚 好一	一〇〇	三九	同
子供の教養を語る	上野 陽一	二〇〇	三二	教育實際社 京橋
吉田松陰之殉國教育	福本 義亮	五〇〇	一〇六	誠 文 堂 神田
實際的小學校の公民教育	岩瀬 六郎	三〇〇	四九	東洋圖書株式 同
各別的小學校の公民教育	ドラツセル	一〇〇	二七	合資會社 同
教育と現代世相	橋源太郎	二〇〇	二六	高瀬書房 京橋
性格教育の實際	佛性誠太郎	二〇〇	二二	文泉堂書房 神田
生命進歩と實際	三木英太郎	二〇〇	四〇	教育實際社 京橋
復式小學國語讀本	淺黄俊次郎	二〇〇	三三	南洋圖書株式 同
新小學國語讀本	堀 七藏	二〇〇	三七	合資會社 同
指導演導精說	石田 利作	二〇〇	四四	同
作業教育の諸相	高橋 俊乘	二〇〇	三〇	玉川學 部 東京
勞作に據る實際				
土前千期の精神				
明治とその精神				
百貨店と學生の救済	大坂府中等學校教 大坂	非〇	二册	大阪府中等學校教 大坂
に就て中等學生の救済	山口縣教育 山口	一〇〇	二四	山口出版社 山口
け遊びに關する調査	櫻井 春芳	一〇〇	三〇	安 心 堂 麻布
學級經營の實際	三角 隆二	非〇	三三	信濃教育會 長野
ての郷土研究	下高井部會 下高井部	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第五	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第六	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第七	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第八	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第九	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十一	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十二	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十三	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十四	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十五	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十六	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十七	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十八	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第十九	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込
小學國史讀本 第二十	國民教育會 國民教育	一〇〇	三六	東京出版社 牛込







書名	著譯者	定價	頁數	發行所
作文資料	黒田英三郎	二五〇	一四	平野書店 京都
教科經營を基調とせる學習訓練の實際	相浦 守人	各	三册	隆文堂 本郷
教育資料近世和歌	平山彌次郎	非	一六	平山彌次郎 福岡
高等理科指導書	鈴木彌四郎	非	一三	鈴木彌四郎 大分
教育測定手引	大伴 茂	非	一〇	大阪教育研究所 大阪
行雲流水 第一輯	高橋 不迷	三〇〇	二〇〇	筑陽日報社 福岡
小學校教科書に現はれたる樹木の種類	宮田長次郎	五〇	二	大日本山林會 赤坂
新修國文教科書	農業學校長協會	〇	四册	農業學校長協會 神田
綴方指導細目	國語研究部	非	三三	國語研究部 山口
中、女學校の實際	戸田 城外	六〇	一八	創價教育學會 石川
試験地の獄解剖	根本千代次	六〇	一五	松榮堂 神田
手藝の教材と花	奥谷 愿正	非	三	奥谷愿正 京都
修身科の着眼點	藤井小學校	非	三	藤井小學校 山梨
郷土教育の新拓野	藤井小學校	非	三	藤井小學校 山梨
裁縫指導細目 尋五	齊田 コト	六〇	一五	厚生閣書店 麹町
新尋一讀方教	石松伴次郎	五〇	三三	受驗研究社 大阪
高等小學校唱	初等教育會	五〇	三	培風館 神田
目歌教授細目	同	五〇	三	同
小學唱歌教授細目	同	五〇	三	同
研究の郷土	峰地 光重	五〇	二二	厚生閣書店 麹町
各科郷土教育資料	大湊小學校	非	〇	大湊小學校 青森
國定教科書に現れたる樹木、森林、山岳に関する事項	大林 會	三〇	七	大日本山林會 赤坂
指導する學生訓	山 林	三〇	七	大日本山林會 赤坂
裁縫指導細目 尋六	齊田 コト	六〇	一五	厚生閣書店 麹町
文檢實業教員農業科	大明堂書店	六〇	〇	大明堂書店 神田
獨學受驗後	各科教育會	六〇	〇	目黒書店 同
要項一年後	研究會	六〇	〇	目黒書店 同
各教科の指導	女子師範學校	三〇	三〇	文泉堂書房 同
參觀の眞諦	陸軍省	六〇	〇	軍人會本部 牛込
學校教練必携 前	陸軍省	六〇	〇	軍人會本部 牛込
少壯教育家の思想	社會協會	二五〇	〇	社會教育協會 小石川

書名	著譯者	定價	頁數	發行所
裁縫指導細目 尋四	齊藤 コト	六〇	一四	厚生閣書店 麹町
勉強的の仕方	佐々木良雄	五〇	一三	富文館 神田
別冊の附録	西龜 正夫	六〇	一六	厚生閣書店 麹町
教材と教授法	同	一八〇	一〇	同
註圖解ペン毛筆	大野 虎吉	一〇〇	一六	沖繩縣社 神田
註書道寶典	沖繩縣社	非	一〇	沖繩縣社 神田
郷土教育施設概要	師範學校	非	一〇	師範學校 沖繩
小學國語讀本卷一	牛島 軍平	三〇	七	國民教育社 本郷
正しき解	島田 豊	一五〇	三	島田 豊 大阪
特選舞踏ダンス集三	光風館	非	三	光風館 神田
新國文讀本教授案	長谷川 藤太郎	五〇	三	目黒書店 同
郷土教育即國民教育	阪本 豊策	三〇〇	一六	フレール館 大阪
コロンピヤ大學	加藤 正世	一〇〇	一七	四條書房 神田
附屬幼稚園及低學	山崎 長壽	二〇	〇	三册 朝倉時報社 福岡
小學兒童入選文集高	木村 源	〇	一五	小倉師範學校 福岡
等用、五、六年、三、四年用	木村 源	〇	一五	小倉師範學校 福岡
實補教育の經營概要	胡麻郷村實業補習學校	非	〇	胡麻郷村實業補習學校 京都
高等新理科指導書	大庭 孝治	非	二七	大庭孝治 福岡
綜合的作業的小學	三浦 喜雄	六〇	三	寶文館 日本
國語讀本教授書	研究會	七〇	一三	水琴堂書店 松本
入學考査問題並正解	南 拜山	非	〇	普及會 芝
貝原養生訓	青木 崇作	〇	三	國民教育會 神田
記憶と勉學	小林初三郎	〇	六	東京雄辯會 豊島
指導及文章	岩切 晴二	六〇	四	培風館 神田
演習及第五卷	菅原長太郎	三〇	三	三省堂 同
實習改訂最新	神保 格	六〇	九	厚生閣書店 麹町
代習筆法	竹田津永安	五〇	二	東洋圖書社 神田
小學國語讀本卷二	布川準一郎	三〇	一〇	株式會社 神田
小學國語讀本卷一	信田 秀一	六〇	六	盛林堂 日本
小學國語讀本卷二	蘆田惠之助	六〇	二	同志同行社 神田
小學國語讀本卷一	大貫 三藏	六〇	一	文泉堂 同
修身教育の實際	池邊正雄	非	〇	濱尋常小學校 大阪